令和7年度 社会福祉振興助成事業〈通常助成事業〉

家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業報告書

令和8年3月

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク

目次

はじめに 1

Ⅰ. 目的 2

Ⅱ. 事業概要 2

Ⅲ. 事業の詳細
1. 令和 6 年度開発した家計管理のリスクを点検できるアプリの改善・完成と開発 3
(1)概要 3
(2)アプリの改善点について 3

2. 令和 6 年度開発した家計管理を学ぶ教材の改善と高校生用テキストの追加開発、母子と高齢者の追加開発に向けた調査 6
(1)概要 6
(2)新社会人向けのテキストの修正点について 6
(3)小・中・高生向用テキストの開発について 6
(4)母子世帯や高齢者向けの学習教材開発に向けての調査 7

3. 改善したアプリと学習教材の普及 8
(1)概要 8
(2)情宣グッズの作成、全国的な研修等での普及活動 8
(3)9 ブロックで取り組まれた説明会、普及活動 9
(4)家計アプリへのアクセス状況 44

4. 運営委員会、開発委員会、地域委員会、作業部会、全体会の設置と運営 93
(1)概要 93
(2)各委員会の役割とメンバー 93
(3)全体スケジュール 96
(4)活動報告 97

5. 資料 113

はじめに

物価高騰続く中で、生活困窮者の相談内容が深刻化し、SNS を通して簡単に大金を稼げる闇バイトや投資詐欺等が横行しており、借金等で苦しんでいる若い世代の増加も危惧されている。このような中、収支のバランスを意識せずに安易に借金をして返済に追われてしまっても相談への忌避感があり早期に必要な支援に繋がらない状況、親世代の家計管理能力の低下や生活の破綻等の様々な要因で、従来家庭の中で自然に身に付いていた家計管理のノウハウを習得できないままに社会に出てしまっている状況等から、今後経済的に困窮する人が増えていく恐れが大きいと推測される。

これまで当団体では、各地の支援機関への講師派遣や研修会の開催等に取り組んできたが、これらの取組だけでは限界があり、支援現場や相談者に向けてこれまでと異なるアプローチも必要となっていると考えた。その一環として令和6年度から、生活困窮に陥らないための予防的な側面と、実際に生活に困窮している方を相談窓口に繋げることを目的として、家計リスク点検アプリと新社会人向けのテキストの開発に取り組み、全国26都道府県で試用テストを行ってきた。

今年度は、試用テストの結果を踏まえてアプリと学習教材の改善を行い、完成したアプリと学習教材を全国に普及する活動に取り組んだ。全国9ブロック（地域）の地域委員会が中心となって説明会を実施したり、各地の支援機関や教育機関等へ訪問するなどして、アプリと学習教材を丁寧に案内し利用を呼びかけた。今後窓口を訪れてチラシを目にしてアプリにアクセスした方々や、教材を手にした生徒の皆さんが、家計について考える機会となり、早期に課題に気づいて必要な支援に繋がることができるきっかけになるなど、問題の深刻化を未然に防ぐことに少しでも寄与できるのではないかと期待している。各地で多様に展開された普及活動を通して、ブロック（地域）毎の支援員同士の交流・情報交換などの副次的な効果も生まれている。

また、今年度は子ども時代からの家計管理を学んでもらうための教材作りにも取り組んだ。実際に地域の小中高校等で子どもたちを対象に講師を務めた経験のある開発委員が中心となって、学校の授業等で使える小・中学生向け、高校生向けのテキストの開発を進めた。

次年度以降は、今年度開発に取り組んできた小・中・高校生向けテキストを完成させて、先に開発した家計リスク点検アプリと社会人向けのテキストとともに、様々な場面でより多くの方に活用いただけるように、地域委員をはじめ関係者の皆様の協力を得ながら、引き続き普及活動に取り組んでいきたい。

今年度、地域委員会・拡大地域委員会で普及活動に取り組んでいただいた皆様、趣旨に賛同して各地で普及活動にご協力いただいた皆様、開発委員会・作業部会の皆様に感謝を申し上げたい。

生活困窮者自立支援全国ネットワーク
家計改善支援部会委員

Ⅰ. 目的

一般的な家計管理に関するアプリや学習教材は、生活困窮者の生活実態に即した内容になっていない。加えて、親世代の家計管理能力の低下や生活の破綻等の様々な要因で、従来家庭の中で自然に身に付けられた家計管理のノウハウを習得できないままに社会に出てしまい、困窮する人が増えている。

その様な社会状況の中で、生活困窮に陥らないための予防的な側面と、実際に生活に困窮している方を相談窓口に繋げることを目的として、アプリと学習教材の開発に取り組んできた。開発したアプリや学習教材を全国の支援機関や学校等にも普及させることで、誰もが手軽に家計の課題やリスクに気づくことが可能となり、課題に気づいた相談者が早期に必要な支援に繋がることができる等、問題の深刻化を未然に防ぐことが期待できる。

Ⅱ. 事業概要

(1)助成テーマ

安心して暮らせるための地域共生社会の実現に向けた包括的な支援に資する事業

(2)応募事業名

家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

(3)事業概要

誰もが経済的な困窮に陥らず希望を持って暮らすことができ、家計管理の支援が必要な相談者を早期に支援に繋ぐことを目的に、自分の暮らしかたや無自覚な消費行動がどのようなリスクを生むのか、どうすべきかをゲーム感覚で手軽に自己点検できるアプリと、自分で家計を把握して収支のバランスを取りながら家計を管理していくことの重要性や困窮を予防するための知識を学ぶことができる教材を開発し、活用を全国に広げていく事業。事業を通して支援員の負担軽減や支援員同士の連携や交流を深めるにも寄与する事業を、以下4つの柱立てで実施した。

1、令和 6 年度開発した家計管理のリスクを点検できるアプリの改善・完成と開発

令和 6 年度に開発したアプリの試用テストデータ・アンケートを分析し、アプリ試用テストのコメントを一つずつ精査し、設問の修正や、アプリのシステム変更を行った。さらに、学生・新社会人は実家暮らしと 1 人暮らしに設問を分け、就職氷河期用世代が特定できるようにし、最後の評価コメントも年代別に作成するなど、大幅な修正・追加を行い完成させた。

2、令和 6 年度開発した家計管理を学ぶ教材の改善と高校生用テキストの追加開発、母子と高齢者の追加開発に向けた調査

新社会人向けのテキストは、前年度のアンケート結果を踏まえて必要な改善を行った。高校生用のテキストだけでなく、もっと早い時期から学べるように小学生・中学生向けの教材も追加で開発することとし、小・中校生向け、高校生向け2種の教材の開発を進めた。また、母子世帯や高齢者向けの専用の学習教材開発に向けては、関連する資料を収集するなどして、次年度以降の開発に向けた調査を行った。

3、改善したアプリと学習教材の普及

完成したアプリと学習教材を全国へ普及するために 8 月に地域委員を対象に全体会を開催した。地域委員が各ブロックで説明会を開けるように、前年度の試用テストを反映し

た修正点、完成したアプリと学習教材の内容を説明し、各ブロックでの普及活動の進め方を検討した。全体会の検討を受けて、全国の相談窓口や学校等での普及に使用できるグッズとして一般向けのチラシやカードを作成した。新社会人向けのテキストとチラシ、カードを印刷(製本)して、地域委員等から送付先を届けてもらい、必要部数を全国の支援機関等に送付した。11 月に開催した第12回生活困窮者自立支援全国研究交流大会(滋賀県大津市)の家計改善支援部会で企画した分科会や12月から1月にかけて全国6ブロックで実施した現任者向け研修でのアピールも行った。各ブロックの地域委員、協力部会員等によるによる説明会や関係機関への訪問など多岐にわたる工夫された普及活動が展開された。

4、運営委員会、開発委員会、作業部会、地域委員会、全体会の設置と運営

運営委員会で事業計画を定め、事業の遂行に責任を持つ体制とした。アプリとテキストの完成に向けて、前年度の試用テストのアンケート結果を踏まえて、3回の作業部会、開発委員会での検討を経て、運営委員会で確認して完成させた。9ブロックの地域委員会では、協力部会員の協力を得ながらアプリと学習教材の普及活動を展開した。普及活動に先立ち全体会を開催して方針を相談し、年度末には各ブロックから普及活動を報告・共有するために2回目の全体会を開催した。

Ⅲ.事業の詳細

1. 令和 6 年度開発した家計管理のリスクを点検できるアプリの改善・完成と開発

(1)概要

R6 年度に延べ490名による試用テストの462名の回答(地域委員と協力部会員を通しての試用テスト310名、高等学校等の協力を得ての試用テスト152名)のアンケート結果を分析し、延べ297名の記述内容について、4回の作業部会で一つずつ点検し、できるだけ反映できるように設問や選択肢等を約8割修正する案を準備し、開発委員会、運営委員会での検討を経て完成した。幅広い世代で違和感なく利用でき、リスク点検に役だち、支援に繋がりやすいアプリに改善することができた。

(2)アプリの改善点について

試用テストを受けて、ターゲット分類、設問・選択肢、評価コメントの修正、アプリ全体の設計の修正を行った。

完成したアプリはこちら↓

URL:https://life-poor-support-japan.net/kakeiapp/

1)アプリのターゲット分類、設問・選択肢、評価コメントの修正について

①ターゲットを分類するための設問・選択肢の修正

次のようなアンケートのご意見を受けて、設問や選択肢を修正した。

・ひとり親だが子どもが成人していると答えられない設問がある

・子どもは何歳までを聞かれているのか。

→同居の子どもの設問は、「同居の子ども(18 歳以下)」に修正する。

・公務員、派遣は選択肢がない。・・・など

→職業選択の「会社員」に「公務員など」を追加する。

属性選択の「パート・アルバイト」に、「派遣」を加える。

②カテゴリーの追加、各カテゴリーの設問・選択肢の修正

次のようなアンケートのご意見を受けて、カテゴリーの追加、各カテゴリー別設問・選

択肢を修正した。
・一人暮らしをしていないので、家賃など家計全体について分からない。
・親と同居しているので生活費などについて答えることができない。・・・など
→「大学生・新社会人」を「実家暮らし」「一人暮らし」に分けた。
・子どもがいないと回答したのに児童手当の設問が出た。
・住宅ローンがない人にも住宅ローンの設問が出た。
・選択肢が当てはまらないので回答しにくい。・・・など
→各カテゴリーの設問を全て点検し、削除や追加、設問内容、各選択肢、伴う評価点等の修正を約8割の設問で行った。
設問の修正：89、設問の削除：4、設問の追加：4（設問数 209）
選択肢の修正：107設問の248選択肢
設問や選択肢の修正に伴い、評価の修正：78設問

③評価コメントのカテゴリー別作成と回答に応じた追加コメントの作成
次のようなアンケートのご意見を受けて、評価コメントをターゲット別に3パターンに分け、具体的なコメントを追加した。
・クレジットカードを使っていないのに、使いすぎているというコメントが出た。
・年齢層によっては言い回しが受け入れられるか疑問。
・上から目線、否定されているようなコメントは不愉快なのではないか。
・結果が抽象的でどうすればよいか分かりにくい。
・〇〇に相談に行くと良いなどの案内あるといい。・・・など
→「高校生・大学生（実家暮らし）」と、「高齢者」と、「それ以外」の 3 パターンを作成し、コメントや口調を修正した。
設問の応答の内容で、追加コメント（青文字）を入れるようにした。

該当する選択肢	追加コメント
借金・滞納がある、頼る人がいない、生活が苦しい、ギャンブル多、相談窓口を知らないなど	生活の困りごとはこちらに相談してね！ https://minna-tunagaru.jp/ichiran/
高校生でお金を入れている・入れたい	家族に生活の困り事があるようなら、相談窓口を教えてあげて！https://minna-tunagaru.jp/ichiran/
好きなだけ使っている	使い過ぎに気を付けて！
お金に関する知識が不足している回答	テキストで学ぼう！　→作成した参考書、開発後は高校生テキストの URL を案内
消費者教育の知識が不足している回答	消費者教育ポータルサイトの情報を活用しよう！ https://www.kportal.caa.go.jp/

該当する選択肢		該当する選択肢	追加コメント
貯金がない、ほとんどない	且つ	クレジット払い、後払い電子マネー	クレジットや後払いは使い過ぎに気をつけよう！

2）アプリ全体の設計に関する修正について
①戻る機能
「途中で間違えても戻るボタンがない。・・・など」のご意見を受けて、大幅なシステム変更になり、機動性も落ちることから、戻る機能は入れない。設問に入る前に案内（自分に一番合った回答を一つだけ選んでね）を入れることにした。
②進捗状況の表示
「設問が多すぎる。あとどれくらいか分かると最後までできそう。・・・など」のご意見を受けて、回答の進捗状況の案内「まだまだ序盤」「順調に進行中」「そろそろ折

り返し」「ゴールが見えてきた」「あと少し」に加えて、中盤以降に、「あと何問」と表示するようにした。

③就職氷河期世代への対応

就職氷河期世代へ対応できるように、その他のカテゴリーに、当該世代特有の課題に関する次の3点（不安定就労かどうか、スキルアップの課題を抱えているか、精神的不安を感じているか）の設問を加えて、設問・選択肢を作成した。

1）～2）を受けて、アプリのターゲット分類を下表のように修正（赤文字部分）した。

アプリのターゲット分類の修正点

区分	変更前	変更後
年齢	18歳未満	18歳未満
	18～29歳	18～29歳
	30歳～44歳	30歳～39歳
	45歳～64歳	40歳～55歳
	65歳～74歳	56歳～64歳
	75歳以上	65歳以上
属性	高校生	高校生
	大学生	大学生
	会社員	会社員・公務員など
	自営業	自営業
	パート・アルバイト	パート・アルバイト・派遣など
	無職	無職
婚姻状態	未婚	未婚
	既婚	既婚
	離別	離別
	死別	死別
同居の子ども（18歳以下）	なし	なし
	1人	1人
	2人	2人
	3人以上	3人以上
世帯人数	1人	1人
	2人	2人
	3人	3人
	4人	4人
	5人以上	5人以上

2. 令和 6 年度開発した家計管理を学ぶ教材の改善と高校生用テキストの追加開発、母子と高齢者の追加開発に向けた調査

（1）概要

新社会人向けのテキスト（ワークブック・参考書）は、前年度のアンケート結果を踏まえた修正案について開発委員会、運営委員会での検討を経て完成した。全国的な普及活動の開始に向けて、完成したテキストは製本印刷した。当団体のホームページに掲載しているアナグマ案内所に PDF データをアップし、二次元コードでアクセスできるようにした。印刷製本したテキスト2種は、地域委員会を中心とした普及活動を通して全国の支援機関・教育機関等に届けられ、活用が進んでいる。

今年度開発に着手した高校生用のテキストの内容を検討していく中で、もっと早い時期から学べるように小学校・中学生用の教材を追加して開発することを決定した。内容や教材の形態などを検討し、小・中校生向け、高校生向け2種について次年度完成に向けて開発に取り組んだ。

母子世帯や高齢者向けの学習教材開発に向けては、関連する資料を収集・整理するなど、次年度以降の開発に向けた調査を行った。

（2）新社会人向けのテキストの修正点について

1）次のようなアンケートのご意見を受けて、それぞれ改善できるように修正した。他にも文言の統一などをして読みやすいテキストが完成した。

※完成したテキスト2種は、本紙　資料　p149～153 参照

・平均家賃等の例示が福岡なのが唐突に感じる、他の地域の例もあったほうがいい。

→ワークブックの家賃等、支出の例は全て全国平均とし、社会保険料・税金は目安値として掲載した。

・親しみやすいキャラクターだが、アナとマグの言っていることが混乱する。

→参考書のアナとマグの掛け合いが、アドバイス役が入れ替わったりして、分かりにくいため、マグ（帽子をかぶっている方）をアドバイス役に統一した。

・文字が小さくてよみづらいところがある。 ・・・など

→印刷製本するテキストサイズは、B5 判とした。

（3）小・中・高校生用のテキストの開発について

令和 7 年度の事業計画では、高校生用の学習教材の開発を予定していたが、高校生向けの内容を検討する中で、もっと早い時期からお金のことを学ぶ機会が必要との意見が出され、小・中学生用の学習教材も合わせて作成することを決定した。

教材の開発には、年代別に盛り込む内容・分かりやすさなど、様々な検討も必要となることから、小・中・高校の学校現場での学習会の講師経験のある社会福祉法人グリーンコープ（長崎）の西村亜紀子氏、石狩市社会福祉協議会の齊藤明子氏にも開発委員として加わってもらい、教材の開発を進めた。両氏の教材は、学校の授業の時間枠で扱えるボリュームと分かりやすさ、参加型の学習要素があり、それらを基にして、小・中学生向け、高校生向けのテキストの開発を進めた。併せて、コミュニティ街ねっとの平川尚子氏が就職や進学を控えた高校生向けに成人年齢18歳で求められる社会的な責任など留意点を分かりやすく説明したテキストも高校生向けの参考書として開発することとした。

開発する3種のテキストについて、パワーポイント形式の教材と講師役の手引き書、生徒が自分で書き込んで考えるワークシートを、それぞれの年代に合わせた内容で作成した。今年度は第2回全体会でテキスト案を紹介する段階まで開発を進めることができた。学校現場等で活用いただけるように、教材としての精度を上げて、次年度完成させ、普及活動に繋げたい。

※開発途中の教材案（3種）は、本紙　資料　p178～188 参照

① 小・中学生用教材「お金の教室」
・「お金の教室」パワーポイント
・「お金の教室」シナリオ（※開発予定）
・ ワークシート　お金の優先順位表（個人）
・ ワークシート　お金の優先順位表（班）
・ お小遣い帳の例

② 高校生用教材「お金の教室」
・「お金の教室」パワーポイント
・ お金の教室」シナリオ（※開発予定）
・ ワークシート 「生活に必要なお金について考えよう」
・ ワークシート 「ひとり暮らしに必要な生活費を考えよう」2シート
・ ひとり暮らし生活費シミュレーター
・ ワークシート 「自分が一人暮らしをするなら」
・

③ 高校生用参考書「ひとり立ちに向けて覚えおいて欲しいお話」
・「ひとり立ちに向けて覚えおいて欲しいお話」パワーポイント
・「ひとり立ちに向けて覚えおいて欲しいお話」シナリオ（※開発予定）

（4）母子世帯や高齢者向けの学習教材開発に向けての調査

他団体で作成された、母子世帯や高齢者向けの関連する資料等を閲覧・収集し、どのような視点で作成されているのか、ボリューム感など複数の観点について調査・整理し、今後の開発に向けて、意見交換を行った。

3. 改善したアプリと学習教材の普及

(1)概要

完成した家計管理のリスク点検アプリと新社会人向けテキストを、生活困窮者、ひきこもり状態にある者及び生活困窮家庭等も含め、広く一般に活用してもらうために、全国の支援機関、教育機関等へ向けた普及活動を行った。

(2)情宣グッズの作成、全国的な研修等での普及活動

1)一般向けのチラシ、カード(名刺大)の作成・印刷

全国の相談窓口や学校等にも普及できるよう、一般向けの情宣グッズを作成した。

①一般向けチラシ

アプリと教材の内容を説明し、二次元コードを入れた A4版のチラシ　20,000 枚

②名刺大カード

相談窓口などに設置してもらうことを想定して、名刺大の大きさの両面にチラシの内容を盛り込んだカード　50,000 枚

2)新社会人向けテキスト(ワークブック・参考書)の製本印刷

高校生や大学生などの教育機関や居場所などでの配布用を想定して、カラー印刷し製本したテキストを用意した。

①新社会人向けワークブック(A5判)　20,000 部

②新社会人向け参考書(A5 判)　　20,000 部

3)88ヶ所(延べ)の支援機関・教育機関等にそれぞれ下記の枚数(部数)を送付した。

カード　24,812 枚、チラシ 15,724 枚、テキスト各 14,338 部

4)アナグマ案内所の掲載

当団体のホームページにバナーを設けて、「アナグマ案内所」にアクセスできるようにした。「アナグマ案内所」にはアプリと教材、自立相談支援機関一覧も掲載した。

当団体のホームページに掲載したバナー

バナーをクリックすると表示される
アナグマ案内所のトップページ

4）全国的な研修等での普及

①第12回生活困窮者自立支援全国研究交流大会

11月8（土）～9（日）に滋賀県大津市にて開催した全国大会の2日目の家計改善支援部会では、254名の参加者（現地127名、オンライン 1127名）にアプリと新社会人向けテキストの紹介と普及活動への協力の呼びかけを行った。

②令和7年度現任者向け研修

12 月から1月にかけて全国6か所で開催した現任者向け研修の549名の受講者へ、当日受講した地域委員・開発委員から、アプリと新社会人向けテキストの紹介と普及活動への協力の呼びかけを行った。

令和8年 1月22日（木）～23日（金）仙台市 85名
令和7年12月18日（木）～19日（金）東京都・港区 116名
令和7年12月4日（木）～ 5日（金）名古屋市 58名
令和7年12月11日（木）～12日（金）大阪市 90名
令和8年 1月29日（木）～30日（金）岡山市 82名
令和8年 1月15日（木）～16日（金）福岡市 118名

（3）9 ブロックで取り組まれた説明会、普及活動

全国の各ブロックで地域委員による説明会や多岐にわたる普及活動が行われた。

1） 北海道ブロック

① 説明会

- 日時：2025 年10月29日 13:30～14:20
- 会場：市民活動プラザ星園 中会議室（札幌市中央区）
- 開催方法：ハイブリッド方式
- 参加：60 名（現地参加 11 名、オンライン参加 49 名）
- 運営：地域委員 2 名、協力部会員 4 名、どうねっと家計改善部会員 1 名
- 内容：アプリと学習教材の説明・質疑・応答

＜参加者の反応＞

・アプリの説明のみならず実際に触れてみたことで、身近な支援ツールとして使えることを実感できた。
・特に若年層の相談や課題を共有できない相談者へ活用できるのではないか。
・深刻な相談の中で、アナキチくんの可愛さに癒される。

＜運営者としての所感＞

運営及び開発委員でもある四井氏に、開発の背景やそこにある想いを直接伺うことで、相談を受ける側としてもより身近なツールになったのではないかと感じた。また、説明会後に開催した情報交換会でもツールの話題が引き続き展開されており、学生・生徒向けの開発を待ち望む声も出されていた。想いを直接語り掛けることの大切さは相談支援の現場でも大切とされているが、支援者同士の場においても重要であることに改めて気づかされた研修会だった。

② 普及活動

説明会後に参加者をはじめ、地域委員、協力部会員等、北海道内の様々な支援機関から送付依頼があり、16の機関へ必要な部数のチラシ・カード・テキスト2種（ワークブック・参考書）を届けた。

一般情宣用カードを各支援機関の窓口に置いてもらうために、カードを立てて置くための「家計アプリカードケース（市販の名刺スタンドを活用）」を普及活動のグッズとして用意し、説明会等で配布するなど、設置してもらいやすい工夫を試みた。

〇送付した支援機関は以下の通り。

札幌市 NPO 法人ひとり親とこどもふぉーらむ北海道
札幌市生活就労支援センターステップ
石狩市　石狩市社会福祉協議会
江別市　江別市社会福祉協議会
旭川市　旭川市自立サポートセンター
函館市　函館市地域包括支援センターあさひ
函館市地域生活支援センターこん中央
函館市地域生活支援センターきとう
北見市　北見自立支援センター
紋別市　紋別市社会福祉協議会
上川振興局　かみかわ生活あんしんセンター
中富良野町　中富良野町社会福祉協議会
留萌振興局　るもい生活あんしんセンター
根室振興局　ねむろ日常生活サポートセンター
オホーツク振興局　オホーツク相談センターふくろう
後志振興局　つなぐしりべし

〇送付先・部数は以下の通り

エリア	事業所名	アプリ情宣 A4チラシ	名刺サイズ 案内カード	テキスト （ワークブック）	テキスト （参考書）	支援員向け 普及チラシ
札幌市	どうねっと事務局	400	1000	210	210	100
札幌市	NPO法人ひとり親とこどもふぉーらむ北海道	30		30	30	5
札幌市	札幌市生活就労支援センター ステップ	10		110	110	
石狩市	石狩市社会福祉協議会	50	50	50	50	10
後志	つなぐ しりべし	100	100	60	60	
江別市	江別市社会福祉協議会	20	50	15	15	
旭川市	旭川市自立サポートセンター	20	50	20	20	
旭川市	かみかわ生活あんしんセンター	10	50	10	10	
中富良野町	中富良野町社会福祉協議会	20	20	20	20	20
留萌振興局	るもい生活あんしんセンター	10	50	10	10	10
函館市	函館市地域包括支援センターあさひ	10		15	15	
函館市	函館市地域包括支援センターこん中央	10	50	10	10	10
函館市	函館市地域包括支援センターときとう	10	10	10	10	3
北見市	北見市自立支援センター	10	50	10	10	
根室	ねむろ日常生活サポートセンター	20	50	20	20	20
オホーツク振興局	オホーツク相談センターふくろう	10	50	10	10	10
紋別市	紋別市社会福祉協議会	0	0	20	20	
	配布協力（16事業所）　合計	**740**	**1580**	**630**	**630**	**188**

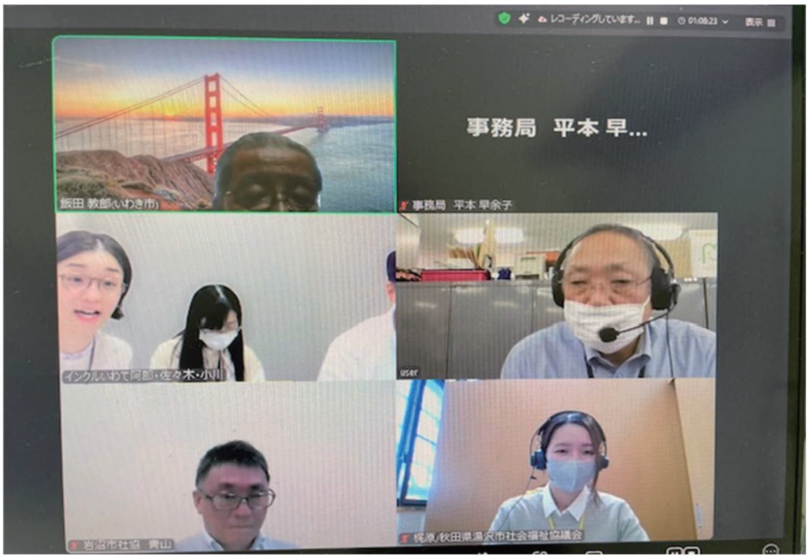
2）東北ブロック

① 説明会

- 日時：2025年10月30日　15：00～16：00
- 開催方法：オンライン
- 参加：7名（協力部会員、部会員、地域委員）
- 内容：アプリと学習教材の説明、普及活動の方法他

＜所感＞

アプリ利用に関しては部会員からも「積極的に行っていきたい」「支援者として相談時にどのように使えるのかを詳しく知りたい（例：相談者が質問項目をどのように入力したのか確認したい）」という声が聞かれた。参考書やワークブックは評判が良いと感じた。新社会人のものだけでなく、今後子どもと親向けのワークブックもあると取り入れやすいと思われる。



② 普及活動

- チラシ配布、相談ブース内での掲示
- 岩手県盛岡市支援調整会議（2 回）
- 岩手県内各福祉事務所（24自治体）へ周知の文書をメール（下記）送付。

【周知依頼】家計リスク点検アプリ「家計の道しるべ」及び学習教材の活用について
各市局生活困窮者自立支援制度ご担当者様
お世話になっております。 県庁地域福祉課の白濱です。
　標記について、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワークより、家計リスク点検アプリ及び学習教材の紹介がありましたので共有いたします。
　本アプリ及び教材は、生活困窮者の早期支援や自立促進に資するものであるため、各福祉事務所におかれましては、各自立相談支援機関や関係機関への周知をお願いいたします。
　※添付のチラシ（「アナグマ案内所」「家計リスク点検アプリと学習教材」）を参照。
　↓以下、（特非）インクルいわての阿部様（全国ネットワーク家計改善支援部会東北ブロック地域委員）より↓

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

【事業の目的】
　コロナ禍や物価高騰が続く中、従来家庭環境の中で自然に身につけられていた家計管理のノウハウを習得できずに社会に出ており、困窮する人が増加している傾向がみられています。誰もが気軽に使用できるアプリや教材の活用が全国に広がることで、困窮する前に自らの課題に気づき必要な支援に繋がるなど、問題の深刻化を未然に防ぐことを事業の目的としています。
【利用シーンについて】
　各機関や相談者の状況により異なるかと思いますがこのアプリの使用する状況については下記の状況が考えられます。

●相談支援の入り口として（面談中の待ち時間にやってもらう）
●ネット上での自己判断として
チラシに記載の QR コードにアクセスしていただき「家計の道しるべ」をクリックすることで診断が開始されます。
これはあくまで入り口としてのツールであり、診断後に近隣の相談支援機関がどこなのかも検索可能です。
【添付資料について】
●添付のチラシ2種類の活用について
①アナグマ案内所（一般用チラシ）：窓口の入り口に配架していただくなど、相談者へ持ち出ししていただくものです。
②家計リスク点検アプリを利用してみよう（普及用チラシ）：相談ブース内に掲示していただき、待ち時間にアプリの利用のおすすめをしていただきたいです。
その診断を相談者と支援者で共有するなどして、自立相談から家計改善相談への足掛かりにしていただければと思います。
【その他】
そのほかに、アプリの使い方を詳しく知りたいという自治体や自立支援機関にも必要であれば説明会も可能です。
名刺サイズのチラシ、学習教材「ワークブック・参考書」なども準備しております。
学習教材については、部数が多く必要でしたら取り寄せしお配りすることも可能です。
必要部数など阿部までご連絡いただければと思います。

- 岩手県庁地域福祉課のつながりでのアプリ紹介
  （弁護士、消費センター、県民生活センター、キャリアバンク）
- 協力部会員、部会員による普及活動として、各事業所に持ち帰り、事業所の管内での周知説明
  ・岩手県和賀郡西和賀町、住田町など7市町で紹介（岩手県内で約200部）
  ・福島県いわき市
  ・宮城県岩沼市、（東松島市）
  ・秋田県湯沢市、横手市
  ・岩手県花巻市

3）関東・甲信越ブロック
① 説明会
- 日時：2025年10月10日 14：00～17：00
- 会場：千葉県弁護士会館 講堂
- 参加：45名（家計改善支援員）
- 対応：地域委員（榊原樹子）
- 内容：アプリと学習教材の説明他

＜所感＞
千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク家計改善支援部会の家計改善学習会の第二部として、「家計リスク点検アプリと学習教材」説明会を実施した。パワーポイントを使用して開発の経緯や狙い等を説明し、説明途中で時間をと

って実際にアプリを操作してもらった。学習資料もわかりやすいと好評だった。学習会の終了後に、テキスト等の送付希望を募ったところ、10 の自治体の生活困窮者支援窓口から各 30 部程度の希望があり、郵送（手渡し）した。

② 普及活動

- 日時：2025年12月4日　12：30～12：50
- 普及先：千葉県生活困窮者自立支援制度従事者研修
- 対応：地域委員（榊原樹子）
- 内容：『自立相談支援事業と家計改善支援事業との連携について』で、約20分間の講義をする中で、本事業の紹介をし、受講生 35 名にテキストとカードを配布した。別の講師（生きづらい人と一緒に働く！千葉県市川市のソーシャルファーム　地域生活支援サービス事業者）から、ワーカーさんに紹介したいとの声をいただき、後日 10 部郵送した。

- 日時：2025年12月5日　14：00～15：30
- 普及先：日本福祉大学社会福祉学部（総合政策専修）角崎洋平教授の「現代生活論」のオンデマンド講義を受講する社会福祉学部の3年生
- 対応：地域委員（榊原樹子）
- 内容：「家計から診た、現代生活の困難と社会福祉・福祉政策の必要性」のテーマでゲスト講師の依頼があり、社会福祉学部の学生（3年生）向けに家計改善支援事業や貸付事業の重要性を伝える授業をオンデマンドで実施した際に紹介した。卒業後に様々な支援の仕事に就く可能性の高い学生達なので様々な分野と連携していくことの重要性を伝え、社会で自立して生活する時期を控えている学生自身にも当事者意識を持って考えてもらえるよう促した。紙のテキストは、来年度の授業で使用していただくよう50部ずつ郵送した。

- 日時：2025年11月19日　10：00～10：30
- 普及先：神奈川県座間市成年後見利用促進センター/座間市あんしんセンター
- 対応：地域委員（加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所の説明、アプリの活用演習及び操作体験、教材説明

- 日時：2025年11月27日　15：00～15：25
- 普及先：神奈川県座間市障がい児・者基幹相談センター
- 対応：地域委員（加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所の説明、アプリの活用演習及び操作体験、教材説明

- 日時：2025年11月28日　11：20～11：40
- 普及先：令和 7 年度神奈川県生活困窮者自立支援制度担当者会議

- 対応：地域委員（川澄弥恵、加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所の説明、アプリ・教材の説明、質疑・応答

- 日時：2025年11月29日
- 普及先：武蔵野大学　渡辺裕一氏（東京都）
- 対応：地域委員（加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所及び URL の紹介、アプリ・教材の説明使用事例紹介

- 日時：2026年1月30日　10：10～10：25
- 普及先：社会福祉法人中心会　ユニバーサル就労支援（神奈川県海老名市）
- 対応：地域委員（加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所の説明、アプリ・教材の説明

- 日時：2026年1月30日　11：50～12：10
- 普及先：神奈川県座間市生活困窮者自立支援機関
- 対応：地域委員（加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所の説明、アプリ・教材の説明、活用演習・操作体験等

- 日時：2026年2月24日
- 普及先：神奈川県座間市障がい児・者笑顔増進協議会　相談支援部会
- 対応：地域委員（加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所の説明、アプリ・教材の説明、活用演習・操作体験等

- 日時：2026年3月
- 普及先：神奈川県社会福祉協議会　生活福祉資金　担当者会議
  神奈川県社会福祉協議会生活困窮者自立支援事業　担当者会議
- 対応：地域委員（加藤あずさ）
- 内容：アナグマ案内所の説明、アプリ・教材の説明、活用演習・操作体験等

4）東海・北陸ブロック

① 普及活動

- 日時：2025年10月～11月
- 普及先：知多地域権利擁護支援センター　今井氏、金森氏（愛知県）
- 対応：地域委員（丹羽宏太）
- 内容：知多地域権利擁護支援センターが開催する「権利擁護サポーター講座」の会場にて、知多半島圏域内の日常生活自立支援事業担当者に周知するとともに、後日、知多地域権利擁護支援センターから、知多半島圏域内の市役所担当課、福祉関係機関のメーリングリストへアプリ及び教材のデータを周知。問い合わせのあった知多南部基幹相談支援センターゆめじろうへ10部・美浜町社協へ50部送付。

- 日時：2025年10月下旬
- 普及先：愛知県庁地域福祉課生活困窮者支援グループ
- 対応：地域委員（丹羽宏太）
- 内容：担当課にアプリ及び教材のデータを周知。
  ⇒2026 年 2 月 24 日に、愛知県庁地域福祉課生活困窮者支援グループから、各市の生活困窮者自立支援制度主管課担当者及び関係する

愛知県福祉相談センター地域福祉課担当者宛に、アナグマ案内所のURL 等一斉周知メール(下記)送付された。

差出人: 地域福祉課
送信日時: 2026 年 2 月 24 日火曜日 10:16
件名:【情報共有】令和 7 年度生活困窮者自立支援制度東海・北陸ブロック会議資料等の情報提供

各市 生活困窮者自立支援制度主管課 御担当者様
(同報:関係県福祉相談センター 地域福祉課 御担当者様)
お世話になっております。
例年、東海・北陸地域の県及び指定都市・中核市により生活困窮者自立支援制度東海・北陸ブロック会議が開催されておりますが、今年度の会議資料のうち、厚生労働省の行政説明に係る資料について、一般市及び委託事業者への情報共有可の連絡がありましたので、お送りします。
特段の新情報はありませんが、最新の情報がまとまっている資料となっておりますので、業務引き継ぎ等に御活用いただければと思います。
また、上記資料中にも記載がありますが、(一社)全国生活困窮者自立支援ネットワークが独立行政法人福祉医療機構の社会福祉振興助成事業(WAM 助成)を受けて作成した、家計リスク点検アプリと学習教材についても、案内がありましたので情報共有します。
〇アナグマ案内所
https://life-poor-support-japan.net/kakeiapp/
当該アプリや教材は家計改善支援事業における支援内での使用というよりも、「家計のリスク点検アプリ」については、
・相談支援の入り口として(待ち時間にやってもらう)
・ネット上での自己診断として
「テキスト(ワークブック・参考書)」については、
・新社会人の皆様に
・家計の自己点検用に
ということを想定して作成されたとのことです。
生活困窮の窓口だけではなく、地域包括等の様々な窓口で、来庁者の方が家計について考える契機となるような内容となっておりますので、各地域の実情に応じ、活用を御検討ください。
また、サイト内で家計に課題がある場合の相談窓口として、自立相談支援機関が案内されておりますので、御承知おきください。
よろしくお願いいたします。

- 日時:2025年12月
- 普及先:愛知県名古屋市役所健康福祉局地域共生推進部地域共生推進課
  →名古屋市仕事暮らし自立サポートセンター名駅・大曽根・金山の 3 センター
- 対応:地域委員(塚本淑恵)
- 内容:金山センターより上記業務委託元である担当課へ情報共有し、担当課より 3 センターへアプリおよび教材の周知予定。

- 日時:2025年11月
- 普及先:協力部会員6名
- 対応:地域委員(塚本淑恵)
- 内容:昨年度の活動へのお礼を兼ねてアプリおよび教材周知のメール送付。
  ・三重県尾鷲市社会福祉協議会/おわせ生活サポートセンタークローバー 10部(カード50部)送付
  ・愛知県岩倉市生活自立支援相談室/労働者協同組合ワーカーズコープ・

センター事業団　岩倉事業所 2 部送付

- 日時：2026年1月
- 普及先：三重県尾鷲市社会福祉協議会（協力部会員）
- 内容：尾鷲市の広報紙（3月号）に情宣カードをそのまま掲載頂いた。

5）近畿ブロック

① 普及活動

- 日時：2025年9月2日
- 普及先：生活困窮者自立支援全国研究交流大会　現地実行委員会（滋賀県）
- 対応：運営・開発委員（生水裕美）
- 内容：現地実行委員　20 名にアプリ紹介・体験

- 日時：2025年9月3日　19：00～20：00
- 普及先：やすクール（滋賀県野洲市学習支援事業）
- 対応：運営・開発委員（生水裕美）
- 内容：学習ボランティアに　アプリ紹介・体験

- 日時：2025年10月24日 10：00～12：00
- 普及先：滋賀県野洲市　支援調整会議
- 対応：地域委員（菊井千恵子）
- 内容：支援調整会議の中で、アプリと参考書・ワークブックの紹介

- 日時：2025年10月28日　14：00～15：00
- 普及先：滋賀県野洲市社会福祉協議会　相談支援課貸付チーム
- 対応：地域委員（菊井千恵子）
- 内容：貸付チーム相談員に、アプリと参考書・ワークブックの紹介と体験

- 日時：2025年10月30日
- 普及先：滋賀県野洲市子育て家庭支援課
- 対応：地域委員（菊井千恵子）
- 内容：ひとり親家庭への相談員に、アプリと参考書・ワークブックの紹介と家計相談へ繋ぐきっかけとして使ってもらうように案内。

- 日時：2026年2月3日　14：00～15：00
- 普及先：つながり若者センター・滋賀県地域擁護推進協議会

- 対応：地域委員（菊井千恵子）
- 内容：滋賀県内の児童養護施設の関係者会議でのアプリと、参考書・ワークブックの紹介。養護施設を18歳で離れるため金銭教育はとても重要だが、職員は何をどう教えるのか手探りと言われ、その教材にと案内する。

- 日時：2025年10月9日　13：00～14：00
- 普及先：兵庫県神戸市東灘区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月9日　15：00～16：00
- 普及先：兵庫県神戸市灘区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月10日　10：30～12：00、13：00～14：00
- 普及先：兵庫県神戸市中央区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月10日　15：00～16：00
- 普及先：兵庫県神戸市長田区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月17日　13：30～14：30
- 普及先：兵庫県神戸市須磨区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月17日　15：30～16：30
- 普及先：兵庫県神戸市北須磨区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月24日　13：00～14：00
- 普及先：兵庫県神戸市垂水区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機

関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月24日　15：30～16：30
- 普及先：兵庫県神戸市西区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：支援調整会議にて普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月29日　15：30～16：30
- 普及先：兵庫県神戸市長田区　自立相談支援機関、社協、その他、支援関係機関
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：CW向け家計改善支援研修にて、普及活動。一般向け情宣用チラシ、一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

- 日時：2025年10月30日　14：00～15：00
- 普及先：兵庫県神戸市兵庫区　家計改善支援研修、CW
- 対応：地域委員（覺前典文）
- 内容：CW向け家計改善支援研修にて、普及活動。一般向け情宣用チラシ、一一般向け案内カード、テキスト2種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを配布

6）中国・四国ブロック

①　説明会

- 日時：2025年9月29日　10：00～11：00
- 会場：岡山国際交流センター
- 開催方法：ハイブリッド開催
- 参加：44名（会場7名　オンライン37名）
- 運営：地域委員2名（事務局2名）
- 内容：事業の目的、アプリと学習教材の説明、普及活動について、意見交換他

＜所感＞

・ハイブリット開催でほとんどの県（徳島県以外）から参加して頂けた。開催の時間も参加しやすさに繋がったようだ。

・アプリ・テキストをパワーポイントで紹介し、対象者を伝える事で、それぞれの現場での活用方法イメージに繋がった。

・必要な世帯に繋がる、早期支援に繋がる、この事をしっかりと今後の普及活動にも活かしたい

・本事業目的②での「習得できないまま社会に出て困窮に陥る」と同じような世帯ケースの話が参加者から出る。支援員としても現場での活用方法が伝わったようだ。

・参加者からの質問に対する回答

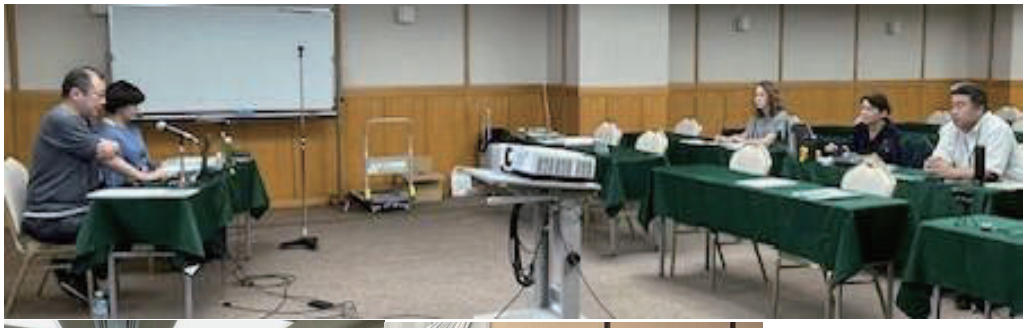
⇒地域委員が情宣に出向くことができる。

資料などは　地域委員を通して渡す。

アプリ、テキスト掲載先の URL を案内。（チャットでも案内）
パワーポイント資料希望については、参加者の事業所のみでの限定活用（拡散しない）と案内。

＜参加者感想＞

・家計リスク点検アプリを早めに知ることで経済的に困窮したり、生活に困難を抱えたりする前に、その状況を未然に防ぐ取り組みは非常にいいなと思う。
・キャッシュレス決済が多い中、現金管理が非常にネックだと思うので、普及していくとよい。
・同居している成人した子どもは親の年金や税金など金銭状況を把握していないという現場からの声を聞くと、生活を支える金銭管理の大切さをテキストで説明しやすくなる
・スマホ社会でゲーム感覚で、独り立ちの年頃はそれぞれ。高校生、大学生や社会人、結婚、年金受給時期など学校や官公庁、結婚式場や葬儀場などいろんな場面で周知可能と思った。
・子どもたちが自立する際に伝えることは必要だと思った。施設には稼ぐ力のない子やお小遣いの使い方すらままならない子どもたちがいるので、参考にさせていただき、支援員が判断・対応できると改めて感じた。説明会に参加してよかった。



② 普及活動

- 日時：2025年8月27日
- 普及先：鳥取県社会福祉協議会　地域福祉部
- 対応：地域委員（今井博明）
- 内容：生活困窮の研修を県社協が実施し、家計改善支援は市町村で実施する。
  県内全社会福祉協議会へ説明会案内を通達。

- 日時：2025年8月27日
- 普及先：徳島県社会福祉協議会　地域福祉課
- 対応：地域委員（今井博明）
- 内容：生活困窮の研修を県社協が実施し、家計改善支援は県社協で実施。
  説明会開催を案内したが、参加なし。

- 日時：2025年8月27日
- 普及先：高知県社会福祉協議会　地域支援グループ
- 対応：地域委員（今井博明）
- 内容：生活困窮の研修を県社協が実施し、家計改善支援は県社協で実施。
  説明会案内を県下通達。

- 日時：2025年8月27日　13：00～13：30
- 普及先：岡山市家計改善支援事業所
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：事業目的から詳細説明をし、対象者の確認。アプリ・テキスト紹介し、テキスト・チラシのコピー10部渡す。後日、一般向けチラシ・案内カードを支援員用10部渡す。

- 日時：2025年9月8日　11：00～11：15
- 普及先：岡山市南区南こども家庭センター　ひとり親貸付担当
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：9/29の説明会案内。アプリ・テキスト紹介し、テキスト、チラシを渡し、後日、一般向けチラシ・案内カードを職員5名分・対象相談者用10部渡す。

- 日時：2025年9月9日　16：00～16：15
- 普及先：岡山市社会福祉協議会　岡山市寄添いサポートセンター内部会議
  自立支援員　就労支援員
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：事業目的から詳細説明をし、対象者の確認。アプリ・テキスト紹介し、テキスト・チラシのコピー20部渡す。後日、一般向けチラシ・案内カードを支援員へ20部渡す。また、サテライト担当者より相談者配布用の希望があり持参する。

- 日時：2025年9月9日　11：00～11:15
- 普及先：岡山市中区こども家庭センター　女性支援担当者自立支援員
  就労支援員
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：9月29日の説明会案内。アプリ・テキスト紹介し、テキスト、チラシを渡す。後日、一般向けチラシ・案内カードを職員10名分・対象相談者用10部渡す。

- 日時：2025年9月12日　14：30～15：30
- 普及先：岡山県社会福祉協議会　福祉支援部
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：事業目的から詳細説明をし、対象者の確認。アプリ・テキストを紹介し、テキスト・チラシのコピーを5部渡す。県社協内対応者職員用に県社協内でコピーされ配布して頂くことになった。関係会議へも繋いでいただく。後日、案内カードを職員用に30部渡す。

- 日時：2025年9月17日　15：15～15：30
- 普及先：岡山市支援進行会議（困窮者支援関係者会議：岡山市社協主催）
  自立支援員　就労支援員　居住支援員　学習支援員

- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：対象者の確認。アプリ・テキスト紹介。就労支援員・こども学習支援員へ案内し資料セット配布。こどもの学習サポート担当者より希望があり、後日資料持参。

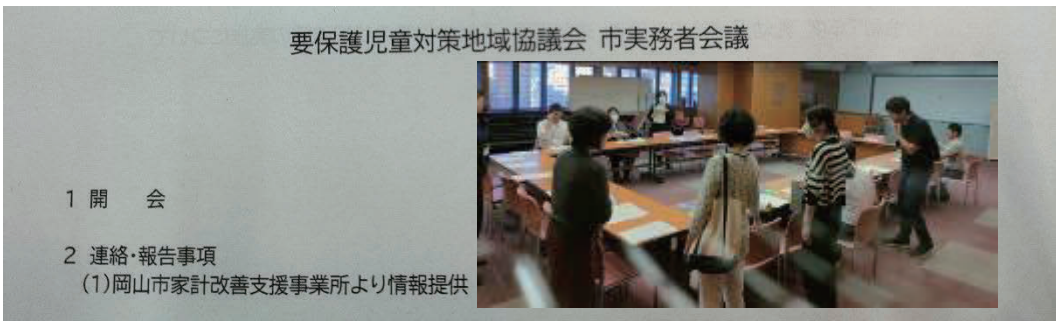
- 日時：2025年9月18日　10：30～11：00
- 普及先：岡山市社会福祉協議会　地域福祉部
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。10月開催の岡山県児童養護施設等協議会会議への情宣の機会の案内を頂く。

- 日時：2025年9月18日　16：00～16：15
- 普及先：岡山市子どもの学習サポートセンター事業（通所型）
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：9月17日に希望があり、テキスト・チラシ・名刺サイズを各30部持参し、説明。

- 日時：2025年9月22日　10：30～11：10
- 普及先：岡山市子ども福祉課
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：事業目的・対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。10月開催の岡山市要保護児童対策地域協議会、市実務者会議への情宣の機会の案内を頂く。

- 日時：2025年10月2日　13：45～14：00
- 普及先：岡山県児童養護施設等協議会
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。資料セット20部配布。11月開催の岡山県市町村社協・生活困窮者自立支援機関等の連絡会議への情宣の機会の案内を頂く。

- 日時：2025年10月9日　13：30～13：40
- 普及先：岡山市要保護児童対策地域協議会　市実務者会議（岡山市こども福祉課主催）各地区のこども家庭センター長・こども総合相談所長・健康づくり課・幼保運営課・教育支援課
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。資料セット20部配布。後日連絡があり、南区西こども家庭センターへ対象者配布用のテキストを持参する。



- 日時：2025年11月12日
- 普及先：ゴエン in 岡山　子ども・若者編　会議

困窮者支援関係者・ひきこもり支援者・高校教諭

- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：参加2校の高校教諭へ、アプリ・テキスト紹介、配布。後日案内した2つの高校とも説明希望連絡あり、12月・1月に出向く。

- 日時：2025年11月13日　16：20～16：30
- 普及先：岡山県市町村社協・生活困窮者自立支援機関等の連絡会議（岡山県社協　地域福祉部・地域支援班主催）市町村社協・自立相談支援機関・市町村行政担当課
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。資料セット40部配布。12月開催の生活困窮者自立支援機関研修会への情宣の機会を案内頂く。会議終了後、参加者の岡山県子ども・福祉部　地域福祉課　生活保護班の大町氏より『12月開催の生活困窮者自立支援制度人材養成研修県研修』での情宣の希望があった。加えて、会議参加者の新見市社会福祉協議会の方より、2026年1月に問い合わせが入り、2月の会合での紹介・説明に繋がった。

- 日時：2025年12月3日
- 普及先：岡山県立烏城高等学校　高校3・4年生担当
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：困窮者世帯、中学校時に不登校だった生徒が多数の学校体育館で、アプリ・テキスト紹介（85部配布）。講話後、担当教諭より『家庭に課題を抱え、普段寝ている子が真剣に聞いていた。今日の話から、学校から相談させてもらっていいか？』と聞かれ、自立支援事業所を紹介。後日、自立支援事業所・家計改善支援事業所の責任者が学校へ説明に出向き、連携ができた。教諭との事前打ち合わせが結果に繋がった。「将来貴方が困った時は窓口を思い出して」というメッセージが自身の家庭状況と重なる生徒の心に深く響いたようだ。

- 日時：2025年12月9日　16：20～16：30
- 普及先：生活困窮者自立支援機関研修会（岡山県社協地域福祉部・地域支援班主催）市町村社協・自立相談支援機関・市町村行政担当課　民生委員　児童委員　福祉委員　保護司　居住支援員
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。資料セット55部配布。「居住支援を通じた地域づくり」の講師（美作大　武田教授）と岡山県赤磐市社協の生活支援課（藤岡課長）から尋ねられ、別途説明した。

- 日時：2025年12月18日　16：10～16：20
- 普及先：生活困窮者自立支援制度人材養成研修県研修（岡山県子ども・福祉部地域福祉課主催）　困窮者支援関係者
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：岡山県子ども・福祉部地域福祉課生活保護班の大町氏より依頼での普及活動。対象者の確認。アプリ・テキスト紹介。資料セット40部配布。後日、倉敷市学習支援員より、問い合わせ入る。

- 日時：2025 年12月24日　13：30～13：45
- 普及先：学習教室くらすぽ（岡山県倉敷市）
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：アプリ・テキスト紹介。資料セット 50部配布。
- 独り立ちする生徒や家庭に課題を抱える世帯へ紹介するとのこと。

- 日時：2026年1月14日
- 普及先：ゴエン in 岡山　市民編　会議、困窮者支援関係者　居住支援　就労支援　こども食堂関係者　大学教授
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：岡山県立大学保健福祉学部現代福祉学科教授・こども食堂の方へ対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。

- 日時：2026年1月28日　14：00～15：00
- 普及先：一般社団法人 SGSG 通信制高校生徒（岡山市）
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：アプリ・テキスト紹介。資料セット15部配布。大学進学決定した生徒、これから県外で独り暮らし始める事に不安を抱える生徒が高い関心を寄せて聴講。キャラクターの愛らしさが相乗作用を促し、多くの学生が机上のテキストブックを親しみ持って手に取っていた。

- 日時：2026年2月20日　13：30～15：20
- 普及先：岡山県新見市社会福祉協議会　地域福祉推進課　生活相談支援センター　困窮者支援関係者
- 対応：地域委員（黒田明穂）
- 内容：対象者の確認、アプリ・テキスト紹介。資料セット15部配布。2025年11月に参加した会議でアプリとテキストを知った担当者より2026年1月末電話で2月の支援員集まり（生活困窮の研修）での紹介希望。家計改善支援は市で実施。家計アプリ・家計の見直し参考書の説明。参加者8名。テキスト・チラシ・案内カードを20部渡す。

7）九州（福岡）ブロック

① 普及活動

- 日時：2025年9月14日　13：00～15：00
- 普及先：NPO 抱樸　こども家族 marugoto 支援「家計とお金の教室」参加者（北九州市）
- 対応：地域委員（西村亜紀子）、開発委員（倉掛彩子）、運営委員（新保美香、行岡みち子）
- 内容：お金の教室の中で、独り立ちしたときのためのお金の話としてアプリやテキストを紹介し、ひとり暮らしの生活費についてグループで話しあったり、アプリを使ってもらった。

- 日時：2025年9月18日　14：00～14：20
- 普及先：行橋市社会福祉協議会相談課
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：貸付担当及び、日常生活自立支援事業担当に対し、家計改善支援への繋ぎのきっかけとして活用方法を提案及び配布（15部）。

- 日時：2025年9月18日　16：15～16：35
- 普及先：高齢者相談支援センター　社会福祉士会（行橋市）
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：高齢者の家計管理能力の確認や、年金を搾取する子世代向けの支援など家計改善支援の繋ぎのきっかけとなるツールとして提案・配布（6部）。

- 日時：2025年9月19日　14：20～14：30
- 普及先：京都郡みやこ町役場保険福祉課
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：「介護保険係」「福祉係」「高齢者支援係」「子育て支援係」に各々見本として回覧いただけるとのこと。家計改善支援への繋ぎのきっかけとして活用方法を提案及び配布（5部）。

- 日時：2025年9月22日　10:00～10:20
- 普及先：行橋市成年後見センター
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：支援のきっかけツールとして活用方法を提案及び配布（5部）。

- 日時：2025年9月22日　10:30～10:45
- 普及先：行橋市障がい者等基幹相談支援センター
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：支援のきっかけツールとして活用方法を提案及び配布（5部）。

- 日時：2025年9月22日　11:00～11:15
- 普及先：行橋市重層的支援体制整備事業担当
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：困窮した世帯向けに活用、家計改善支援に繋ぐため配布（5 部）。

- 日時：2025年9月22日　11:20～11:30
- 普及先：行橋市子育て支援センター
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：困窮した世帯向けに活用、家計改善支援に繋ぐため配布。
  （行橋市子育て支援センター5部、療育教室2部）

- 日時：2025年10月10日　14:30～14:45
- 普及先：行橋市子育て支援課
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：困窮世帯に積極的に活用し、家計改善支援に繋ぐとのことで多めに配布（30部）

- 日時：2025年10月15日　13:50～14:00
- 普及先：行橋市役所介護保険課
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：普段から連携が強く、活用が見込めるため多めに配布（20部）。

- 日時：2025年10月15日　14:20～14:40
- 普及先：行橋市役所障がい者支援室
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：支援のきっかけツールとして活用方法を提案及び配布（20部）。家計改善支援に繋ぎやすくするため、事業チラシも同封するよう逆提案していただいた。

- 日時：2025年10月15日　14:50～15:05
- 普及先：行橋市役所生活支援課
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：支援のきっかけツールとして活用方法を提案及び配布（20部）。活用法を説明していたところ、生活保護世帯で成人に至った時点で CW が配布する取り組みを逆提案いただき、試行することになった。（30部）

- 日時：2025年10月15日　15:10～15:20
- 普及先：行橋市役所人権政策課

- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：普段から連携が強く、活用が見込めるため多めに配布（30部）。離婚後やDV別居の方の生活設計のために配布し、家計改善支援に繋いでくださるとのこと。

- 日時：2025年10月15日　10：24～16：45
- 普及先：行橋高等学校
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：就職割合の多い高校。卒業式で配布する提案をしたところ、すぐ配りたいとのことで、後日お届け（198名分）。

行橋高等学校

- 日時：2025年11月12日　13：30～13：45
- 普及先：特定非営利活動法人抱樸/社会福祉法人抱樸（北九州市）
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：困窮支援時の活用についてご検討いただけるとのこと。役職者に配布（30部）。

- 日時：2025年11月20日　14：30～14：45
- 普及先：社会福祉法人共生の里　各福祉分野：理事長及び役職者全員
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：自法人の理事長及び役職者におおいにアピール。支援のきっかけツールとして活用方法を提案及び配布（32部）。

- 日時：2025年12月3日　10：00～10：10
- 普及先：民生委員会：民生委員（稗田地区、今元地区、椿市地区、行橋中央地区）（行橋市）
- 対応：地域委員（村上和子）
- 内容：家計改善支援に繋ぐきっかけツールとして配布（74部）。

- 日時：2025年10月16日
- 普及先：八女市　支援調整会議
- 対応：地域委員（渡辺貴子）
- 内容：家計アプリとテキストについて、紹介

- 日時：2025年10月29日　10：00～11：45
- 普及先：大牟田市　支援調整会議
- 対応：地域委員（渡辺貴子）
- 内容：家計アプリの目的や内容、アプリを利用した結果例を提示、新社会人向けのテキストのポイントや、ワークブックの利用について説明。

- 日時：2025年11月18日　11：00～12：00
- 普及先：筑紫女学園大学（太宰府市）
- 対応：地域委員（森崎薫・渡辺貴子）
- 内容：家計アプリやテキストの目的や意義について説明。学生の多くは自宅生だが、中には児童養護施設出身者で支援が必要な例もあるので、テキストを通した学び

筑紫女学園大学

や支援に用いることもできそうだという反応。資料を10部渡し、教員、支援者への情報共有をお願いした。

- 日時：2025年11月28日　14：00～16：00
- 普及先：久留米市　第２回家計セミナー
- 対応：協力部会員（藤浦久美）
- 内容：久留米市が開催する家計セミナーの最後に家計アプリについて案内。家計アプリが開発されたので気軽にスマホで使ってみてほしい、家計相談につながるような情報も入っていると紹介。その後、久留米市生活支援課へ資料を10部配布。

- 日時：2025年12月1日
- 普及先：島根県社会福祉協議会主催生活困窮者自立相談支援機関家計研修
- 対応：協力部会員（糸長舞子・藤浦久美）
- 内容：講師を務めた県社協主催の家計研修の最後に、家計アプリとワークブック・参考書の有効性をアピールし、研修後に資料を送付。

- 日時：2025年12月26日
- 普及先：大牟田市役所　福祉課
- 対応：地域委員（渡辺貴子）
- 内容：2026年成人式での配布物にアプリの URL と二次元コード記載が可能となった。新社会人が家計を考えるきっかけになるよう案内した。

- 日時：2025年10月6日　17：15～17：25
- 普及先：筑紫野市役所　保護課保護係の定例会議
- 対応：地域委員（森崎薫）協力部会員（吉田恭子）
- 内容：CW 約20名に資料を配布し説明。保護世帯で進学や就職を予定している方にも対応できることを伝えた。

- 日時：2025年10月24日　10：00～12：00
- 普及先：春日市　支援調整会議
- 対応：地域委員（森崎薫）協力部会員（岩﨑修子）
- 内容：支援調整会議参加メンバー（障がい・収納課・健康福祉・高齢の各課）に説明をして配布（10部）。

- 日時：2025年10月
- 普及先：古賀市　支援会議
- 対応：協力部会員（大園公子）
- 内容：子育て、障がい、保護係、福祉相談係参加の会議にて説明。10部配布。福祉相談係より窓口設置したいと言われ20部渡した。

- 日時：2025年10月21日　15：30～16：00
- 普及先：糸島市役所　福祉相談係、保護係
- 対応：地域委員（森崎薫）協力部会員（栗山淳子）
- 内容：資料を基に説明。保護世帯の進学、就職する若い方へのアプローチにも活用できることを伝えた。その後、水道課、収税課にも市役所から案内していただいた。10 部配布。

- 日時：2025年11月23日　9：00～
- 普及先：福岡県女性サポートホットライン
- 対応：地域委員（森崎薫）
- 内容：資料を基に説明。支援員に配布してもらうよう伝えた。10部配布。

- 日時：2025年12月18日
- 普及先：筑紫野市役所　こども家庭課・学校教育課・高齢者支援課・生活福祉課・消費生活センターの係長（もしくは担当職員）
- 対応：地域委員（森崎薫）
- 内容：各課の係長（もしくは担当職員）に個別に説明を行った（10 部配布）。その後、各課で関わる職員や地域包括支援センターに配布し情報共有をしたいとの要望を受け、こども家庭課、高齢者支援課へ各 50 部、生活支援課へ10部配布した。

- 日時：2025年10月21日　15：30～16：00
- 普及先：太宰府市社協、太宰府市役所
- 対応：地域委員（森崎薫）、協力部会員（芦刈史）
- 内容：市役所内の自立相談支援員に配布と説明（5部）。社協で貸付担当職員に説明と配布（5部）。

- 日時：2026年2月3日　13：30～14：00
- 普及先：抱樸館福岡（福岡市）
- 対応：地域委員（森崎薫）
- 内容：訪問し、配布と説明（20部）。

- 日時：2025年10月
- 普及先：糟屋困りごと相談室（福岡県粕屋郡）
- 対応：協力部会員（久木原良子、岩﨑修子）
- 内容：所内で共有。100セット配布。

- 日時：2025年9月23日　10：00～
- 普及先：社福グリーンコープ（生活再生ワーカーズこころる）家計相談支援員
- 対応：地域委員（渡辺貴子、森崎薫、木村和代）
- 内容：家計改善支援員対象の研修参加者40名に各事業所の支援員分の資料を配布しアプリの情宣について説明。各事業所や関係機関へのアピールを実践方法も交えて説明した。

- 日時：2025年9月26日　15：30～15：50
- 普及先：宮若市　支援調整会議　関係機関参加者
- 対応：地域委員（木村和代）、協力部会員（大山智恵）
- 内容：支援調整会議の参加者（8名）にアプリの概要を説明し、活用の呼びかけ、8部配布した。

- 日時：2025年10月3日
- 普及先：田川市
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：中間報告のための田川市役所訪問時に時間を頂きアプリの説明を行い、活用を呼びかけた（6部配布）。家計相談時の使用については快く了解

され、まずは家計相談で活用していくことになった。庁内での活用については検討が必要とのこと。

- 日時：2025年10月22日　13：30～16：00
- 普及先：戸畑　母子寡婦福祉会（ルックひまわり）（北九州市戸畑区）
- 対応：地域委員（木村和代）、協力部会員（糸長舞子）
- 内容：アプリの概要説明、活用の呼びかけ。子ども食堂などで少し時間をもらっての説明は考えられるが、相談者に直接案内をすることは困難であるとのこと。

- 日時：2025年10月26日　10：00～15：00
- 普及先：グリーンコープ　北九州地域まつり（グリーンフェスタ）
- 対応：地域委員（木村和代）、協力部会員（糸長舞子、大山智恵）
- 内容：まつりでブースを設けてアプリの説明を行った。家族連れにはなかなか足を止めてもらえず、お一人やお二人連れを中心に声掛けし、参加者12名にその場で操作して、最後のデータの送信までしてもらった。「設問は多かったが楽しめた」「わが子にさせてみよう」等、使用に繋がる感想をもらった。

- 日時：2025年11月6日
- 普及先：福岡県ひきこもり地域支援センター　筑豊サテライトオフィス
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：若年層の相談が多いので、支援の中で使用の呼びかけができそう、事業所にも置いておいて、興味のありそうな方に対し個別に勧めたいとのこと。

- 日時：2025年11月26日　10：40～11：00
- 普及先：グリーンコープ生協　中遠支部　福祉委員会（福岡県遠賀郡）
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：学習会の中でアプリの説明と利用、活用、セミナー開催の案内を行った。関心が高く、興味を持たれ、持ち帰って支部委員会にも紹介いただいた。

- 日時：2025年12月
- 普及先：香春町社会福祉協議会、福智町社会福祉協議会、大任町社会福祉協議会、添田町社会福祉協議会、川崎町社会福祉協議会、桂川町社会福祉協議会
- 対応：協力部会員（中村清子、池田亜澄）
- 内容：アプリの説明、アピールをした。反応は良かった。各５部ずつ配布。

- 日時：2025年12月18日
- 普及先：小竹町役場　福祉課
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの情宣を行った。自分たちでも試してみるとのこと。

- 日時：2025年12月18日
- 普及先：鞍手町福祉課
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの情宣を行った。関心を持たれた。

- 日時：2025年12月18日
- 普及先：小竹町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの説明、アピールをした。反応は良かった。

- 日時：2025年12月18日
- 普及先：嘉穂・鞍手保健福祉事務所
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの情宣を行った。自分たちでも試してみるとの事。

- 日時：2025年12月23日
- 普及先：遠賀町福祉課福祉課、遠賀町都市計画課、遠賀町市民課
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの情宣を行った。関心を持たれた。

- 日時：2025年12月23日
- 普及先：遠賀町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの情宣を行った。自分たちでも試してみるとのこと。

- 日時：2025年12月24日
- 普及先：芦屋町福祉課、芦屋町税務課
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの情宣を行った。関心を持たれた。

- 日時：2025年12月24日
- 普及先：芦屋町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの情宣を行った。関心を持たれた。

- 日時：2025年12月24日
- 普及先：宗像・遠賀保健福祉事務所
- 対応：地域委員（木村和代）
- 内容：アプリの説明、アピールをした。反応は良かった。

- 日時：2025年12月25日
- 普及先：岡垣町役場　福祉課
- 対応：地域委員（木村和代）

● 内容：アプリの情宣を行った。自分たちでも試してみるとのこと。

● 日時：2025年12月25日
● 普及先：岡垣町社会福祉協議会
● 対応：地域委員（木村和代）
● 内容：アプリの情宣を行った。関心を持たれた。

● 日時：2025年12月26日
● 普及先：水巻町役場　福祉課
● 対応：地域委員（木村和代）
● 内容：アプリの情宣を行なった。関心を持たれた。

● 日時：2026年1月7日
● 普及先：宗像・遠賀保健福祉事務所　保護1課
● 対応：地域委員（木村和代）
● 内容：アプリの情宣を行った。とても関心を持たれた。15部配布。

● 日時：2026年1月
● 普及先：北九州生活再生相談室
● 対応：協力部会員（糸長舞子）
● 内容：アプリの説明を行った。

● 日時：2026年1月
● 普及先：若年女性フリースペース（北九州市）
● 対応：協力部会員（糸長舞子）
● 内容：アプリの情宣を行った。10部配布。

● 日時：2026年1月
● 普及先：北九州市いのちをつなぐネットワークコーナー　7区役所
● 対応：協力部会員（糸長舞子）
● 内容：アプリの情宣を行った。各7部配布。

● 日時：2026年1月
● 普及先：抱樸　金銭学習会（北九州市）
● 対応：協力部会員（糸長舞子）
● 内容：アプリの情宣を行った。20部を2回配布。

8）九州（福岡以外）ブロック

① 説明会

- 日時：2025年10月3日　12：00～12：30
- 会場：長崎県諫早市社会福祉会館
- 参加：16 人（家計改善支援員 7 名、自立支援員9名、職員 1 名）
- 対応：地域委員（西村亜紀子）
- 内容：地域説明会資料　家計リスク点検アプリと学習教材について」説明。
  アプリの活用方法について、各自治体への情宣活動について相談。

＜所感＞

・家計改善支援員は、担当する自治体の自立支援員や支援調整会議での案内

を行うこと、自立支援員も、それぞれの事業所で活用することを共有した。
・家計相談への促しを新しい形でできるのではないか、キャラクターがかわいいとの感想が出された。

② 普及活動

- 日時：2025年9月25日　13:30～14:00
- 普及先：佐賀市支援調整会議、佐賀市生活福祉課、佐賀市生活自立支援センター
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。

- 日時：2025年10月1日　17:30～17:45
- 普及先：佐賀市出前講座、佐賀市東部地区地域包括支援センター職員
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。

- 日時：2025年10月9日　10:30～10:45
- 普及先：佐賀市社会福祉協議会、地域担当職員
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。

- 日時：2025年10月22日　15:00～15:30
- 普及先：佐賀県生活困窮者自立支援制度従事者研修、佐賀県内生活自立支援センター（主任相談員、相談支援員、就労・相談支援員、家計改善支援員）、佐賀県社会福祉課、佐賀市生活福祉課、嬉野市福祉課
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：従事者研修においてパワーポイントを使用し、アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。

- 日時：2025年10月27日　10:00～11:00
- 普及先：スチューデントサポートフェイス、佐賀市生活自立支援センタースタッフ（主任相談員、相談支援員、就労支援員）
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：パワーポイント資料（印刷）を使用し、アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。質疑応答。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、佐賀市生活自立支援センター待合室情報コーナーと佐賀市青少年センター相談コーナーに設置。乳幼児をもつ母親の支援（若年での出産・ひとり親）「赤ちゃん支援」対象者に対してアナグマ案内所チラシの配布を希望された。→配布（100部）

- 日時：2025年12月4日　15:30～15:45
- 普及先：佐賀市こども家庭センター、こども保健係
- 対応：地域委員（本多輝美）

- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、こども家庭センター相談窓口に設置。

- 日時：2025年12月10日　13:15～13:30
- 普及先：佐賀県生活困窮者自立支援ネットワーク実務者連絡会（東部地区）・鳥栖保健福祉事務所、中部保健福祉事務所、基山町（福祉課、地域包括支援センター、プラチナ社会政策課、こども課、健康増進課、定住促進課、税務課、社会福祉協議会、民生委員・児童委員）、上峰町（健康福祉課、社会福祉協議会）、みやき町（子育て福祉課）、吉野ヶ里町（福祉課、社会福祉協議会）、佐賀県生活自立支援センター
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：パワーポイントを使用し、アプリと学習教材について説明。アナグマ案内書チラシ、案内カードを配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、基山町・上峰町・みやき町・吉野ヶ里町福祉課窓口に設置。

- 日時：2025年12月12日　11:00～11:15
- 普及先：佐賀市若楠公民館、おれんじ広場（佐賀市生活困窮者機能強化補助金交付事業）参加者、佐賀市生活福祉課・こども家庭センター・若楠公民館職員、いつくしみの苑（母子生活支援移設）、おたっしゃ本舗城北（地域包括支援センター）、佐賀市生活自立支援センター
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カードを配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、若楠公民館窓口に設置。

- 日時：2025年12月17日　13:15～13:30
- 普及先：佐賀県生活困窮者自立支援ネットワーク実務者連絡会（西部地区）杵藤保健福祉事務所、伊万里保健福祉事務所、唐津保健福祉事務所、佐賀県健康福祉部社会福祉課、江北町（健康福祉課、社会福祉協議会）、大町町（福祉課、社会福祉協議会）、白石町（健康福祉課、社会福祉協議会）、太良町（町民福祉課、社会福祉協議会）、有田町（健康福祉課）、玄海町（福祉・介護課、社会福祉協議会）、佐賀県生活自立支援センター
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。アナグマ案内所チラシ、案内カードを配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、江北町・大町町・白石町・太良町、有田町、玄海町福祉課窓口に設置。

- 日時：2025年12月18日　11:00～11:15
- 普及先：佐賀市ふくしまるごと相談窓口、佐賀市社会福祉協議会担当者
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、ふくしまるごと相談窓口に設置。

- 日時：2025年12月24日　11:00～11:30
- 普及先：佐賀県社会福祉協議会（コロナ特例貸付フォローアップ支援事業に係る情報共有会議）、佐賀県内市町社会福祉協議会職員、佐賀県内生活自立支援センター相談員、佐賀県社会福祉協議会地域福祉部職員
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：パワーポイントを使用し、アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを佐賀県社会福祉協議会、白石町社会福祉協議会、鳥栖市社会福祉協議会窓口に設置。白石町民生委員、児童委員協議会においてアプリの説明を行いたいと申し出があり、アナグマ案内所チラシ、案内カードを20部渡した。

- 日時：2026年1月14日　11:00～11:15
- 普及先：佐賀市本庄公民館おれんじ広場（佐賀市生活困窮者機能強化補助金交付事業）参加者、佐賀市生活福祉課・こども家庭センター・本庄公民館職員、おたっしゃ本舗城西（地域包括支援センター）、佐賀市生活自立支援センター
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カードを配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、本庄公民館窓口に設置。

- 日時：2026年1月15日　10:00～10:15
- 普及先：佐賀市こども家庭センター　子育てコーディネート係
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カードを配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、こども家庭センター窓口に設置。

- 日時：2026年1月29日　15:00～15:40
- 普及先：佐賀市生活福祉課、　就労支援室・保護係
- 対応：地域委員（本多輝美）
- 内容：パワーポイントを使用し、アプリと学習教材について説明。タブレットを使用し、家計の道しるべを紹介。アナグマ案内所チラシ、案内カード、ワークブック、参考書を配布。アナグマ案内所チラシ・案内カードを、こども家庭センター相談窓口に設置。アナグマ案内所チラシを市役所玄関、福祉課窓口に設置

- 日時：2025年10月2日　13:30～14:00
- 普及先：長崎県雲仙市保護課
- 対応：地域委員（西村亜紀子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を説明。保護課から自立支援事業へつながる相談者も多いため、相談者への活用をお願いした。

- 日時：2025年10月8日　13:30～11:45
- 普及先：長崎県壱岐市支援調整会議（壱岐市地域福祉課、保護課、社協）

- 対応：地域委員（西村亜紀子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。社協の自立支援員には、チラシと名刺を20部ずつ渡し、家計相談につなげる際の活用をお願いした。

- 日時：2025年10月10日　14:45～15:00
- 普及先：長崎県保健福祉課　専門監、課長補佐、係長
- 対応：地域委員（西村亜紀子）協力部会員（松尾淳子、松尾敦奈）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。県主催の人材養成研修での説明について了承いただいた。

- 日時：2025年10月16日　14:00～15:00
- 普及先：長崎県西海市社会福祉協議会　自立支援員、家計改善支援員
- 対応：地域委員（西村亜紀子）協力部会員（松尾淳子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。チラシと名刺を50部ずつ、テキスト2種を10部ずつ渡し、家計相談につなげる際の活用などをお願いした。

- 日時：2025年10月16日　11:30～11:45
- 普及先：長崎県東彼杵郡東彼杵町支援調整会議（福祉事務所、東彼杵町　町民課、こども健康課、税財政課、包括、社協、ハローワーク、若者サポートステーション、障害者支援センター
- 対応：協力部会員（松尾淳子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。特に、若者サポートステーションの担当者が興味を示され、後日資料を10部追加で渡した。

- 日時：2025年10月26日　11:30～11:45
- 普及先：長崎県平戸市福祉部福祉課生活福祉係（自立支援員）
- 対応：協力部会員（溝口由利子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。

- 日時：2025年10月28日　10:00～10:15
- 普及先：新上五島福祉事務所福祉課　（自立支援員）（長崎県）
- 対応：協力部会員（溝口由利子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。

- 日時：2025年11月10日　9時45分～10時
- 普及先：長崎県北松浦郡佐々町社会福祉協議会　（自立支援員）
- 対応：協力部会員（溝口由利子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種をお渡しし、目的や活用方法をお伝えした。

- 日時：2025年11月18日　11:00～11:20
- 普及先：長崎県松浦市福祉事務所　福祉総務係　（自立支援員）

- 対応：協力部会員（溝口由利子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。

- 日時：2025年11月21日　11：30～11：45
- 普及先：長崎県大村市社会福祉協議会　（自立支援員）
- 対応：協力部会員（池田その恵）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カードを渡して、目的や活用方法を伝えた。相談者用に5部ずつ渡し、自立から家計へ繋ぐ際の活用をお願いした。

- 日時：2025年11月21日　11：30～11：45
- 普及先：長崎県東彼杵郡波佐見町社会福祉協議会
- 対応：協力部会員（松尾敦奈）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法をお伝えした。自立から家計へ繋ぐ際の活用をお願いした。

- 日時：2025年12月5日　14：30～14：45
- 普及先：長崎県対馬市福祉事務所　保護課　主任、会計
- 対応：協力部会員（松尾淳子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。アプリで家計を気軽に診断でき、家計診断をもとに自立から家計へつなぐツールとして活用いただけることを説明した。家計診断については大変興味を示され、ぜひ活用したいと言われた。その後、家計担当者が追加の資料を渡した。

- 日時：2026年1月7日　14：00～14：15
- 普及先：長崎県西彼杵郡長与町社会福祉協議会（主任相談員、自立支援員）
- 対応：協力部会員（髙村紀子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。自立から家計へ繋ぐ際の活用をお願いした。自立支援員からは、「アプリだったら使いやすそう」「自分もやってみよう」などの感想があった。

- 日時：2026年1月16日　9：45～10：00
- 普及先：長崎県西彼杵郡時津町社会福祉協議会（自立支援員）
- 対応：協力部会員（髙村紀子）
- 内容：一般向け情宣用チラシと名刺サイズ案内カード、テキスト2種を渡して、目的や活用方法を伝えた。自立から家計へ繋ぐ際の活用をお願いした。

- 日時：2025年9月2日　15：15～15：30
- 普及先：大分市社会福祉協議会　生活支援課課長・参事他
- 対応：地域委員（近澤和子）、協力部会員（平岡啓介）
- 内容：大分市社会福祉協議会生活支援課の課内連絡会議でチラシ等を説明し、「家計の道しるべ」の活用を促した。新社会人向けのワークブック・参考書はご家族や身近な方へもチラシの二次元コードの案内を呼びかけた。「ご自分のお金の使い方がどうなのかの結果がグラフなどで分かります」

と説明した時は会場から「お～」とどよめきがあった。

- 日時：2025年10月31日　11:00～11:10
- 普及先：大分県由布市支援調整会議（副主幹、自立支援員、ワーカーズコープ他）
- 対応：協力部会員（塩月恵子、土橋教子）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。市から参考書・ワークブックの追加希望（5部）があり、11月27日持参した。

- 日時：2025年11月18日　15:05～15:15
- 普及先：うすきプラットホーム　福祉事務所長、社協、職員高齢者施設、障がい者施設、病院関係他　（大分県臼杵市）
- 対応：協力部会員（平岡啓介）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。多くの参加者が興味を示し、すぐに二次元コードを読み取る人もいた。

- 日時：2025年11月19日　10:10～10:20
- 普及先：大分県佐伯市支援調整会議（福祉保健部、社協、自立支援員、ハローワーク）
- 対応：地域委員（近澤和子）、協力部会員（平岡啓介）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは21枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。佐伯市には試作段階でのアプリを試していただいたので、「違いなどわかるので楽しみ」と言われた。

- 日時：2025年11月19日　10:10～10:20
- 普及先：大分県速見郡日出町支援調整会議（県東部保険所地域福祉室室長、役場主査、社協、ワーカーズコープ他）
- 対応：協力部会員（土橋教子）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。とても興味を持っていただけた。

- 日時：2025年11月20日　14:30～14:40
- 普及先：大分県豊後大野市支援調整会議（社会福祉課、学習支援、就労準備、自立相談員）
- 対応：協力部会員（井上悦子）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押し

て欲しいと伝えた。「子どもに見せたい」「やってみたい」と反応が良かった。

- 日時：2025年11月21日　10:05～10:15
- 普及先：大分市支援調整会議（福祉課参事、ハローワーク、青少年総合相談所、アソウーヒューマニー（就労準備）社協（自立・就労）等）
- 対応：地域委員（近澤和子）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。市は参考書・ワークブックにとても興味を持たれていたので、追加可能と伝えた。

- 日時：2025年11月25日　11:25～11:40
- 普及先：大分県佐伯市生活困窮者自立相談支援連絡会議（社会福祉課、商工会議所、民生委員、障がい、高齢者施設、県社協、市社協等）
- 対応：地域委員（近澤和子）、協力部会員（城井英司）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。年に1度の開催の会議なので、家計改善支援の内容や事例などを報告した後に、アプリの説明をした。アプリは客観的にご自分の家計の様子をわかっていただき、家計改善支援を受けたほうが良いと思っていただける人が増えることを目的としていて、そこには全国の支援の窓口の情報が載っていることも伝え、有効に使っていただけるツールであるとアピールした。

- 日時：2025年11月26日　11:40～11:50
- 普及先：大分県津久見市支援調整会議（社会福祉課課長、生活支援班、障がい者・高齢者施設、ハローワーク等）
- 対応：地域委員（近澤和子）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。津久見市は直営なので、市役所窓口等に置けるように相談するとのことだった。

- 日時：2025年11月27日　14:40～14:50
- 普及先：大分県宇佐市支援調整会議（社会福祉課、社協、ワーカーズコープ等）
- 対応：協力部会員（塩月恵子）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。

- 日時：2025年11月27日　14:45～14:55
- 普及先：玖珠・九重町支援調整会議（大分県西部保健所、玖珠町役場福祉課、ワーカーズコープ、社協等）（大分県玖珠郡）

- 対応：協力部会員（平岡敬介）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを配布し、説明を行った。カードは20枚渡し、窓口にも置いていただけるようにお願いした。個人情報など心配はないので必ず送信ボタンを押して欲しいと伝えた。参加者の皆さんは興味津々の様だった。

- 日時：2025年12月12日　10:00～10:30
- 普及先：宮崎県日向市社会福祉協議会　生活福祉課自立支援係
- 対応：地域委員（古津理恵、高濱千夏）
- 内容：家計診断アプリや参考書、ワークブックを紹介。日頃の家計面談の中で、金銭教育の必要性を感じ、今後実施できればと考えておられた。小中学生向けの教材についても期待されていた。

- 日時：2025年12月12日　13:30～15:00
- 普及先：グリーンコープみやざき生活再生相談室、宮崎市自立相談支援センター
- 対応：地域委員（古津理恵、高濱千夏）
- 内容：家計診断アプリや参考書、ワークブックを紹介。生活保護受給世帯の高校生への講座を検討されていたため、タイムリーだと喜ばれた。児童養護施設から自立する子ども達への金銭教育についても相談があっているとのこと。今後積極的に活用される様子を感じた。

- 日時：2025年9月20日　10:30～10:45
- 普及先：社会福祉法人グリーンコープ　生活再生支援事業熊本県本部　職場会議
- 対応：地域委員（古津理恵、高濱千夏）
- 内容：家計改善支援員、自立相談支援員、就労準備支援員が集まる会議の場で、アプリを紹介し、一度各人で試して欲しいことを伝える。自立相談窓口にチラシを置いてもらうように案内。

- 日時：2025年9月20日　9:30～10:00
- 普及先：グリーンコープ熊本生活再生相談室　家計改善支援員
- 対応：地域委員（古津理恵、高濱千夏）
- 内容：家計改善支援員を集めてアプリや教材についての学習会を行い、実施後、各支援調整会議で案内してもらえるように共有した。

- 日時：2025年10月15日　14:00～14:30
- 普及先：熊本県健康福祉課
- 対応：地域委員（高濱千夏）、協力部会員（原田浩哉）
- 内容：家計診断アプリや参考書、ワークブックを紹介。今後各地の支援調整会議等で案内していきたい旨を報告。了承いただいた。

- 日時：2025年11月17日　14:00～14:15
- 普及先：熊本県阿蘇郡支援調整会議メンバーでの視察研修会、各町村自立相談支援担当者、ハローワーク阿蘇、抱樸館熊本職員
- 対応：地域委員（古津理恵）
- 内容：家計診断アプリや参考書、ワークブックを紹介。自立相談の受付窓口にチラシを置いていただくように依頼。家計面談に繋ぎたい相談者へのア

プローチとしての活用など、相談現場での活用を考えていただくきっかけとなった。

- 日時：2025年11月18日　15：00～15：15
- 普及先：熊本県球磨郡支援調整会議（県社協、球磨福祉事務所、各町村の福祉課担当職員、各町村の自立相談支援員、人吉市自立、子どもの学習支援員、ハローワーク）
- 対応：協力部会員（原田浩哉）
- 内容：家計診断アプリや参考書、ワークブックを紹介。自立相談の受付窓口にチラシを置いていただくように依頼。12月に開催予定の人吉高校五木分校での金銭教育も紹介したところ、高校まで見学に来られた。

- 日時：2025年12月23日　15：45～16：00
- 普及先：上下益城郡支援調整会議（県社協、上益城福祉事務所、各町の福祉課担当職員、各町の自立相談支援員、子どもの学習支援員、ハローワーク）（熊本県）
- 対応：地域委員（高濱千夏）
- 内容：家計診断アプリや参考書、ワークブックを紹介。その場で二次元コードを読み込み試していただいた。自立相談支援事業所の窓口にチラシを置いていただくように案内。御船高校での金銭教育の様子についても報告した。

- 日時：2025年12月22日　16：00～16：15
- 普及先：熊本県八代市支援調整会議（八代市福祉課課長、八代市自立相談支援員、就労支援員、子どもの学習支援員）
- 対応：地域委員（高濱千夏）
- 内容：家計診断アプリや参考書、ワークブックを紹介。その場で二次元コードを読み込み試していただいた。自立相談支援事業所の窓口にチラシを置いていただくように案内。教材についても興味を持っていただけた。

- 日時：2025年12月19日　15：00～15：30
- 普及先：鹿児島県出水市安心サポートセンター　生活支援グループ（自立支援、子ども支援）自立支援員
- 対応：協力部会員（川原ひろみ）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを10部渡し、活用いただくように説明した。利用後は送信ボタンを最後まで押して終了して欲しいと伝えた。該当する方がいるので同席のもと一緒にしていただけないか依頼があったので、年明けに実施する予定。

- 日時：2025年12月8日　10：00～10：30
- 普及先：鹿児島県日置市福祉課　生困担担当職員
- 対応：協力部会員（平名よしの）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを10部渡し、活用いただくように説明した。利用後は送信ボタンを最後まで押して終了して欲しいと伝えた。また、部署内でも回覧していただくようにお願いしたところ、早速該当する方に勧めていただいた。

- 日時：2025年12月22日　10：00～10：30
- 普及先：鹿児島県枕崎市　援護係　保護係ケースワーカー、係長
- 対応：協力部会員（知久真由美）
- 内容：アナグマ案内所のチラシ、カード、家計の見直し参考書、ワークブックを10部渡し、活用いただくように説明した。利用後は送信ボタンを最後まで押して終了して欲しいと伝えた。

＜4つの高校で高校生向けの金銭教育を実施＞

消費者支援ネット熊本からの依頼を受けて、新社会人向けの参考書をベースにした金銭教育講座を実施した。

- 日時・対象：11月　4日　県立熊本北高等学校　3年生　350名
  11月10日　私立有明高等学校　3年生　150名
  1月19日　県立人吉高等学校五木分校　3年生　2名
  2月19日　県立熊本農業高校　3年生　360名　計862名
- 対応：地域委員（高濱千夏）、協力部会員（中島明美）
- 内容・所感：
  - ・北高は進学校のため、進学した場合に特化した話をした。仕送りの金額を相談していない世帯が多かった。
  - ・有明高校は進学、就職、看護科へ内部進学と多様な進学先だったため、講師3名で分担してワークショップを対応。先生の感想「1時間ではもったいない。来年は2コマ以上で」。
  - ・五木分校の生徒は2名とも就職・自宅から通勤予定。車が必須な土地柄。車の維持費や将来一人暮らしをするために計画的に貯金する方法など、実践的な講座となった。

＜生徒の感想＞

・思ったより、自由に使えるお金が無くて驚いた。効率的にやっていこうと思う。この講座を受けてためになることをたくさん知ることができたので良かったと感じた。

・実際に自分の行く会社の求人票に書いてある手取り額と必要な金額を引いてみると手に残るお金っていうのはほんとに少ないし様々なものが多く生活するのも結構苦労するんだなと思った。

・仕事をし始めて一人暮らしをしたときに給料からどれくらいのお金が引かれていくかを計算して実際に自分が自由に使えるお金の金額がだいたいわかってよかった。

・趣味などに使える分のお金は思っていたより少なかったので将来は貯金をコツコツ重ねて、旅行に行ったり好きなものを買いたいと思いました。

・親にもお金のことを心配されていたから受講してお金の使う優先順位が分かった。

・仕事をしだしたらいきなり大金が入るから、つい浮かれて散財してしまうかもしれないからそうならないようにしっかり計画を立ててお金を使うことの大切さを学ぶことができた。

9）沖縄ブロック

① 説明会

- 日時：2025年9月17日 10:00～10:50
- 会場：沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンター中部
- 開催方法：ハイブリッド
- 参加：16 名
- 内容：事業の目的やこれまでの取り組みについて説明し、実際にアプリを試してもらい、内容を確認してもらった。製本された参考書・ワークブックを配布し、説明。質疑応答。

＜所感＞

・参加者は県内の家計改善支援員であったため、アプリや学習教材に興味を持っている方が多かったように感じた。

・アプリに関しては口頭で説明してもイメージがつきにくいと思われたため、説明会の時間内に実際に試してもらい反応をみたが、参加者の反応は概ね良好で、「早速相談者に試してみたい」といった声も聞かれた。また、近々就労準備の対象者向けに家計セミナーを実施するセンターからは「セミナーの説明資料として参考書・ワークブックを活用したい」との声も聞かれた。

・スマホアプリからワークブックを見た方から「家計表に直接数値を入力できるの？」と質問があり、製本された教材に直接書き込んで活用するよう案内した。

② 普及活動

- 日時：2025年10月21日 15:40～16:00
- 普及先：八重瀬町社会福祉協議会 ケース検討・連携調整会議
- 対応：地域委員（松尾暢子）
- 内容：家計リスク点検アプリを実際に試してもらいながら説明。その後、テキスト2種（ワークブック・参考書）の説明も行った。相談者に配布するためのチラシ・案内カード・テキスト2種を渡した。

- 日時：2025年10月30日　13：30～14：00
- 普及先：南風原町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（松尾暢子）
- 内容：家計改善支援事業について簡単に説明。家計リスク点検アプリは実際に試してもらいながら説明し、テキスト2種（ワークブック・参考書）の説明も行った。相談者に配布するためのチラシ・案内カード・テキスト2種を渡した。

- 日時：2025年11月11日　13：30～14：00
- 普及先：与那原町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（松尾暢子）
- 内容：家計リスク点検アプリを実際に試してもらいながら説明。その後、テキスト2種（ワークブック・参考書）の説明も行った。相談者に配布するためのチラシ・案内カード・テキスト2種を渡した。

- 日時：2025年12月2日　14：30～15：00
- 普及先：北谷町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（仲程愛理）
- 内容：家計リスク点検アプリを実際に試してもらいながら説明。その後、テキスト2種（ワークブック・参考書）の説明も行った。相談者に配布するためのチラシ・案内カード・テキスト2種を渡した。

日時：2025年12月2日　15：30～16：00

- 普及先：嘉手納町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（仲程愛理）
- 内容：家計リスク点検アプリを実際に試してもらいながら説明。その後、テキスト2種（ワークブック・参考書）の説明も行った。相談者に配布するためのチラシ・案内カード・テキスト2種を渡した。

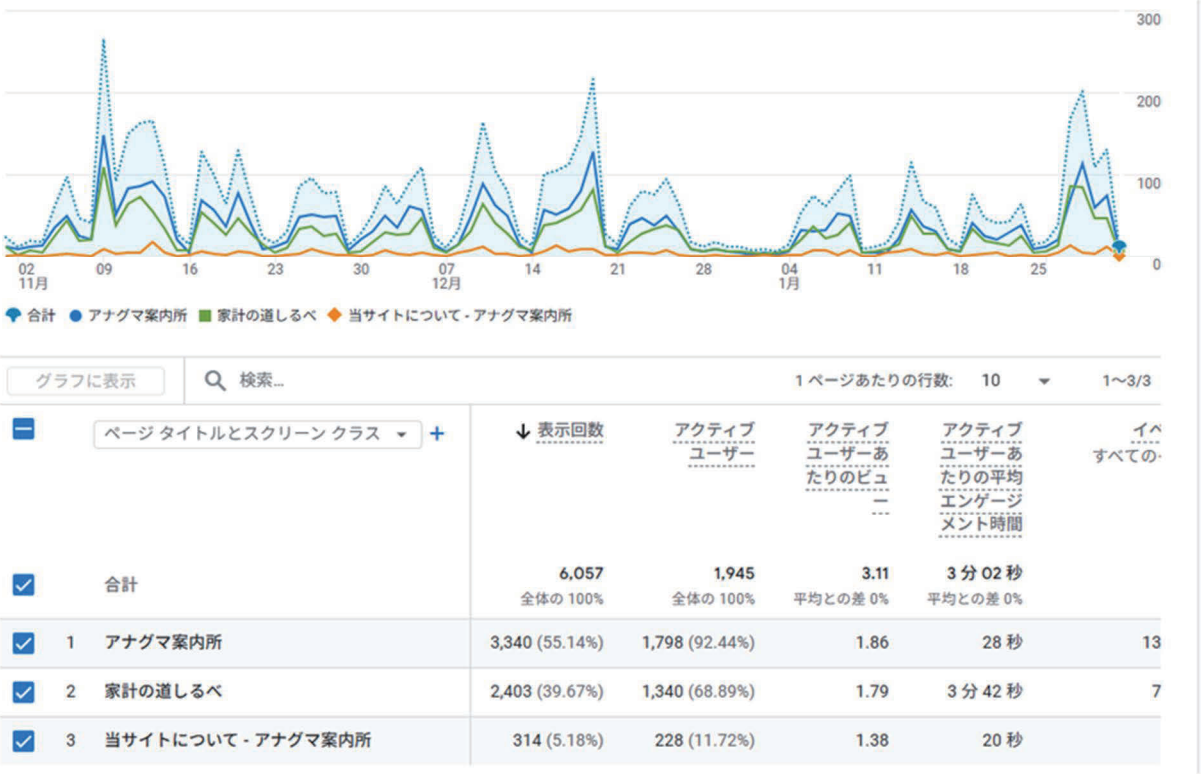
- 日時：2025年12月10日　9：30～9：50
- 普及先：西原町社会福祉協議会
- 対応：地域委員（松尾暢子）
- 内容：家計リスク点検アプリを実際に試してもらいながら説明。その後、テキスト2種（ワークブック・参考書）の説明も行った。相談者に配布するためのチラシ案内カード・テキスト2種を渡した。

- 日時：2025年12月24日　10：00～10：30
- 普及先：沖縄県中部福祉事務所　生活保護班
- 対応：地域委員（仲程愛理）
- 内容：家計リスク点検アプリを実際に試してもらいながら説明。その後、テキスト2種（ワークブック・参考書）の説明も行った。相談者に配布するためのチラシ・案内カード・テキスト2種を渡した。

(4)家計アプリへのアクセス状況

1)アクセス数の推移(11月～1月)

3 ヶ月で 2,403 回の表示(利用者数は 1,340 件)があった。平日に多く、土日・年末年始は少ない。平日は 30～40 件のアクセス／日ことから相談員が日常業務の中で利用いただいていることがわかる。また 11 月の全国交流大会(滋賀)で紹介した際にアクセスいただいた件数が増えていることもみてとれる。



2)アプリへのアクセスから回答までの傾向

アクセス解析のデータを精査すると、アクセス数は毎月 2,000 件前後となっており、1 人(1端末)あたり平均 3 回ほどアクセスされている。

アクセスしたうえで、設問に回答し、最後の結果表示まで行った件数は毎月 300 件前後でありアクセスした方の 40～45%が最後まで回答している。なお、アプリを開いてすぐに閉じたか、回答の途中で離脱したかはログからは確認できない仕様となっている。さらに、アプリの改善等を目的に、回答内容をデータ送信できる機能をつけているが、データ送信まで実施したのは、回答者の 22～35%だった。

	ページ表示（回数）	ページ表示（人数）	結果表示（回数）	データ送信（件数）
11 月	2, 241	727	332 （45. 7%）	117 （35. 2%）
12 月	2, 101	755	303 （40. 1%）	73 （24. 1%）
1 月	1, 715	574	253 （44. 1%）	56 （22. 1%）

3)家計アプリ、回答集計

①概要

家計管理のリスクを点検できるアプリ(以下、家計アプリ)を開発、試験的に全国の家計改善支援にかかわる担当者を中心に協力をいただき回答を収集した。

ここで紹介する集計データは8月20日から3月25日までにデータ送信された回答 561 件を集計したものとなります。

②回答者の属性

あなたの年齢を教えてください

	N	%
18 歳未満	5	0.9%
18～29 歳	62	11.1%
30 歳～39 歳	86	15.3%
40 歳～55 歳	247	44.0%
56 歳～64 歳	121	21.6%
65 歳以上	40	7.1%
合計	561	100.0%

ご職業を教えてください

	N	
高校生	4	
大学生	4	
会社員	404	
自営業	22	
パート・アルバイト	90	
無職	37	
合計	561	1

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	142	25.3%
既婚	329	58.6%
離別	79	14.1%
死別	11	2.0%
合計	561	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃすか？

	N	
いない	337	
1 人	103	
2 人	86	
3 人以上	35	
合計	561	1

世帯人数を教えてください

	N	%
1 人	115	20.5%
2 人	176	31.4%
3 人	111	19.8%
4 人	113	20.1%
5 人以上	46	8.2%
合計	561	100.0%

ターゲット小分類

	N	%
高校生	4	0.7%
高齢者	126	22.5%
単身高齢者	35	6.2%
その他	277	49.4%
大学生（実家）	2	0.4%
大学生（独立）	2	0.4%
新社会人（実家）	10	1.8%
新社会人（独立）	23	4.1%
子育て世帯	41	7.3%
ひとり親	5	0.9%
氷河期世代（ひとり親）	10	1.8%
氷河期世代	26	4.6%
合計	561	100.0%

③設問に対する回答結果

ターゲット小分類を7つに集約し、それぞれの対象に対して設問を設定している。
対象1：高校生　4名
対象2：大学生・新社会人（実家）　12名
対象3：大学生・新社会人（独立）　25名
対象4：ひとり親　※ひとり親属性の氷河期世代含む　15名
対象5：高齢者　161名
対象6：氷河期世代　26名
対象7：その他および子育て世帯　318名
対象1－7それぞれについて回答結果を集計した。
なお、テスト回答も含むため、たとえば「18 歳未満の大学生・新社会人」や「新社会人で離別経験がある」といった、通常では想定しづらい回答を入力したケースも一部存在しており、このようなデータも含んだ集計となっている点について留意する必要がある。

1）対象1：高校生　4名

あなたの年齢を教えてください

	N	%
18 歳未満	2	50.0%
18～29 歳	2	50.0%
合計	4	100.0%

ご職業を教えてください

	N	%
高校生	4	100.0%

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	4	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃいますか？

	N	%
いない	4	100.0%

世帯人数を教えてください

	N	%
2 人	1	25.0%
4 人	1	25.0%
5 人以上	2	50.0%
合計	4	100.0%

毎月のおこづかいはいくらもらっていますか

	N	%
5000 円以下	1	25.0%
その他	3	75.0%
合計	4	100.0%

自分の貯金はありますか

	N	%
お年玉などを貯めている	1	25.0%
ない	3	75.0%
合計	4	100.0%

高校卒業後働くならどんな理由ですか

	N	%
やりたい事があるから	3	75.0%
進学する	1	25.0%
合計	4	100.0%

進学する場合、学費はどうしますか

	N	%
保護者が出す	3	75.0%
貯めたお金と奨学金の利用	1	25.0%
合計	4	100.0%

アルバイト代は何に使っていますか

	N	%
自分で自由に使っている	3	75.0%
アルバイトはしていない	1	25.0%
合計	4	100.0%

友達とのお金の貸し借りをしますか

	N	%
借りることがある	1	25.0%
どちらもある	1	25.0%
どちらもない	2	50.0%
合計	4	100.0%

友達に遊びに誘われた時、お金が足りなかったらどうしますか

	N	%
保護者に出してもらう	1	25.0%
遊びに行かない	3	75.0%
合計	4	100.0%

友達にちょっとしたものをおごってあげることがありますか

	N	%
よくある	1	25.0%
時々ある	2	50.0%
あまりない	1	25.0%
合計	4	100.0%

クレジットカードでの買い物は借金と同じだと思いますか

	N	%
思う	2	50.0%
思わない	1	25.0%
わからない	1	25.0%
合計	4	100.0%

オンラインゲームや投げ銭などにお金を使っていますか

	N	%
決めた額まで使っている	2	50.0%
やらない	2	50.0%
合計	4	100.0%

SNS で高額なアルバイトや儲かる話をチェックしていますか

	N	%
よくしている	1	25.0%
見たことがある	1	25.0%
しない	2	50.0%
合計	4	100.0%

自分のスマートフォンの利用料金を知っていますか

	N	%
知っている	3	75.0%
ときどき気にする	1	25.0%
合計	4	100.0%

買物をするときに何を基準に選びますか

	N	%
値段	1	25.0%
欲しいかどうか	2	50.0%
必要かどうか	1	25.0%
合計	4	100.0%

1 人暮しをした時の生活費をイメージできますか

	N	%
必要な金額は知っている	2	50.0%
なんとなく	1	25.0%
わからない	1	25.0%
合計	4	100.0%

急にお金が必要になった時どうしていますか

	N	%
自分の貯金から支払う	1	25.0%

保護者に出してもらう	2	50.0%
日払いのアルバイトをする	1	25.0%
合計	4	100.0%

趣味や好きな事に使うお金はどうしていますか

	N	%
おこづかいの範囲で使う	2	50.0%
お金を貯めてから使う	2	50.0%
合計	4	100.0%

日常の買い物の主な支払方法は

	N	%
現金	2	50.0%
チャージする電子マネー	1	25.0%
その他	1	25.0%
合計	4	100.0%

将来についていつごろまでの事を考えていますか

	N	%
高校卒業後	2	50.0%
２２歳頃（大学卒業後）まで	1	25.0%
３０歳頃まで	1	25.0%
合計	4	100.0%

進路を決める時一番重要なのは

	N	%
学びたいかどうか	2	50.0%
稼げるかどうか	1	25.0%
好きな事かどうか	1	25.0%
合計	4	100.0%

税金や社会保険（年金・健康保険など）の制度を知っていますか

	N	%
知っている	3	75.0%
なんとなく知っている	1	25.0%
合計	4	100.0%

成人（18歳）になりiDeCoやNISAをすすめられたらどうしますか

	N	%
すぐに始める	1	25.0%
投資について勉強してから考える	1	25.0%
保護者や信頼のおける人に相談する	1	25.0%
興味がない	1	25.0%
合計	4	100.0%

自分が働いて収入を得るようになったら貯金はしますか

	N	%
金額を決めてする	3	75.0%
あまったらする	1	25.0%
合計	4	100.0%

生命保険など民間の保険に対してどう思っていますか

	N	%
必要な分だけでいい	3	75.0%
わからない	1	25.0%
合計	4	100.0%

困った時に頼れる人は誰ですか

	N	%
家族	2	50.0%
友人や知人	2	50.0%
合計	4	100.0%

人と知り合うのに学校以外で一番多いのは

	N	%
SNS などネット上	2	50.0%
塾や習い事	2	50.0%
合計	4	100.0%

学校や家以外の居場所はありますか

	N	%
ある	3	75.0%
わからない	1	25.0%
合計	4	100.0%

マッチングアプリなど人と出会うアプリを使っていますか

	N	%
使わない	4	100.0%

ボランティア活動や地域の行事などに参加していますか

	N	%
している	1	25.0%
時々している	1	25.0%
あまりしていない	2	50.0%
合計	4	100.0%

クレジットカードの買物で返す額が一番高額になるのはどれか知っていますか

	N	%

分割払い	1	25.0%
リボルビング払い	3	75.0%
合計	4	100.0%

税金や社会保険（年金・健康保険など）の保険料を払うのはもったいないと思いますか

	N	%
ちょっと思う	1	25.0%
思わない	2	50.0%
わからない	1	25.0%
合計	4	100.0%

成人（18 歳）になったらなんでも契約できると思いますか

	N	%
できる	1	25.0%
契約内容によってできるものとできないものがある	3	75.0%
合計	4	100.0%

ネットで有料サイトにアクセスし、未登録なのに料金請求をされたらどうしますか

	N	%
無視する	2	50.0%
消費生活センターなどの窓口に相談する	1	25.0%
保護者や信頼のおける大人に相談する	1	25.0%
合計	4	100.0%

クーリング・オフという制度を知っていますか

	N	%
知っている	2	50.0%
なんとなく知ってる	1	25.0%
聞いたことはある	1	25.0%
合計	4	100.0%

家族の事やお金・生活で困ったことがある時に相談できる窓口を知ってますか

	N	%
知っている	2	50.0%
聞いたことはある	2	50.0%
合計	4	100.0%

2）対象2:大学生･新社会人(実家) 12名

ターゲット小分類

	N	%
大学生（実家）	2	16.7%
新社会人（実家）	10	83.3%

合計	12	100.0%

あなたの年齢を教えてください

	N	%
18～29 歳	12	100.0%

ご職業を教えてください

	N	%
大学生	2	16.7%
会社員	9	75.0%
パート・アルバイト	1	8.3%
合計	12	100.0%

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	12	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃいますか？

	N	%
いない	12	100.0%

世帯人数を教えてください

	N	%
2 人	3	25.0%
3 人	1	8.3%
4 人	7	58.3%
5 人以上	1	8.3%
合計	12	100.0%

あなたの預貯金はありますか

	N	%
ある	2	16.7%
少しある	5	41.7%
ない	5	41.7%
合計	12	100.0%

お金を借りていますか

	N	%
借りている（1 箇所）	3	25.0%
借りていない	9	75.0%
合計	12	100.0%

奨学金の返済を負担に感じますか

	N	%

感じる	4	33.3%
まあまあ感じる	1	8.3%
借りていない	7	58.3%
合計	12	100.0%

収入（仕送り含む）は安定していますか

	N	%
安定している	6	50.0%
まあまあ安定している	4	33.3%
あまり安定していない	1	8.3%
安定していない	1	8.3%
合計	12	100.0%

滞納がありますか

	N	%
ない	12	100.0%

衝動買いしてしまうことがありますか

	N	%
ある	5	41.7%
まあまあある	3	25.0%
あまりない	4	33.3%
合計	12	100.0%

インターネットの買い物はつい買いすぎてしまうと思いますか

	N	%
思う	2	16.7%
まあまあ思う	4	33.3%
あまり思わない	6	50.0%
合計	12	100.0%

オンラインゲームや投げ銭などにお金を使っていますか

	N	%
決めた額まで使っている	2	16.7%
お金を使わないでやっている	1	8.3%
やらない	9	75.0%
合計	12	100.0%

パチンコなど賭け事はしますか

	N	%
時々する	1	8.3%
しない	2	16.7%
興味がない	9	75.0%
合計	12	100.0%

人によくおごってしまうほうですか

	N	%
はい	1	8.3%
たまにある	3	25.0%
あまりない	5	41.7%
ない	3	25.0%
合計	12	100.0%

親しい人から高額なアルバイトや仕事を勧められたら、どうしますか

	N	%
相手の話をよく聞いてから判断する	1	8.3%
家族や信頼のおける人に相談する	3	25.0%
断る	8	66.7%
合計	12	100.0%

毎月の収支状況を把握していますか

	N	%
把握している	3	25.0%
だいたい把握している	6	50.0%
あまり把握していない	3	25.0%
合計	12	100.0%

クレジットカードを使う時の支払い方法はどれですか

	N	%
一括払い	11	91.7%
分割払い	1	8.3%
合計	12	100.0%

自炊はしますか

	N	%
する	9	75.0%
ややする	3	25.0%
合計	12	100.0%

キャッシュレス決済の利用明細を把握していますか

	N	%
把握している	8	66.7%
あまり把握していない	2	16.7%
見ていない	1	8.3%
利用していない	1	8.3%
合計	12	100.0%

家賃支払いの負担が大きいですか

	N	%

かなり大きい	1	8.3%
やや負担	1	8.3%
負担ではない	10	83.3%
合計	12	100.0%

貯蓄がなくても投資はした方がよいと思いますか

	N	%
思う	1	8.3%
やや思う	2	16.7%
あまり思わない	4	33.3%
思わない	5	41.7%
合計	12	100.0%

日常の買い物の主な支払い方法は

	N	%
現金	4	33.3%
チャージする電子マネー	2	16.7%
後払いの電子マネー	2	16.7%
クレジットカード	4	33.3%
合計	12	100.0%

将来に向けて貯蓄をしていますか

	N	%
計画的にしている	2	16.7%
時々している	5	41.7%
していない	3	25.0%
したくてもできない	2	16.7%
合計	12	100.0%

資格取得やスキルアップをしていますか

	N	%
している	4	33.3%
したいけどできない	4	33.3%
していない	4	33.3%
合計	12	100.0%

食事は栄養バランスを考えていますか

	N	%
たまに考える	8	66.7%
あまり気にしていない	4	33.3%
合計	12	100.0%

年金保険料を納めても無駄だと思いますか

	N	%
思う	3	25.0%

やや思う	6	50.0%
あまり思わない	2	16.7%
思わない	1	8.3%
合計	12	100.0%

将来の夢や希望、目標を持っていますか

	N	%
持っている	3	25.0%
なんとなくある	6	50.0%
ない	2	16.7%
わからない	1	8.3%
合計	12	100.0%

株や投資信託、預貯金の方法、保険などお金の事を知っていますか

	N	%
知っている	1	8.3%
なんとなく知っている	3	25.0%
よくわからない	8	66.7%
合計	12	100.0%

困った時にまず頼るのは誰ですか

	N	%
家族や親族	11	91.7%
友人や知人	1	8.3%
合計	12	100.0%

あなたの収入が家族を支えていますか

	N	%
少し	4	33.3%
支えていない	8	66.7%
合計	12	100.0%

お金の事について誰に相談しますか

	N	%
家族・友人・知人	8	66.7%
誰にも相談しない	4	33.3%
合計	12	100.0%

家族や友人にお金を貸してほしいと頼まれたらどうしますか

	N	%
たまに貸す	1	8.3%
頼まれても貸さない	5	41.7%
頼まれたことがない	6	50.0%
合計	12	100.0%

家族以外に日常的に話す相手はいますか

	N	%
いない	1	8.3%
会って話す相手がいる	11	91.7%
合計	12	100.0%

NISA、iDeCo について知っていますか。

	N	%
両方知っている	3	25.0%
両方なんとなく知っている	6	50.0%
片方だけ知っている	1	8.3%
どちらも知らない	2	16.7%
合計	12	100.0%

クレジットカードの買い物で返す額が一番高額になるのはどれか知っていますか

	N	%
リボルビング払い	12	100.0%

クーリング・オフ制度を知っていますか

	N	%
知っている	8	66.7%
なんとなく知っている	3	25.0%
名称だけ聞いたことがある	1	8.3%
合計	12	100.0%

傷病手当金を知っていますか

	N	%
知っている	7	58.3%
なんとなく知っている	4	33.3%
知らない	1	8.3%
合計	12	100.0%

暮らしに困った時に相談できる窓口を知ってますか

	N	%
知っている	10	83.3%
聞いたことはある	1	8.3%
知らない	1	8.3%
合計	12	100.0%

詐欺被害についてどう思いますか

	N	%
詐欺にあわないと思う	2	16.7%
考えたことがない	1	8.3%
被害にあわないよう気を付けている	8	66.7%

詐欺にあう可能性があると思う	1	8.3%
合計	12	100.0%

3）対象3:大学生･新社会人(独立） 25名

あなたの年齢を教えてください

	N	%
18 歳未満	2	8.0%
18～29 歳	23	92.0%
合計	25	100.0%

ご職業を教えてください

	N	%
大学生	2	8.0%
会社員	19	76.0%
自営業	2	8.0%
パート・アルバイト	2	8.0%
合計	25	100.0%

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	23	92.0%
離別	2	8.0%
合計	25	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃいますか？

	N	%
いない	23	92.0%
3 人以上	2	8.0%
合計	25	100.0%

世帯人数を教えてください

	N	%
1 人	25	100.0%

あなたの預貯金はありますか

	N	%
ある	7	28.0%
少しある	13	52.0%
ない	4	16.0%
貯金はしない	1	4.0%
合計	25	100.0%

あなたは親族以外からお金を借りていますか

	N	%

借りている（3 箇所以上）	3	12.0%
借りている（1 箇所）	4	16.0%
借りていない	18	72.0%
合計	25	100.0%

奨学金を予定通り返済できそうですか

	N	%
できそう	4	16.0%
まあまあできそう	1	4.0%
借りていない	20	80.0%
合計	25	100.0%

あなたの収入は安定していますか

	N	%
安定している	12	48.0%
まあまあ安定している	6	24.0%
安定していない	2	8.0%
仕事をしていない	5	20.0%
合計	25	100.0%

あなたの払うお金で滞納がありますか

	N	%
ある（2 箇所以上）	1	4.0%
ある（1 箇所）	2	8.0%
ない	22	88.0%
合計	25	100.0%

衝動買いしてしまうことがありますか

	N	%
ある	6	24.0%
まあまあある	9	36.0%
あまりない	8	32.0%
ない	2	8.0%
合計	25	100.0%

インターネットで買い物をする時はつい買いすぎてしまうと思いますか

	N	%
思う	4	16.0%
まあまあ思う	12	48.0%
あまり思わない	5	20.0%
思わない	4	16.0%
合計	25	100.0%

オンラインゲームや投げ銭などにお金を使っていますか

	N	%

好きなだけ使っている	4	16.0%
決めた額まで使っている	5	20.0%
お金を使わないでやっている	4	16.0%
やらない	12	48.0%
合計	25	100.0%

パチンコなど賭け事はしますか

	N	%
よくする	1	4.0%
時々する	3	12.0%
しない	9	36.0%
興味がない	12	48.0%
合計	25	100.0%

人によくおごってしまうほうですか

	N	%
はい	1	4.0%
たまにある	11	44.0%
あまりない	8	32.0%
ない	5	20.0%
合計	25	100.0%

親しい人から高額なアルバイトや仕事を勧められたら、どうしますか

	N	%
高収入が得られるので即、OKする	2	8.0%
相手の話をよく聞いてから判断する	4	16.0%
親や信頼のおける人に相談する	9	36.0%
断る	10	40.0%
合計	25	100.0%

自分のお金を管理できていますか

	N	%
毎月できている把握している	6	24.0%
だいたいできている	13	52.0%
できずに困ることが多い	5	20.0%
自分でしていない	1	4.0%
合計	25	100.0%

クレジットカードを使う時の支払い方法はどれですか

	N	%
一括払い	16	64.0%
分割払い	2	8.0%
リボルビング払い	3	12.0%
クレジットカードを使わない	4	16.0%
合計	25	100.0%

食事はどうしていますか

	N	%
家族や自分で作る食事が多い	9	36.0%
総菜やお弁当などが多い	8	32.0%
外食がほとんど	6	24.0%
安売りのパンやインスタントが多い	2	8.0%
合計	25	100.0%

キャッシュレス決済の利用明細を把握していますか

	N	%
把握している	11	44.0%
あまり把握していない	9	36.0%
見ていない	2	8.0%
利用していない	3	12.0%
合計	25	100.0%

電気代を意識して節約していますか

	N	%
節約を心がけている	2	8.0%
時々節約している	11	44.0%
気にせず使っている	9	36.0%
節約したいができない	3	12.0%
合計	25	100.0%

貯蓄がなくても投資はした方がよいと思いますか

	N	%
思う	2	8.0%
やや思う	7	28.0%
あまり思わない	12	48.0%
思わない	4	16.0%
合計	25	100.0%

日常の買い物の主な支払い方法は

	N	%
現金	10	40.0%
チャージする電子マネー	8	32.0%
後払いの電子マネー	3	12.0%
クレジットカード	4	16.0%
合計	25	100.0%

将来に向けて貯蓄をしていますか

	N	%
計画的にしている	6	24.0%
時々している	11	44.0%

していない	2	8.0%
したくてもできない	6	24.0%
合計	25	100.0%

資格取得やスキルアップをしていますか

	N	%
している	10	40.0%
したいけどできない	4	16.0%
していない	9	36.0%
したいと思わない	2	8.0%
合計	25	100.0%

食事は栄養バランスを考えていますか

	N	%
いつも考えている	3	12.0%
たまに考える	10	40.0%
あまり気にしていない	11	44.0%
考えたことがない	1	4.0%
合計	25	100.0%

年金保険料を納めても無駄だと思いますか

	N	%
思う	4	16.0%
やや思う	11	44.0%
あまり思わない	5	20.0%
思わない	5	20.0%
合計	25	100.0%

将来の夢や希望、目標を持っていますか

	N	%
持っている	6	24.0%
なんとなくある	9	36.0%
ない	7	28.0%
わからない	3	12.0%
合計	25	100.0%

株や投資信託、預貯金の方法、保険などお金の事を知っていますか

	N	%
知っている	3	12.0%
なんとなく知っている	7	28.0%
よくわからない	15	60.0%
合計	25	100.0%

困った時にまず頼るのは誰ですか

	N	%

家族や親族	16	64.0%
友人や知人	6	24.0%
SNS でつながっている人	1	4.0%
いない	2	8.0%
合計	25	100.0%

あなたの収入が家族を支えていますか

	N	%
ほとんど	4	16.0%
少し	2	8.0%
支えていない	19	76.0%
合計	25	100.0%

お金の事について誰に相談しますか

	N	%
家族・友人・知人	17	68.0%
専門家や地域の窓口	3	12.0%
誰にも相談しない	5	20.0%
合計	25	100.0%

友人にお金を貸してほしいと頼まれたらどうしますか

	N	%
貸す	6	24.0%
たまに貸す	6	24.0%
頼まれても貸さない	3	12.0%
わからない	10	40.0%
合計	25	100.0%

家族以外に休みの日に話す相手はいますか

	N	%
いない	3	12.0%
大学や勤め先以外にいない	2	8.0%
時々電話で話す相手がいる	1	4.0%
会って話す相手がいる	19	76.0%
合計	25	100.0%

NISA、iDeCo について知っていますか。

	N	%
両方知っている	5	20.0%
両方なんとなく知っている	10	40.0%
片方だけ知っている	2	8.0%
どちらも知らない	8	32.0%
合計	25	100.0%

クレジットカードの買い物で返す額が一番高額になるのはどれか知っていますか

	N	%
一括払い	3	12.0%
分割支払い	1	4.0%
リボルビング払い	19	76.0%
どれも同じ	2	8.0%
合計	25	100.0%

クーリング・オフ制度を知っていますか

	N	%
知っている	14	56.0%
なんとなく知っている	7	28.0%
名称だけ聞いたことがある	4	16.0%
合計	25	100.0%

傷病手当金を知っていますか

	N	%
知っている	12	48.0%
なんとなく知っている	10	40.0%
名称だけ聞いたことがある	2	8.0%
知らない	1	4.0%
合計	25	100.0%

暮らしに困った時に相談できる窓口を知ってますか

	N	%
知っている	10	40.0%
聞いたことはある	11	44.0%
知っていても利用しない	1	4.0%
知らない	3	12.0%
合計	25	100.0%

詐欺被害についてどう思いますか

	N	%
詐欺にあわないと思う	1	4.0%
考えたことがない	2	8.0%
被害にあわないよう気を付けている	12	48.0%
詐欺にあう可能性があると思う	10	40.0%
合計	25	100.0%

4）対象4:ひとり親　※ひとり親属性の氷河期世代含む　15名

あなたの年齢を教えてください

	N	%
18～29 歳	1	6.7%
30 歳～39 歳	4	26.7%

40 歳～55 歳	10	66.7%
合計	15	100.0%

ご職業を教えてください

	N	%
会社員	3	20.0%
自営業	2	13.3%
パート・アルバイト	10	66.7%
合計	15	100.0%

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	4	26.7%
離別	9	60.0%
死別	2	13.3%
合計	15	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃいますか？

	N	%
1 人	8	53.3%
2 人	2	13.3%
3 人以上	5	33.3%
合計	15	100.0%

世帯人数を教えてください

	N	%
1 人	2	13.3%
2 人	6	40.0%
3 人	2	13.3%
4 人	4	26.7%
5 人以上	1	6.7%
合計	15	100.0%

毎月の収入で生活できていますか

	N	%
できている	5	33.3%
時々できていない	6	40.0%
できていない月の方が多い	1	6.7%
毎月できていない	3	20.0%
合計	15	100.0%

生活のための主な収入は何ですか

	N	%
公的支援のみ（生活保護、児童手当、児童扶養手当他）	1	6.7%
自分の収入＋児童手当、児童扶養手当	11	73.3%

自分の収入のみ	3	20.0%
合計	15	100.0%

元配偶者からの養育費などを受取っていますか

	N	%
毎月受け取っている	6	40.0%
以前受け取っていたが、今はない	1	6.7%
養育費はない	8	53.3%
合計	15	100.0%

預貯金等はありますか

	N	%
ある	6	40.0%
少しある	5	33.3%
ない	3	20.0%
預金はなく借金がある	1	6.7%
合計	15	100.0%

どんな働き方をしていますか。

	N	%
住民税非課税になるようにしている	4	26.7%
児童扶養手当がもらえるように調整している	3	20.0%
働けるだけ働くようにしている	8	53.3%
合計	15	100.0%

子どもの進学・進級で必要なお金はどうしていますか

	N	%
公的資金も含め自分で準備している	11	73.3%
親兄弟や支援団体に援助してもらう	2	13.3%
友人、親族等に借りている	1	6.7%
キャッシングして払っている	1	6.7%
合計	15	100.0%

欲しいものがあるとすぐ買っていますか

	N	%
買っている	3	20.0%
時々買っている	7	46.7%
あまり買わない	4	26.7%
買わない	1	6.7%
合計	15	100.0%

生活費が足りない時クレジットで買い物をすればいいと思いますか

	N	%
思う	4	26.7%
やや思う	4	26.7%

あまり思わない	3	20.0%
思わない	4	26.7%
合計	15	100.0%

購入予定でないものを買って後悔することがありますか

	N	%
よくある	3	20.0%
まあまあある	5	33.3%
あまりない	4	26.7%
全くない	3	20.0%
合計	15	100.0%

パチンコなど賭け事はしますか

	N	%
よくする	2	13.3%
しない	3	20.0%
興味がない	10	66.7%
合計	15	100.0%

オンラインゲームや投げ銭などにお金を使っていますか

	N	%
好きなだけ使っている	1	6.7%
決めた額まで使っている	1	6.7%
お金を使わないでやっている	2	13.3%
やらない	11	73.3%
合計	15	100.0%

高収入で危なそうな仕事があったらどうしますか

	N	%
高収入ならする	1	6.7%
自分で調べて決める	2	13.3%
周囲に相談して決める	4	26.7%
高収入でもしない	8	53.3%
合計	15	100.0%

毎月の支出を把握していますか

	N	%
把握している	3	20.0%
だいたい把握している	10	66.7%
気にしていない	2	13.3%
合計	15	100.0%

収入（給与・手当）が入る前は食事が変わりますか

	N	%
いつもと変わらない	12	80.0%

おかずが減る	1	6.7%
自分のご飯を減らす	1	6.7%
自分は食べない	1	6.7%
合計	15	100.0%

臨時の出費があった場合どうしますか

	N	%
貯蓄から支出	9	60.0%
親・友人から借りる	1	6.7%
やりくりをしてまかなう	3	20.0%
キャッシングで借りる	2	13.3%
合計	15	100.0%

家計が厳しくなった時に、まず何を減らしますか

	N	%
食費・日用品費	4	26.7%
趣味・おしゃれなど	11	73.3%
合計	15	100.0%

支払を滞納したことはありますか

	N	%
毎月ある	2	13.3%
時々ある	1	6.7%
年に１～２回ある	2	13.3%
ない	10	66.7%
合計	15	100.0%

食料品や日用品の主な支払方法は

	N	%
現金	8	53.3%
チャージする電子マネー	4	26.7%
後払いの電子マネー	1	6.7%
クレジットカード	2	13.3%
合計	15	100.0%

子どもと将来のこと（進学や就職）を話していますか

	N	%
いつも話している	1	6.7%
時々話す	10	66.7%
将来の希望を話したがらない	2	13.3%
将来について話したことがない	2	13.3%
合計	15	100.0%

子どもの進学の準備はできていますか

	N	%

特にしていない	4	26.7%
十分している	2	13.3%
ある程度している	6	40.0%
よくわからない	3	20.0%
合計	15	100.0%

自分が病気やケガをした時どうしますか

	N	%
預貯金や医療保険で支払う	11	73.3%
考えたことがない	4	26.7%
合計	15	100.0%

万が一の事があった時のための準備をしていますか

	N	%
生命保険に入っている	8	53.3%
貯蓄がある	1	6.7%
生命保険も貯蓄もない	4	26.7%
生命保険と貯蓄がある	2	13.3%
合計	15	100.0%

加入している年金はどれですか

	N	%
厚生年金（正社員・パート）	13	86.7%
国民年金で減額・免除	2	13.3%
合計	15	100.0%

将来の生活資金について、いつ頃までを考えていますか

	N	%
1年後	5	33.3%
5年後	2	13.3%
10年後以上	5	33.3%
考えていない	3	20.0%
合計	15	100.0%

困った時にまず頼るのは誰（どこ）ですか

	N	%
家族や親族	12	80.0%
自治体の相談窓口や支援団体	2	13.3%
いない（ない）	1	6.7%
合計	15	100.0%

地域・コミュニティとのかかわりはどうですか

	N	%
近所付き合いは良いほうだ	2	13.3%
ひとり親支援団体に参加している	3	20.0%

あいさつ程度	7	46.7%
地域との関わりはない	3	20.0%
合計	15	100.0%

ひとり親のグループやフードバンク・子ども食堂などに行ったことはありますか

	N	%
いつも利用している	4	26.7%
時々利用している	4	26.7%
あまり利用していない	6	40.0%
知らない	1	6.7%
合計	15	100.0%

精神的につらい時どうしていますか

	N	%
SNS に書き込みをする	3	20.0%
家族や友人に話す	9	60.0%
誰にも話さない	3	20.0%
合計	15	100.0%

親族とのつきあいはどうしていますか

	N	%
選んでつきあっている	3	20.0%
適度につきあっている	12	80.0%
合計	15	100.0%

お金の困りごとを相談できる公的な窓口があるのを知っていますか

	N	%
知っている	11	73.3%
聞いたことはある	3	20.0%
知っているが、利用しない	1	6.7%
合計	15	100.0%

住んでいる自治体のひとり親支援情報などを知っていますか

	N	%
SNS などで情報を集めている	3	20.0%
周りから聞いた範囲	6	40.0%
支援団体から常に情報をもらっている	6	40.0%
合計	15	100.0%

役所からの郵便物はどうしていますか

	N	%
必ず見て必要な対応をしている	13	86.7%
内容がわからないお知らせは、そのままにしている	1	6.7%
よくわからないお知らせは役所の窓口に聞く	1	6.7%

合計	15	100.0%

生活福祉資金の貸付制度を知っていますか

	N	%
知っている	9	60.0%
聞いたことはあるがよくわからない	4	26.7%
利用しない	1	6.7%
知らない	1	6.7%
合計	15	100.0%

詐欺被害についてどう思いますか

	N	%
詐欺にあわないと思う	2	13.3%
考えたことがない	1	6.7%
被害にあわないよう気を付けている	9	60.0%
詐欺にあう可能性があると思う	3	20.0%
合計	15	100.0%

SNS で発信されている情報を信じますか

	N	%
信じる	2	13.3%
自分で調べてから判断する	8	53.3%
誰かに聞いてから判断する	3	20.0%
信じない	2	13.3%
合計	15	100.0%

5）対象5:高齢者　161名

あなたの年齢を教えてください

	N	%
56 歳～64 歳	121	75.2%
65 歳以上	40	24.8%
合計	161	100.0%

ご職業を教えてください

	N	%
会社員	109	67.7%
自営業	7	4.3%
パート・アルバイト	30	18.6%
無職	15	9.3%
合計	161	100.0%

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	19	11.8%

既婚	101	62.7%
離別	32	19.9%
死別	9	5.6%
合計	161	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃいますか？

	N	%
いない	127	78.9%
1 人	21	13.0%
2 人	9	5.6%
3 人以上	4	2.5%
合計	161	100.0%

世帯人数を教えてください

	N	%
1 人	35	21.7%
2 人	78	48.4%
3 人	31	19.3%
4 人	10	6.2%
5 人以上	7	4.3%
合計	161	100.0%

生活費以外で自由に使えるお金はありますか

	N	%
ない	8	5.0%
あまりない	41	25.5%
十分ある	40	24.8%
まあまあある	72	44.7%
合計	161	100.0%

預貯金等はありますか

	N	%
十分ある	24	14.9%
ある	107	66.5%
ほとんどない	24	14.9%
借金しかない	6	3.7%
合計	161	100.0%

滞納しているものがありますか

	N	%
かなり滞納がある	5	3.1%
時々滞納することがある	12	7.5%
ない	143	88.8%
わからない	1	0.6%
合計	161	100.0%

生活に必要なお金は足りていますか

	N	%
足りなくて借金している	7	4.3%
ときどき足りなくなる	24	14.9%
なんとか足りている	73	45.3%
十分足りている	57	35.4%
合計	161	100.0%

あなた個人の収入はありますか

	N	%
仕事の収入のみ	97	60.2%
年金のみ	9	5.6%
年金と仕事の収入	50	31.1%
年金とその他の収入	5	3.1%
合計	161	100.0%

友人や親族とのお金の貸し借りをしますか

	N	%
貸し借りはしない	136	84.5%
たまに貸してもらう	10	6.2%
頼まれたら貸す	14	8.7%
貸し借りはよくする	1	0.6%
合計	161	100.0%

テレビショッピングで買い物をしますか

	N	%
よく買い物をする	2	1.2%
たまに何となく買うことがある	11	6.8%
必要かどうか考えて買う	37	23.0%
買わない	111	68.9%
合計	161	100.0%

買い物で後悔したことがありますか

	N	%
よくある	8	5.0%
時々ある	84	52.2%
あまりない	63	39.1%
全くない	6	3.7%
合計	161	100.0%

パチンコなどギャンブルはしますか

	N	%
ギャンブルはしない	145	90.1%
決まった金額の範囲でしている	2	1.2%

何度かしたことがある	9	5.6%
かなりしている	5	3.1%
合計	161	100.0%

オンラインゲームや投げ銭などにお金を使っていますか

	N	%
決めた額まで使っている	7	4.3%
お金を使わないでやっている	18	11.2%
やらない	136	84.5%
合計	161	100.0%

スマホのプランはどうしてますか

	N	%
プランの内容を知らない	15	9.3%
最適なプランを選んでいる	139	86.3%
プランは高いが変更したくない	6	3.7%
スマホは持っていない	1	0.6%
合計	161	100.0%

収入を把握していますか

	N	%
把握している	143	88.8%
気にしていない	2	1.2%
まあまあしている	16	9.9%
合計	161	100.0%

家計が厳しい時、一番減らしたくない支出はどれですか

	N	%
食費・日用品費	79	49.1%
趣味やつきあい	25	15.5%
医療・介護費	46	28.6%
子や孫への支援	11	6.8%
合計	161	100.0%

口座引き落としの額を把握していますか

	N	%
残高不足になることがある	9	5.6%
気にしていない	24	14.9%
光熱費や電話代は気にしている	18	11.2%
明細を確認している	110	68.3%
合計	161	100.0%

キャッシュレス決済を利用していますか

	N	%
何種類も利用している	63	39.1%

一つだけ利用している	77	47.8%
よくわからない	6	3.7%
現金払いのみ	15	9.3%
合計	161	100.0%

臨時の出費があった場合、どうしますか

	N	%
貯蓄から支出する	125	77.6%
キャッシングや親族・友人から借りる	5	3.1%
やりくりしてまかなう	26	16.1%
考えたことがない	5	3.1%
合計	161	100.0%

食料品や日用品の主な支払い方法は

	N	%
現金	71	44.1%
チャージする電子マネー	30	18.6%
後払いの電子マネー	19	11.8%
クレジットカード	41	25.5%
合計	161	100.0%

病気やケガの時の費用はどうしますか

	N	%
医療保険や貯蓄でまかなう	148	91.9%
借金でまかなう	3	1.9%
親族に払ってもらう	2	1.2%
考えたことがない	8	5.0%
合計	161	100.0%

趣味に使うお金について

	N	%
趣味はない	16	9.9%
収入の範囲で楽しんでいる	126	78.3%
趣味にはお金を惜しまず使っている	12	7.5%
やりたいことがあるが足りない	7	4.3%
合計	161	100.0%

自分でかけている保険について把握していますか

	N	%
まあまあわかっている	71	44.1%
きちんとわかっている	71	44.1%
わかっていない	3	1.9%
入っていない	16	9.9%
合計	161	100.0%

将来の生活資金について、いつ頃までを考えていますか

	N	%
1年後	13	8.1%
3年後	13	8.1%
5年後以上	119	73.9%
考えていない	16	9.9%
合計	161	100.0%

終活をしていますか

	N	%
はじめている	33	20.5%
調べている	89	55.3%
するつもりはない	10	6.2%
わからない	29	18.0%
合計	161	100.0%

お金のことで困ったときは誰（どこ）に相談しますか

	N	%
親族や友人・知人	98	60.9%
いない・しない	34	21.1%
自治体の相談窓口など	19	11.8%
わからない	10	6.2%
合計	161	100.0%

近所づきあいはどうしていますか

	N	%
近所づきあいが良い	29	18.0%
時々地域の活動に参加する	68	42.2%
近所づきあいは面倒	29	18.0%
全くつきあいがない	35	21.7%
合計	161	100.0%

親族とのつきあいはどうしていますか

	N	%
選んでつきあっている	18	11.2%
適度につきあっている	125	77.6%
つきあっていない	15	9.3%
親族はいない	3	1.9%
合計	161	100.0%

家族以外で日常的につながっている人はいますか

	N	%
いない	12	7.5%
必要ない	6	3.7%
LINE等でつながっている	27	16.8%

会って話せる人がいる	116	72.0%
合計	161	100.0%

自分の身に何かあったときはどうしますか

	N	%
緊急時の対応ができる人が近くにいる	138	85.7%
どうすればよいかわからない	15	9.3%
どうでもいいと思う	8	5.0%
合計	161	100.0%

貸したお金が返ってこないことがありますか

	N	%
よくある	6	3.7%
時々ある	19	11.8%
ない	76	47.2%
お金は貸さない	60	37.3%
合計	161	100.0%

役所からの郵便物はどうしていますか

	N	%
必ず見て、必要な対応をしている	150	93.2%
内容がわからないので、窓口に行くようにしている	5	3.1%
封を開けないことが多い	6	3.7%
合計	161	100.0%

遺族年金が利用できるか知っていますか

	N	%
知っている	102	63.4%
知らない	19	11.8%
聞いたことがある	14	8.7%
あてはまらない	26	16.1%
合計	161	100.0%

健康保険の保険料が払えなくなった場合はどうしますか

	N	%
払えるまで未納のままにしておく	8	5.0%
役所に相談に行く	140	87.0%
督促がくるまで何もしない	9	5.6%
お金を借りて払う	4	2.5%
合計	161	100.0%

地域包括支援センターを知っていますか

	N	%
知っていて利用したことがある	56	34.8%
どこにあるか知らない	2	1.2%

知っているが行ったことはない	99	61.5%
知らない	4	2.5%
合計	161	100.0%

消費者ホットライン１８８を知っていますか

	N	%
知らない	58	36.0%
聞いたことはある	65	40.4%
利用したことがある	4	2.5%
知っている	34	21.1%
合計	161	100.0%

すごく儲かる話が来たらどうしますか

	N	%
詳しく話を聞いてみる	13	8.1%
友人・知人なら話に乗る	6	3.7%
友人・知人でも話に乗らない	31	19.3%
最初から話を聞かない	111	68.9%
合計	161	100.0%

6）対象6:氷河期世代　26名

あなたの年齢を教えてください

	N	%
40 歳～55 歳	26	100.0%

ご職業を教えてください

	N	%
自営業	5	19.2%
パート・アルバイト	13	50.0%
無職	8	30.8%
合計	26	100.0%

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	12	46.2%
既婚	8	30.8%
離別	6	23.1%
合計	26	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃいますか？

	N	%
いない	26	100.0%

世帯人数を教えてください

	N	%
1人	11	42.3%
2人	9	34.6%
3人	4	15.4%
4人	2	7.7%
合計	26	100.0%

預貯金等はありますか

	N	%
十分ある	7	26.9%
少しはある	7	26.9%
ほとんどない	9	34.6%
借金しかない	3	11.5%
合計	26	100.0%

滞納や借金はありますか

	N	%
借金はないが滞納がある	2	7.7%
滞納はないが借金はある	5	19.2%
両方ともある	3	11.5%
両方ともない	16	61.5%
合計	26	100.0%

急病や緊急時の支払いに困りますか

	N	%
困らない	7	26.9%
何とかなりそう	7	26.9%
とても困りそう	10	38.5%
わからない	2	7.7%
合計	26	100.0%

家賃や持ち家の費用の支払いについて

	N	%
困ったことはない	11	42.3%
何とかしている	10	38.5%
時々困る	5	19.2%
合計	26	100.0%

借金はどこ（誰）にしますか

	N	%
銀行や消費者金融など	9	34.6%
貸してくれるならどこでも	3	11.5%
親族や友人・知人	2	7.7%
借金はしない	12	46.2%

合計	26	100.0%

児童手当について

	N	%
子どものために使っている	2	7.7%
対象の子どもがいない	24	92.3%
合計	26	100.0%

お金の貸し借りをしますか

	N	%
しない	20	76.9%
たまに借りる	4	15.4%
頼まれたら貸す	2	7.7%
合計	26	100.0%

欲しいものが高額な時どうしますか

	N	%
分割で買う	6	23.1%
あきらめる	10	38.5%
借金して買う	3	11.5%
お金を貯めて買う	7	26.9%
合計	26	100.0%

ギャンブルにどのくらい使いますか

	N	%
ギャンブルはしない	22	84.6%
月１万円以下	3	11.5%
3 万円以上、決めていない	1	3.8%
合計	26	100.0%

どんな時に買い物に行きますか

	N	%
必要なものがある時	16	61.5%
ほとんど毎日	5	19.2%
お店を見かけると寄ってしまう	1	3.8%
安売りやポイントデーの時に行く	4	15.4%
合計	26	100.0%

クレジットカードはどんな時に使いますか

	N	%
高額の買い物の時だけ	6	23.1%
買い物のほとんど	9	34.6%
お金が不足した時	4	15.4%
カードは使わない	7	26.9%

合計	26	100.0%

スマホのプランはどうしてますか

	N	%
プランの内容を知らない	7	26.9%
最適なプランを選んでいる	15	57.7%
プランは高いが変更したくない	3	11.5%
スマホは持っていない	1	3.8%
合計	26	100.0%

生活費が足りなくなったらどうしますか

	N	%
カードか借金を利用	5	19.2%
不足したことはない	5	19.2%
会社・家族・親族・友人などに相談	5	19.2%
やりくりして我慢する	11	42.3%
合計	26	100.0%

オンラインゲームや投げ銭などにお金を使っていますか

	N	%
好きなだけ使っている	1	3.8%
決めた額まで使っている	6	23.1%
お金を使わないでやっている	2	7.7%
やらない	17	65.4%
合計	26	100.0%

電気代を意識していますか

	N	%
節約を心がけている	7	26.9%
時々節約している	15	57.7%
気にせずに使っている	2	7.7%
節約したいができない	2	7.7%
合計	26	100.0%

毎月の支出は収入に対してどうですか

	N	%
収入のほうが多い	1	3.8%
支出のほうが多い	9	34.6%
月によって違う	12	46.2%
わからない	4	15.4%
合計	26	100.0%

食事はどうしていますか

	N	%
手作りが多い	11	42.3%

総菜やお弁当などが多い	8	30.8%
外食がほとんど	3	11.5%
安売りのパンやインスタント食品が多い	4	15.4%
合計	26	100.0%

家計が厳しくなった時に、まず何を減らしますか

	N	%
食費・日用品費	8	30.8%
通信費（スマホ代・サブスク代）	3	11.5%
趣味・おしゃれなど	15	57.7%
合計	26	100.0%

食料品や日用品の主な支払方法は

	N	%
現金	14	53.8%
チャージする電子マネー	6	23.1%
後払いの電子マネー	2	7.7%
クレジットカード	4	15.4%
合計	26	100.0%

万一の事があった時のための準備をしていますか

	N	%
生命保険に入っている	10	38.5%
貯蓄がある	2	7.7%
生命保険も貯蓄もない	7	26.9%
生命保険と貯蓄がある	7	26.9%
合計	26	100.0%

臨時の収入があった場合、どうしますか

	N	%
全額貯蓄	3	11.5%
半分貯蓄	14	53.8%
全額使う	3	11.5%
滞納や借金の返済	6	23.1%
合計	26	100.0%

社会保険の加入について

	N	%
国保に入っているが支払が滞りがち	1	3.8%
国保に加入し支払っている	5	19.2%
会社の社保に加入	17	65.4%
加入していない・わからない	3	11.5%
合計	26	100.0%

将来の生活資金について、いつ頃までを考えていますか

	N	%
1年後	4	15.4%
5年後	3	11.5%
10年後以上	9	34.6%
考えていない	10	38.5%
合計	26	100.0%

住宅ローンについて

	N	%
住宅ローンはない	22	84.6%
退職までに完済	3	11.5%
年金生活になっても返済が続く	1	3.8%
合計	26	100.0%

自分の老後の生活資金はどうしますか

	N	%
働かないと暮らせない	16	61.5%
貯蓄や年金収入などで暮らせる	5	19.2%
全く目処が立たない	5	19.2%
合計	26	100.0%

家族以外に休みの日に話す相手はいますか

	N	%
いない	14	53.8%
勤め先以外にいない	1	3.8%
時々電話で話す相手がいる	6	23.1%
会って話す相手がいる	5	19.2%
合計	26	100.0%

困った時にまず頼るのは誰（どこ）ですか

	N	%
家族や親族	14	53.8%
友人や知人	1	3.8%
自治体の相談窓口や支援団体	6	23.1%
いない（ない）	5	19.2%
合計	26	100.0%

住んでいる所の町内会に入っていますか

	N	%
加入し、つきあいもある	4	15.4%
加入していない	10	38.5%
加入しているが、つきあいがない	8	30.8%
町内会を知らない・ない	4	15.4%
合計	26	100.0%

親族や知人の冠婚葬祭はどうしていますか

	N	%
考えたことがない	3	11.5%
無理をしてでもつきあう	6	23.1%
選んでつきあっている	11	42.3%
つきあいがない	6	23.1%
合計	26	100.0%

健康維持のためにしていることはありますか

	N	%
必要ない	2	7.7%
したいけど、できない	10	38.5%
たまにしている	10	38.5%
いろいろしている	4	15.4%
合計	26	100.0%

役所からの郵便物はどうしていますか

	N	%
必ず見て必要な対応をしている	17	65.4%
内容がわからないお知らせは、そのままにしている	5	19.2%
よくわからないお知らせは役所の窓口に聞く	2	7.7%
封を開けないことが多い	2	7.7%
合計	26	100.0%

暮らしに困った時に相談できる窓口を知ってますか

	N	%
知っている	14	53.8%
聞いたことはある	7	26.9%
知っていても利用しない	1	3.8%
知らない	4	15.4%
合計	26	100.0%

ネットで知らないうち有料画面に誘導され、料金を請求されたらどうしますか

	N	%
無視する	17	65.4%
消費生活センターなどの窓口に相談する	8	30.8%
請求先に問い合わせる	1	3.8%
合計	26	100.0%

社会保険料や税金が払えなくなったらどうしますか

	N	%
わからない	7	26.9%
自治体の窓口に相談に行く	17	65.4%
督促がくるまで何もしない	2	7.7%

合計	26	100.0%

すごく儲かる話が来たらどうしますか

	N	%
詳しく話を聞いてみる	2	7.7%
友人・知人なら話に乗る	3	11.5%
友人・知人でも話に乗らない	6	23.1%
最初から話を聞かない	15	57.7%
合計	26	100.0%

クーリングオフ制度を知っていますか

	N	%
知っている	18	69.2%
何となく知っている	6	23.1%
聞いたことがある	1	3.8%
全く知らない	1	3.8%
合計	26	100.0%

7）対象7:その他および子育て世帯　318名

ターゲット小分類

	N	%
その他	277	87.1%
子育て世帯	41	12.9%
合計	318	100.0%

あなたの年齢を教えてください

	N	%
18 歳未満	1	0.3%
18～29 歳	24	7.5%
30 歳～39 歳	82	25.8%
40 歳～55 歳	211	66.4%
合計	318	100.0%

ご職業を教えてください

	N	%
会社員	264	83.0%
自営業	6	1.9%
パート・アルバイト	34	10.7%
無職	14	4.4%
合計	318	100.0%

ご結婚はされていますか？

	N	%
未婚	68	21.4%

既婚	220	69.2%
離別	30	9.4%
合計	318	100.0%

同居中の子ども（18 歳以下）はいらっしゃいますか？

	N	%
いない	145	45.6%
1 人	74	23.3%
2 人	75	23.6%
3 人以上	24	7.5%
合計	318	100.0%

世帯人数を教えてください

	N	%
1 人	42	13.2%
2 人	79	24.8%
3 人	73	23.0%
4 人	89	28.0%
5 人以上	35	11.0%
合計	318	100.0%

預貯金等はありますか

	N	%
十分ある	64	20.1%
少しはある	176	55.3%
ほとんどない	61	19.2%
借金しかない	17	5.3%
合計	318	100.0%

滞納や借金はありますか

	N	%
借金はないが滞納がある	6	1.9%
滞納はないが借金はある	118	37.1%
両方ともある	12	3.8%
両方ともない	182	57.2%
合計	318	100.0%

急病や緊急時の支払いに困りますか

	N	%
困らない	119	37.4%
何とかなりそう	154	48.4%
とても困りそう	38	11.9%
わからない	7	2.2%
合計	318	100.0%

家賃や持ち家の費用の支払いについて

	N	%
困ったことはない	211	66.4%
何とかしている	98	30.8%
数か月支払えていない	2	0.6%
時々困る	7	2.2%
合計	318	100.0%

借金はどこ（誰）にしますか

	N	%
銀行や消費者金融など	104	32.7%
貸してくれるならどこでも	7	2.2%
親族や友人・知人	36	11.3%
借金はしない	171	53.8%
合計	318	100.0%

児童手当について

	N	%
子どものために使っている	110	34.6%
生活費の不足分にたまに使う	21	6.6%
生活費にほとんど使っている	36	11.3%
対象の子どもがいない	151	47.5%
合計	318	100.0%

お金の貸し借りをしますか

	N	%
しない	284	89.3%
たまに借りる	19	6.0%
頼まれたら貸す	10	3.1%
貸し借りをよくする	5	1.6%
合計	318	100.0%

欲しいものが高額な時どうしますか

	N	%
分割で買う	70	22.0%
あきらめる	87	27.4%
借金して買う	11	3.5%
お金を貯めて買う	150	47.2%
合計	318	100.0%

ギャンブルにどのくらい使いますか

	N	%
ギャンブルはしない	284	89.3%
月１万円以下	17	5.3%

月 1 万円から 3 万円以内	7	2.2%
3 万円以上、決めていない	10	3.1%
合計	318	100.0%

どんな時に買い物に行きますか

	N	%
必要なものがある時	257	80.8%
ほとんど毎日	23	7.2%
お店を見かけると寄ってしまう	9	2.8%
安売りやポイントデーの時に行く	29	9.1%
合計	318	100.0%

クレジットカードはどんな時に使いますか

	N	%
高額の買い物の時だけ	66	20.8%
買い物のほとんど	181	56.9%
お金が不足した時	37	11.6%
カードは使わない	34	10.7%
合計	318	100.0%

スマホのプランはどうしてますか

	N	%
プランの内容を知らない	24	7.5%
最適なプランを選んでいる	265	83.3%
プランは高いが変更したくない	28	8.8%
スマホは持っていない	1	0.3%
合計	318	100.0%

生活費が足りなくなったらどうしますか

	N	%
カードか借金を利用	40	12.6%
不足したことはない	139	43.7%
会社・家族・親族・友人などに相談	45	14.2%
やりくりして我慢する	94	29.6%
合計	318	100.0%

オンラインゲームや投げ銭などにお金を使っていますか

	N	%
好きなだけ使っている	11	3.5%
決めた額まで使っている	32	10.1%
お金を使わないでやっている	48	15.1%
やらない	227	71.4%
合計	318	100.0%

電気代を意識していますか

	N	%
節約を心がけている	113	35.5%
時々節約している	124	39.0%
気にせずに使っている	67	21.1%
節約したいができない	14	4.4%
合計	318	100.0%

毎月の支出は収入に対してどうですか

	N	%
収入のほうが多い	127	39.9%
支出のほうが多い	68	21.4%
月によって違う	111	34.9%
わからない	12	3.8%
合計	318	100.0%

食事はどうしていますか

	N	%
手作りが多い	233	73.3%
総菜やお弁当などが多い	48	15.1%
外食がほとんど	21	6.6%
安売りのパンやインスタント食品が多い	16	5.0%
合計	318	100.0%

家計が厳しくなった時に、まず何を減らしますか

	N	%
食費・日用品費	61	19.2%
教育費・子どもにかけるお金	2	0.6%
通信費（スマホ代・サブスク代）	19	6.0%
趣味・おしゃれなど	236	74.2%
合計	318	100.0%

食料品や日用品の主な支払方法は

	N	%
現金	102	32.1%
チャージする電子マネー	54	17.0%
後払いの電子マネー	39	12.3%
クレジットカード	123	38.7%
合計	318	100.0%

万一の事があった時のための準備をしていますか

	N	%
生命保険に入っている	137	43.1%
貯蓄がある	43	13.5%
生命保険も貯蓄もない	27	8.5%

生命保険と貯蓄がある	111	34.9%
合計	318	100.0%

臨時の収入があった場合、どうしますか

	N	%
全額貯蓄	128	40.3%
半分貯蓄	146	45.9%
全額使う	23	7.2%
滞納や借金の返済	21	6.6%
合計	318	100.0%

社会保険の加入について

	N	%
国保に入っているが支払が滞りがち	2	0.6%
国保に加入し支払っている	15	4.7%
会社の社保に加入	294	92.5%
加入していない・わからない	7	2.2%
合計	318	100.0%

将来の生活資金について、いつ頃までを考えていますか

	N	%
1年後	22	6.9%
5年後	57	17.9%
10年後以上	145	45.6%
考えていない	94	29.6%
合計	318	100.0%

住宅ローンについて

	N	%
住宅ローンはない	194	61.0%
退職までに完済	57	17.9%
退職金で完済	21	6.6%
年金生活になっても返済が続く	46	14.5%
合計	318	100.0%

自分の老後の生活資金はどうしますか

	N	%
働かないと暮らせない	169	53.1%
貯蓄や年金収入などで暮らせる	113	35.5%
子どもに援助してもらう	2	0.6%
全く目処が立たない	34	10.7%
合計	318	100.0%

家族以外に休みの日に話す相手はいますか

	N	%
いない	89	28.0%
勤め先以外にいない	15	4.7%
時々電話で話す相手がいる	38	11.9%
会って話す相手がいる	176	55.3%
合計	318	100.0%

困った時にまず頼るのは誰（どこ）ですか

	N	%
家族や親族	259	81.4%
友人や知人	24	7.5%
自治体の相談窓口や支援団体	16	5.0%
いない（ない）	19	6.0%
合計	318	100.0%

住んでいる所の町内会に入っていますか

	N	%
加入し、つきあいもある	101	31.8%
加入していない	82	25.8%
加入しているが、つきあいがない	94	29.6%
町内会を知らない・ない	41	12.9%
合計	318	100.0%

親族や知人の冠婚葬祭はどうしていますか

	N	%
考えたことがない	46	14.5%
無理をしてでもつきあう	45	14.2%
選んでつきあっている	211	66.4%
つきあいがない	16	5.0%
合計	318	100.0%

健康維持のためにしていることはありますか

	N	%
必要ない	21	6.6%
したいけど、できない	77	24.2%
たまにしている	166	52.2%
いろいろしている	54	17.0%
合計	318	100.0%

役所からの郵便物はどうしていますか

	N	%
必ず見て必要な対応をしている	277	87.1%
内容がわからないお知らせは、そのままにしている	16	5.0%
よくわからないお知らせは役所の窓口に聞く	15	4.7%

封を開けないことが多い	10	3.1%
合計	318	100.0%

暮らしに困った時に相談できる窓口を知ってますか

	N	%
知っている	251	78.9%
聞いたことはある	42	13.2%
知っていても利用しない	8	2.5%
知らない	17	5.3%
合計	318	100.0%

ネットで知らないうち有料画面に誘導され、料金を請求されたらどうしますか

	N	%
無視する	220	69.2%
請求金額を支払う	3	0.9%
消費生活センターなどの窓口に相談する	88	27.7%
請求先に問い合わせる	7	2.2%
合計	318	100.0%

社会保険料や税金が払えなくなったらどうしますか

	N	%
わからない	24	7.5%
自治体の窓口に相談に行く	266	83.6%
督促がくるまで何もしない	16	5.0%
お金を借りて払う	12	3.8%
合計	318	100.0%

すごく儲かる話が来たらどうしますか

	N	%
詳しく話を聞いてみる	35	11.0%
友人・知人なら話に乗る	21	6.6%
友人・知人でも話に乗らない	48	15.1%
最初から話を聞かない	214	67.3%
合計	318	100.0%

クーリングオフ制度を知っていますか

	N	%
知っている	272	85.5%
何となく知っている	37	11.6%
聞いたことがある	3	0.9%
全く知らない	6	1.9%
合計	318	100.0%

4、運営委員会、開発委員会、地域委員会、作業部会、全体会の設置と運営

(1)概要

運営委員会で事業全体を円滑に推進していくことを目的に、事業計画を定め、事業の遂行に責任を持つ体制とし、3回開催した。運営委員会による事業推進体制のもと、各員会の役割を明確にして相互に情報共有しつつ事業を進めた。開発委員会を5回、そのうち1回はアプリとテキストの完成に向けて、4回は新たな教材の開発の検討を行った。作業部会は、開発委委員会への提案をするために、前年度の試用テストのアンケート結果を受けた改良点の整理等ために作業部会 A を4回、新たな教材開発の準備段階の作業として作業部会 B を3回開催した。全体会は関係者各人が事業を推進するための合意形成を図ることを目的としているが、今年度の1回目は普及活動に先立ちアプリとテキストの改良点と内容、普及活動の方針を共有するために、2回目は年度末に各ブロックから普及活動を報告・共有するために開催した。

(2)各委員会の役割とメンバー

1)各委員会の役割

① 運営委員会:事業全体の推進
② 開発委員会:アプリと学習教材の検討、進捗管理
③ 作業部会:アプリと学習教材の内容に関する資料作成、開発委員会への提案
④ 地域委員会:相談者への試用を促進・アンケート調査等の共有、意見交換
⑤ 全体会:事業全体の関係者での共有、2回目は成果報告会を兼ねる。
運営委員、開発委員、地域委員他

2)地域員会の設置単位と進め方について

前年度に続き、物理的な距離や移動の利便性、地域委員を募った家計改善部会員数の割合などを考慮して、東北・北海道ブロックを北海道ブロック、東北ブロックに分け、九州・沖縄ブロックを(福岡県)、(福岡県以外)、(沖縄県)に3つの地域委員会を設置した。全国 9 ブロックに地域委員会を設け、地域委員会のもとに協力部会員も加わって普及活動に取り組んだ。

地域委員を中心に、各ブロックの多岐にわたる普及活動を通して、各ブロック(地域)内のネットワークづくりが豊かに展開されている。

9つブロックは、以下の通り。

北海道ブロック
東北ブロック(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
関東・甲信越ブロック(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県)
東海・北陸ブロック(富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)
近畿ブロック(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)
中国・四国ブロック(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
九州(福岡県)ブロック
九州(福岡県以外)ブロック(佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
沖縄ブロック

＜各委員会の委員名簿＞

事業役割		氏名	所属	参加状況
運営委員		山崎　史郎	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 顧問 内閣官房参与（社会保障、人口問題、地方創生） 内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局総括事務局長	欠席
		新保　美香	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事 明治学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授	欠席
		生水　裕美	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 理事	参加
		鏑木 奈津子	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 研究・研修委員 上智大学 総合人間科学部社会福祉学科 准教授	欠席
		行岡　みち子	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局長 グリーンコープ生活協同組合連合会　生活再生事業推進室長	参加
		平川　尚子	(認定)特定非営利活動法人 コミュニティケア街ねっと	参加
		四井　恵介	有限会社 CR-ASSIST取締役	参加
開発委員		生水　裕美 ※	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 理事	参加
		行岡　みち子 ※	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局長 グリーンコープ生活協同組合連合会　生活再生事業推進室長	参加
		平川　尚子 ※	(認定)特定非営利活動法人 コミュニティケア街ねっと	参加
		四井　恵介 ※	有限会社 CR-ASSIST取締役	参加
		小山　ひなた	デザイナー、イラストレーター	参加
		倉掛　彩子	一般社団法人グリーンワークス　FP円縁	参加
		西村　亜紀子	社会福祉法人グリーンコープ（長崎県）	参加
		齊藤　明子	社会福祉法人石狩市社会福祉協議会	参加
作業部会員		倉掛　彩子 ※	一般社団法人グリーンワークス　FP円縁	参加
		谷口　光子	一般社団法人グリーンワークス　FP円縁	
地域委員	北海道ブロック	佐渡　洋子	どうねっと　北海道生活困窮者支援ネットワーク	参加
		五十嵐　宣勝	社会福祉法人 後志報恩会 つなぐ・しりべし	参加
	東北ブロック	阿部　恵子	認定特定非営利活動法人インクルいわて	参加
	関東・甲信越ブロック	林　星一	座間市福祉部参事兼地域福祉課　課長	欠席
		加藤　あずさ	座間市社会福祉協議会地域福祉課生活相談係長	欠席
		川澄　弥恵	生活クラブ生活協同組合神奈川　たすけあいネットワーク事業部	参加
		榊原　樹子	生活クラブ生活協同組合千葉くらしと家計の相談室　主任相談員	参加
		藤具 圭介	日本FP協会評議員・一般財団法人あしなが育英会	参加
	東海・北陸ブロック	野田　博也	愛知県立大学 教育福祉学部 教授	欠席
		塚本　淑恵	名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山	欠席
		丹羽　宏太	NPO法人くらし応援ネットワーク・日本福祉大学大学院	参加
	近畿ブロック	覺前　典文	社会福祉法人グリーンコープ（兵庫県）	参加
		菊井　千恵子	滋賀県野洲市役所　市民生活相談課	参加
	中国・四国ブロック	今井　博明	鳥取県南部町社会福祉協議会 総務係長	参加
		黒田　明穂	社会福祉法人グリーンコープ（岡山県）	参加
	九州（福岡）ブロック	村上　和子	社会福祉法人共生の里・ゆくはし生活相談センター	参加
		渡辺　貴子	社会福祉法人グリーンコープ（福岡県）	参加
		森崎　薫	社会福祉法人グリーンコープ（福岡県）	参加
		木村　和代	社会福祉法人グリーンコープ（福岡県）	参加
	九州（福岡以外）ブロック	高濱　千夏	社会福祉法人グリーンコープ（熊本県）	参加
		古津　理恵	社会福祉法人グリーンコープ（熊本県）	参加
		本多　輝美	社会福祉法人グリーンコープ（佐賀県）	参加
		西村　亜紀子※	社会福祉法人グリーンコープ（長崎県）	参加
		近澤　和子	社会福祉法人グリーンコープ（大分県）	参加
	沖縄ブロック	仲程　愛理	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会	参加
		松尾　暢子	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会	参加
事務局 作業部会員		行岡　みち子 ※	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局長 グリーンコープ生活協同組合連合会　生活再生事業推進室長	参加
		平本　早余子	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局 グリーンコープ生活協同組合連合会　生活再生事業推進室	参加
		倉岡　良子	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局 グリーンコープ生活協同組合連合会　生活再生事業推進室	参加
		鷲野　奈美	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局 グリーンコープ生活協同組合連合会　生活再生事業推進室	参加
		髙橋　陽佑	一社）生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局 グリーンコープ生活協同組合連合会　生活再生事業推進室	参加

＜9つのブロック（地域）の各地域委員会の協力部会員名簿（計 80 名）＞

※協力部会員：当ネットワークの家計改善支援部会員（300名）へ本事業への協力を呼びかけたところ、協力の意思表示の連絡をいただいた部会員。
家計改善支援部会員全員へ完成したアプリとテキストと各ブロック開催予定の説明会の案内しており、協力部会員以外の部会員にも説明会に参加したり、アプリやテキストの普及活動に協力いただいている。

連番	ブロック	都道府県	お名前
1	北海道 3名	北海道	富山 則和
2		北海道	川上 真智子
3		北海道	齊藤 明子
4	東北 3名	宮城県	青山 奈保美
5		岩手県	佐々木未英
6		秋田県	梶原 明日佳
7	関東・甲信越 6名	東京都	中森 順子
8		東京都	岡部 恵江
9		埼玉県	大久保 登
10		神奈川県	岸 紀子
11		神奈川県	栗林 良彦
12		千葉県	和泉 渚
13	東海・北陸 5名	愛知県	岡本 祥浩
14		愛知県	川口 智子
15		愛知県	左海 俊夫
16		愛知県	兵藤 睦美
17		三重県	小坂 明美
18	近畿 1名	大阪府	横谷 和彦
19	中国・四国 9名	鳥取県	霜村 美奈世
20		島根県	今岡 真由美
21		岡山県	宮崎 啓輔
22		岡山県	白神 雅也
23		広島県	藤岡 和友
24		広島県	北田 佳代子
25		香川県	徳田 裕二
26		香川県	矢野 翔也
27		愛媛県	瀧見 陽子

連番	ブロック	都道府県	お名前
28	九州（福岡） 21名	福岡県	栗山 淳子
29		福岡県	芦刈 史
30		福岡県	藤浦 久美
31		福岡県	大山 智恵
32		福岡県	永嶋 君子
33		福岡県	有冨 麻美子
34		福岡県	大中 冬子
35		福岡県	北島 千恵
36		福岡県	阪本 信介
37		福岡県	山本 初恵
38		福岡県	有冨 麻美子
39		福岡県	伊藤 博子
40		福岡県	愛甲 智恵美
41		福岡県	倉住 幸恵
42		福岡県	池田 亜澄
43		福岡県	中村 清子
44		福岡県	細谷 由樹子
45		福岡県	勝山 真奈美
46		福岡県	松永 夏未
47		福岡県	大平 和代
48		福岡県	山野 由美

連番	ブロック	都道府県	お名前
49	九州（福岡除く） 30名	佐賀県	板谷 陽子
50		長崎県	竹口 まさ子
51		長崎県	髙村 紀子
52		長崎県	山口 竜興
53		長崎県	松尾 敦奈
54		長崎県	溝口 由利子
55		長崎県	斎藤 真里
56		宮崎県	古田 慶子
57		熊本県	中川 起代子
58		熊本県	松本 理恵
59		熊本県	瀬川 陽子
60		熊本県	永山 雅代
61		熊本県	中島 まゆみ
62		熊本県	古津 理恵
63		熊本県	藤丸 純子
64		熊本県	上村 洋子
65		熊本県	中島 明美
66		熊本県	生田 多恵
67		熊本県	松野 英夫
68		熊本県	西田 美和
69		熊本県	工藤 公輝
70		熊本県	佐藤 さおり
71		大分県	井上 悦子
72		大分県	土橋 教子
73		大分県	塩月 恵子
74		大分県	山本 哲也
75		鹿児島県	知久 真由美
76		鹿児島県	川原 ひろみ
77		鹿児島県	平名 よしの
78		鹿児島県	末田 敦子
79	沖縄 2名	沖縄県	齋藤 稔
80		沖縄県	卯都木一彦

(3)全体スケジュール

月	日時	会場	開発・検討予定	内容
5月	5月15日(金) 13:30~15:30	東京	第1回運営委員会	今後の進め方の意見交換・確認
	5月27日(火) 10:00~16:00	福岡	第1回作業部会A	アプリと教材の改善内容の検討
	6月2日(月) 10:00~16:00	福岡	第2回作業部会A	アプリと教材の改善内容の検討
	6月13日(金) 10:00~16:00	福岡	第3回作業部会A	アプリと教材の改善内容の検討
6月	6月24日(火) 13:00~15:30	大阪	第1回開発委員会	アプリと教材の改善内容検討
	6月26日(木) 10:00~15:30	福岡	第4回作業部会B	小・中・高校生の教材の開発のための作業
4月	6月26日(木) 15:30~17:00	福岡	第5回作業部会A	アプリと教材の改善内容の検討
7月	7月23日(水) 14:00~17:00	福岡	第6回作業部会B	小・中・高校生の教材の開発のための作業
	7月24日(木) 10:00~16:00	福岡	第7回作業部会B	小・中・高校生の教材の開発のための作業
	7月28日(月) 11:00~14:00	東京	第2回運営委員会	アプリと教材の改善確認、全体会の進め方の確認
8月	8月20日(水) 11:00~15:00	東京	全体会	今年度の地域説明会開催の進め方の確認
		全国 9ブロック	地域委員会	各ブロックでの地域説明会の開催に向けての検討
9月		全国 9ブロック	地域委員会	各ブロックでの地域説明会の開催に向けての検討
	9月16日(火) 13:00~15:00	大阪	第2回開発委員会	小・中・高校生の教材の開発のための検討
10月		全国 9ブロック	地域委員会	地域説明会や普及活動
11月	11月9日(日) 10:00~12:00	滋賀	全国大会分科会での紹	アプリと教材紹介、地域での普及活動紹介
		全国 9ブロック	地域委員会	地域説明会や普及活動
12月	12月1日(月) 10:00~15:00	福岡	第3回開発委員会	小・中・高校生の教材の開発のための検討
	12月22日(月) 13:00~15:30	東京	第3回運営委員会、第4 発委	全体会の進め方、小・中・高校生の教材の開発のための検討
1月	1月26日(月) 12:30~15:30	東京	第5回開発委員会	小・中・高校生の教材の開発のための検討
2月	2月13日(金) 11:00~15:00	東京	全体会(報告会)	地域での説明会・普及活動報告

アプリ・教材改善作業

小・中・高校生教材開発

他団体協力依頼

地域委員会

地域説明会開催・普及活動

小・中高校生教材開発

(4)活動報告

1)運営委員会

5/15(金)13:30～15:30　第１回運営委員会
(ビジョンセンターグランデ東京浜松町　4F　406 会議室)

参加:新保美香、生水裕美、鏑木奈津子、平川尚子、四井恵介、行岡みち子、平本早余子、倉岡良子
オブザーバー　厚生労働省社会援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室　室長補佐安西慶高、相談支援係長　佐向祐太、係員　山本つぼみ

概要:今年度の進め方を検討・確認した。厚生労働省よりオブザーバー参加があり、就職氷河期世代の支援への協力要請と普及活動について協働の取り組みの可能性を相談した。

① 厚生労働省より就職氷河期世代支援のアプリへの反映の相談があり、対応すること、情報サイトへの掲載などネット上の案内・普及活動については課題を整理して、福祉医療機構と厚生労働省等と相談が必要。
② アプリは氷河期世代対応も盛り込み、昨年度の検討と試用テストアンケート結果を反映して改良を加えて完成させる。
③ 新社会人向けテキストも昨年度の検討とアンケート結果を反映して完成させる。
④ 普及活動については、地域委員を巻き込んで関係者全員で関係機関に働きかける。
⑤ 高校生向けのテキストの開発に着手し、ひとり親、高齢者向けの調査も開始する。

7/28(月)11:00～14:00　第２回運営委員会
(ビジョンセンターネオグランデ東京浜松町　4F　402 会議室)

参加:新保美香、生水裕美、鏑木奈津子、平川尚子、四井恵介、行岡みち子、倉岡良子
オブザーバー　厚生労働省社会援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室　室長補佐安西慶高、相談支援係長　佐向祐太、主査　堀俊太郎、係員　増渕光

概要:前半は、アプリとテキストの完成に向けて修正点を検討・確認した。作業部会で試用テストのアンケートの一つ一つの意見についてできるだけ反映させて改修できるように作業を進め、開発委員会で検討してきた経過を報告し、修正案について意見交換して確認した。加えて、普及活動の進め方、第1回全体会の内容を相談した。後半は運営委員のみで今年度開発するテキストについて相談した。

①高校生・大学生向けに自己責任を匂わせるようなコメントがあるのではないかと指摘があり、コメントについては心理的安全性の観点から本日の参加者で再点検する。
②アプリに「戻る機能」は設けない。
③氷河期世代向けの設問・選択肢については、厚生労働省からの点検結果を反映する。
④テキストの生活費の例示については、すべて全国平均とする。
⑤「酒・たばこ」が必要な支出、「化粧品」が楽しみの支出という記載の違和感について、確認して修正する。
⑥高校生向けテキストを開発する予定であったが、実際に小学生や高校生向けの授業を実施している団体から教材の提供があり、子どもに考えさせながら大事なことを押さえる良い

教材だったため、小・中学生向けの教材の開発を追加する。
⑦高校生向けは、小・中学生向けの教材をバージョンアップしたものと、18歳成人前に知っておいて欲しい契約やカード決済などについて詳しく案内した参考書の2種を開発する。

12/22(月)13:00～15:30　第3回運営委員会(第4回開発委員会と合同実施)
(ビジョンセンターグランデ東京浜松町　4F　409 会議室)
参加:生水裕美、平川尚子、四井恵介、行岡みち子、小山ひなた、倉掛彩子、西村亜紀子、齊藤明子、平本早余子、倉岡良子
概要:作業部会、開発委員会で開発をすすめてきた、小・中校生向け教材、高校生向け教材、高校生向け参考書について、教材開発の進捗を報告し、内容と今後の進め方を検討した。
①パワーポイントの教材、ワークシート、シナリオについては、以下の修正点を確認し、第5回開発委員会までに修正を進める。
・スライド番号を入れる。
・イラストの詳細や言葉の使い方、表記の修正。
・小・中学生向けのワークシートに、グループの意見が記入できるワークシートを追加する。
・シナリオは講師が生徒の状況や地域性などを考慮して変更できる幅を設ける。
・高校生向けのワークシートはタブレット、スマホ、手書きなどツールを選べるようにする。
※第2回全体会の進め方については検討する時間がなく、委員会後にメール等で相談した。
各ブロックの普及活動については、1月末までに報告書を集約すること情報共有した。

2)開発委員会

6/24(火)13:00～15:30　第１回開発委員会
(アットビジネスセンターPREMIUM新大阪 909 会議室　)
参加:生水裕美、四井恵介、小山ひなた、倉掛彩子、行岡みち子、平本早余子、倉岡良子
概要:作業部会3回で試用テストアンケートの一つ一つの意見を点検して作成した修正案について検討し、更に修正が必要な点は作業部会で行い、その上で修正点を運営委員会に提案することを決定した。今後の進め方についても共有した。
①アプリの修正点について、以下の点を確認した。
・就職氷河期世代の年代を追加して、ターゲット分類を変更する。
・職業の選択肢、属性の選択肢の追加、「同居の子ども(18歳以下)」に限定する。
・設問別カテゴリーの「学生・新社会人」を「実家暮らし」「一人暮らし」に分ける。
・評価コメントについて口調や語尾、点数によるコメントの違いを作業部会で更に精査する。
・リスクが高いと思われる回答については、相談につながるようなコメントを追加する。
・戻る機能については、運営委員会での検討とする。
・戻る機能を付けない場合の案内の仕方、進捗状況の表示を分かりやすく盛り込む。
②テキストの修正点について、以下の点を確認した。

・家賃について福岡を例示していたが、東京と山口の家賃も追加する。
・酒・たばこは嗜好品と掲載する。
・アナとマグ（キャラクター）の役割について、アナがアドバイス役に統一する。
・テキストは A5 判で印刷する

9/16（火）13：00～15：00 第 2 回開発委員会
（アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 909 会議室）
参加：平川尚子、四井恵介、小山ひなた、倉掛彩子、西村亜紀子、行岡みち子、平本早余子、倉岡良子
概要：前回の開発委員会後の作業部会で検討して作成を進めた小・中学生向けのテキスト（パワーポイント）、ワークシート、講師用手引き書、高校生向けのテキスト2について意見交換した。参加者は気づいた点や修正点などの意見を届ける。
①小学生向け、中学生向けのテキストを検討する中で、小・中学生向けテキストとして一本化することを確認した。その上で、以下の点を確認した。
・漢字配当表を参照してひらがな表記への変更、ルビの挿入を行う。
・言葉についてはイラストで補足し、子どもの反応などを見ながら講師が適宜説明を加える。
・分かりやすく、統一した表現にするために必要な修正を入れる。
・手引書には対象となる子どもの状況や地域性に応じて講師が適宜説明を加えるなど、配慮することを留意点として明記する。
②高校生向けテキストについて、以下の点を確認した。
・小学生向けのテキストのお金についての基本的な考え方を冒頭に追加する。
・当初中学生向けのテキストとして用意していた内容を高校生向けにバージョンアップする。
・キャッシュレスの説明を詳しくする。
・一人暮らしの生活費計算ワークシートをエクセルで自動計算してグループで共有でき、1回目と2回目が比較できるような仕組みとスマホで簡単にできるアプリ、紙で記入できるシートを用意する。
・例示する平均月収や社会保険料等は公開されている最新の情報に変更する。
③高校生向け参考書について、平川委員より、消費者教育の側面が大きいが、成人して困らないように知っておいて欲しい点をまとめているという趣旨説明があり、内容について意見交換し、以下の点を確認した。
・事例①を高校生が想像しやすいように、奨学金をもらっている大学生が借金をしていてその返済のためにアルバイトに精を出してしまい奨学金が取り消されそうになる事例に変更する。

12/1（月）10：00～15：00
第 3 回開発委員会（博多大博通りビル6F 貸会議室）
参加：平川尚子、西村亜紀子、齊藤明子、行岡みち子、平本早余子、倉岡良子
概要：高校生向けの教材を作成して事業の経験を持つ石狩市社会福祉協議会の齋藤氏が開発委員に加わり、各教材の内容の追加・修正点について意見交換した。
①斉藤氏から提供された高校生向けの教材について、説明を受けて意見交換した。

②前回の開発委員会後の西村氏、平川氏からの修正案について検討した。
③参加者からの意見をとりまとめて、事務局で修正案を次回開発委員会までに提案する。

12/22(月)13:00～15:30　第4回開発委員会(第3回運営委員会と合同実施)
(ビジョンセンターグランデ東京浜松町　4F　409 会議室)
参加:生水裕美、平川尚子、四井恵介、行岡みち子、小山ひなた、倉掛彩子、西村亜紀子、齊藤明子、平本早余子、倉岡良子
概要:前述の第3回運営委員会報告の通り。小・中学生向けと高校生向けのテキスト(パワーポイント)、ワークシート、講師用手引き書は小山氏が次回開発委員会までにデザインする。高校生向け参考書は次回開発委員会で検討する。

1/26(月)12:30～15:30　第 5 回開発委員会
(アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 904 会議室)
参加:生水裕美、平川尚子、四井恵介、小山ひなた、倉掛彩子、西村亜紀子、行岡みち子、平本早余子、倉岡良子
概要:　高校生向け参考書の内容について、平川氏提案のスライドの一枚ずつの内容について意見交換し、修正点を相談した。小・中学生向けの教材についてはデザインされたパワーポイントについて検討し、修正点を確認した。
①高校生向け参考書の平川氏の提案のスライドについて、一枚ずつ説明・意見交換して内容を検討した。主な修正点は、以下の通り。
・タイトルは、「ひとり立ちに向けて覚えておいて欲しいお金の話」とする。
・クイズ④を追加する。「契約⑤　18歳以上でも契約の取り消しができる場合があります。
事例:無料と誘われたのでエステに行ったら、30 万円の契約をさせられた。
クーリング・オフ　〇」
・説明は具体的で分かりやすく、相談につながるような言葉にする。
・会議後に提案者の平川氏より修正点、二つの事例の説明案を平川氏と西村氏より提案いただく。
・平川氏と西村氏からの修正案を事務局で取りまとめて、小山氏に作成を依頼する。

3)作業部会

5/27(火)10:00～16:30　第1回作業部会(A)　グリーンコープ連合貸会議室 7 階会議室
参加:行岡みち子、谷口光子、倉掛彩子、平本早余子、倉岡良子
概要:今年度の事業の目的・内容・スケジュール等について共有し、第1回の運営委員会を受けて前年度から開発をしてきたアプリとテキストの完成に向けて作業部会で行うことと、その進め方を相談した。試用テストアンケート回答の一つ一つについて精査し、アプリに反映できるように作業を行った。
①アプリの設問、選択肢の修正案を作成した。
②開発者とアプリの修正について相談する点を整理した。

・アプリの「同居の子ども」の設問を、「同居の子ども（18歳以下）」に修正する。
・ひとり親の設問 27「いざという時頼れる人がいますか」の選択肢「自治体の相談窓口や支援団体」を選択すると、「もっと友人知人を頼ったほうがいい」という診断コメントが出るが、「友人知人」を選択した場合に周りに頼れない場合もあるのでコメントの変更が必要。

6/2（月）10：00～16：00　第2回作業部会（A）グリーンコープ連合貸会議室　7 階会議室
参加：行岡みち子、谷口光子、倉掛彩子、平本早余子、倉岡良子
概要：前回の作業部会から継続して試用テストアンケート回答の一つ一つについて精査し、アプリに反映できるように作業を行った。

①アプリの設問、選択肢の修正案を作成した。
②開発者とアプリの修正について相談する点を再度整理した。
・戻る機能はシステム上可能か、戻る機能を付けた方がいいか。
・設問2「ご職業を教えてください」 の選択肢1「会社員」を「会社員、公務員など」に修正、「選択肢6「無職」を最初に移動した方がいい。
・評価コメントが各分析軸の点数に合わせた統一のコメントとなっているが、世代別（高校生・大学生・新社会人/ひとり親/高齢者/その他）に分けることができないか。世代別に分けなない場合も、全世代にとって違和感がないような文言・表現にしていく必要がある。
・深刻な状況が窺える回答によって必ず相談に繋ぐようにできないか。
・大学生・社会人の設問について、家族と同居の場合に回答が難しい項目があるため、同居と一人暮らしに分けて、ターゲット特定可能か。
・回答の進捗状況について具体的な案内をするために設問数の統一が必要か。

6/13（金）10：00～16：00　第3回作業部会（B）（博多大博通りビル6F 貸会議室）
参加：四井恵介、行岡みち子、倉掛彩子、平本早余子、倉岡良子
概要：アプリ開発者の四井氏が加わって、前回までの作業部会で整理した改善点について検討を行い、開発委員会への提案を準備した。
①前回までの作業部会で作成した設問・選択肢について確認した。
②戻る機能については、はシステム上可能だが、システムの大幅変更になり、最低 1 ヶ月は掛かるので、運営委員会・全体会で相談する。
戻る機能を入れない場合も、設問に入る前に案内（自分に一番合った回答を一つだけ選んでください）を入れる。
③職業の選択は「1：高校生、2：大学生、3：会社員・公務員など、4:自営業、5：パート・アルバイト・派遣など、6：無職」とする。
④同居中の子どもは（18歳以下）を入れる
⑤回答の進捗状況について、中盤以降に、あと何問などが出るようにする。
⑥評価コメントは年代で2パターンとする。リスクの高い回答へのコメントも追加する。
⑦就職氷河期が該当するターゲットを設定するため、「18 歳未満、18～29 歳、30～40歳、41～55歳、56～64歳、65歳以上」に変更する。

6/26(木)10:00～15:30　第4回作業部会(B)博多大博通りビル6F 貸会議室)

参加:行岡みち子、平川尚子、谷口光子、倉掛彩子、糸長舞子、西村亜紀子、平本早余子、倉岡良子

概要:小中学生・高校生用テキスト開発に向けて、小・中・高校生対象の授業等の講師経験がある西村氏、平川氏、生保世帯の中高生向けに金銭教育に取り組む糸長氏が参加して、それぞれの教材を持ち寄り、内容を共有して、新たな教材づくりの方針について相談した。

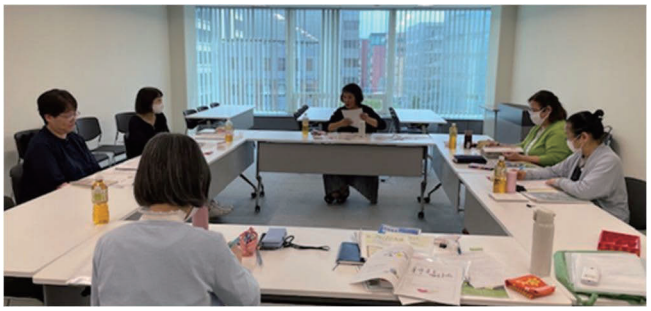
①教材開発の進め方について、以下の点を共有した。

・持ち寄った教材を使って、新たに教材を作り、それを全国展開する。
・開発した教材に、開発者として委員会メンバーの組織名の掲載を検討する。
・今日は各団体の教材を共有し、開発する教材の方針を定める
・次回7月24日には、制作する四井氏、小山氏も参加し、内容を確定する。
・デザイン・レイアウトなどは両氏に依頼する。

②開発する教材(小学生向け、中学生向け、高校生向け2冊)について、以下のように確認した。

・小学生向けテキストは、西村氏のテキストに、カレンダー式のおこづかい帳を加える。
・中学生向けテキストは、西村氏のテキストをベースにして、小学生向けテキストのお金についての基本的な考え方を冒頭に導入として入れ、家計表は Excel も用意する。
・高校生向けテキストは、西村氏の中学生向けテキストの一人暮らしの家計表と小学生向けテキストのお金の基本的な考え方を高校生向けにバージョンアップする。
・高校生向け参考書は、平川氏のテキストの家計管理の前までと西村氏の家計表、他のテキストなどで追加したほうが良い内容を盛り込む。

③それぞれのテキスト案について、西村氏、平川氏が提案を準備し、倉掛氏が追加内容を提案する。



6/26(木)15:30～17:00 第5回作業部会(A)　(博多大博通りビル6F 貸会議室)

参加:行岡みち子、平川尚子、倉掛彩子、平本早余子、倉岡良子

概要:前年度の試用テストのアンケート回答を受けて作業部会で修正した設問・選択肢について、平川氏の修正案との突合せを行い、修正案を精査した。

7/23(水)14:00～17:00　第6回作業部会(B)(博多大博通りビル6F 貸会議室)

参加:行岡みち子、平川尚子、谷口光子、倉掛彩子、糸長舞子、西村亜紀子、倉岡良子

概要：開発する小学生向けテキスト、中学生向けテキスト、高校生向けテキストの内容について前回に続けて具体的な表現や盛り込む内容を検討し、翌日の制作者が加わっての作業部会で相談できるように検討した。

7/24（木）10：00～16：00 第7回作業部会（B）（博多大博通りビル6F 貸会議室）

参加：行岡みち子、平川尚子、四井恵介、小山ひなた、倉掛彩子、西村亜紀子、谷口光子、糸長舞子、倉岡良子

概要：テキストと付随する Excel シートなどを制作する四井氏と小山氏が加わって前日の作業部会で準備したテキスト案等について共有し、制作の進め方を相談した。

4）地域委員会

①北海道ブロック

8/21（木）第１回北海道ブロック　地域委員会　（オンライン）

参加：佐渡洋子、五十嵐宣勝、協力部会員（富山、本間、齊藤、川上）、どうねっと家計部会（山﨑）、四井恵介（運営委員）

内容：・10月29日開催予定の北海道ブロックの説明会の打ち合わせ

②東北ブロック

9/2（火）第１回東北ブロック　地域委員会　（盛岡市くらしの相談支援室会議室）

参加：阿部恵子、協力部会員（小川健一、佐々木未英）、インクルいわて事務局長（花坂圭一）

内容：・R7.8 月全体会の内容報告

・アプリの普及活動の実施方法の検討
【岩手県内】【岩手県外】それぞれの方法について検討

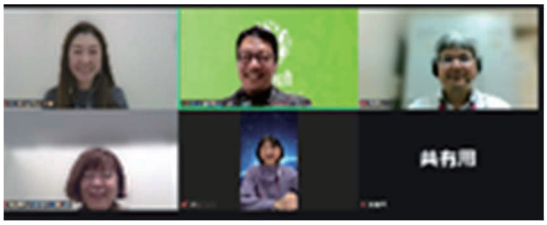
③　関東・甲信越ブロック

9/22（月）　第１回関東・甲信越ブロック　地域委員会　（オンライン）

参加：林星一、加藤あずさ、藤具圭介、榊原樹子
内容・全体回の共有
　　・今後の方針の決定

10/28（火） 第２回関東・甲信越ブロック 拡大地域委員会 （オンライン）
参加：林星一、川澄弥恵、藤具圭介、榊原樹子、拡大地域委員（中森順子、国峯拓巳）
内容・アプリ、テキストの普及に関して共有
　　・委員同士の交流

1/30（金）第３回関東・甲信越 拡大地域委員会 （オンライン）
参加：林星一、加藤あずさ、川澄弥恵、藤具圭介、榊原樹子、拡大地域委員（中森順子、国峯拓巳）
内容・アプリ、テキスト普及活動の報告
　　・関東甲信越からの提言まとめ



④ 東海・北陸ブロック

10/6（月） 第１回東海・北陸ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：野田博也、丹羽宏太、塚本淑恵
内容・丹羽さんの広報予定について共有

10/20（月） 第2回東海・北陸ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：野田博也、丹羽宏太、塚本淑恵
内容・東海北陸ブロック協力委員への広報打合せ

10/27（月） 第3回東海・北陸ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：野田博也、丹羽宏太、塚本淑恵
内容・10 月 6 日の件、経過共有

11/11（火） 第4回東海・北陸ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：野田博也、丹羽宏太、塚本淑恵
内容・丹羽さんの広報（愛知県知多市）について共有

11/17（月） 第5回東海・北陸ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：野田博也、丹羽宏太、塚本淑恵
内容・丹羽さんの広報（愛知県社協生活困窮者自立支援研修）について共有

1/5（月） 第6回東海・北陸ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：野田博也、丹羽宏太、塚本淑恵
内容・全体会に向けての打ち合わせ
・協力委員の広報共有

1/29（木） 第7回東海・北陸ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：野田博也、丹羽宏太、塚本淑恵
内容・全体会での報告資料の打ち合わせ

⑤ 近畿ブロック

8/20（水） 第1回近畿ブロック 地域委員会 （ビジョンセンターグランデ東京浜松町）
参加：覺前典文、菊井千恵子、生水裕美（運営委員）
内容：・今後の地域での普及活動の進め方について確認

9/3（水） 第2回近畿ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：覺前典文、菊井千恵子
内容：・普及活動の方法について、打合せ
・印刷物、印刷部数についての打ち合わせ

⑥ 中国・四国ブロック

8/26（火） 第１回中国・四国ブロック 地域委員会 （オンライン）
参加：今井博明、黒田明穂
内容：（中国・四国ブロック説明会について打合せ）
・PP でハイブリット形式説明会を開催し、普及活動につなげる
・参加対象確認をする

9/29（月） 第２回中国・四国ブロック 拡大地域委員会 （岡山国際会議場）
参加：今井博明、黒田明穂、協力部会員（宮崎啓輔、瀧見陽子）、部会員（木山由子）
内容：（説明会後の確認）
・質疑、意見、感想
・今後の普及活動の確認

⑦ 九州ブロック（福岡）

9/16（火） 第１回九州ブロック（福岡） 地域委員会 （博多大博通ビル101会議室）
参加：木村和代、渡辺貴子、森崎薫、村上和子
内容：・連携先、普及につなげる手段、分担、時期について検討。

11/1（土） 第２回九州ブロック（福岡） 拡大地域委員会 （オンライン）
参加： 木村和代、渡辺貴子、森崎薫、村上和子
内容：・各委員の普及活動状況の共有
12/5（金） 第３回九州ブロック（福岡） 拡大地域委員会 （博多大博通ビル101会議室）

参加： 木村和代、渡辺貴子、森崎薫、村上和子
内容：・各委員の普及活動状況の共有
・配布先ら依頼された出前講座についての意見交換

1/12（月） 第４回九州ブロック（福岡） 地域委員会（博多大博通ビル101会議室）
参加：木村和代、渡辺貴子、森崎薫、村上和子、
内容：・普及活動の最終の情報共有
・２月の全体会の報告に向けた打ち合わせ、資料作成

⑧ 九州・沖縄ブロック（福岡県以外）
8/29（金） 第１回九州ブロック（福岡以外） 地域委員会 （オンライン）
参加：高濱千夏、本多輝美、古津理恵、西村亜紀子、近澤和子
内容：・地域での情宣の仕方について相談。
・地域委員がいない宮崎は熊本で訪問、鹿児島は近澤さんがオンラインで対応を確認。

1/22 第２回九州ブロック（福岡以外） 拡大地域委員会 （オンライン）
参加： 高濱千夏、古津理恵、本多輝美、西村亜紀子、近澤和子
内容：・各県の実践の様子を共有。
・報告書の書き方や内容についても共有。

⑨ 沖縄ブロック
8/26（火） 第 1 回沖縄ブロック 地域委員会 （沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンター南部）
参加：仲程愛理、松尾暢子
内容：・地域説明会の日時・会場・役割分担等についての打合せ
・普及活動の方法についての打合せ
・配布資料の必要部数の確認・地域委員会の開催日程の確認
・試用テストの範囲、実施方法の確認

5）全体会

第１回全体会（対面開催）

日時：2025 年 8 月 20 日（水） 11：00～15：00

場所：ビジョンセンターグランデ東京浜松町 501 会議室 （東京都）

参加：運営委員：新保美香、生水裕美、鏑木奈津子、行岡みち子、平川尚子、四井恵介
開発委員：小山ひなた、倉掛彩子、
地域委員：（北海道）佐渡洋子、五十嵐宣勝
（東北）阿部恵子
（関東・甲信越）林星一、加藤あずさ、榊原樹子、藤具圭介
（東海・北陸）塚本淑恵、丹羽宏太
（近畿）覺前典文、菊井千恵子
（中国・四国）黒田明穂
（九州（福岡））村上和子、渡辺貴子、森崎薫、木村和代
（九州（福岡以外））高濱千夏、本多輝美、西村亜紀子、近澤和子
（沖縄）仲程愛理、松尾暢子
厚生労働省：左向祐太、堀俊太郎、増渕光
事務局：平本早余子、倉岡良子、鷲野奈美、高橋陽佑 参加者 計37名

議事：1、はじめの挨拶
2、本年度の事業の進め方の概略説明
3、アプリとテキストの修正点の説明
4、各ブロックでの説明会・普及活動の実施について
5、質疑・応答
6、各地域内打合せ
7、打合せ内容共有と質疑・応答
8、終わりの挨拶

内容：オブザーバーとして参加した厚生労働省参加者の自己紹介の後、上記の議事について、運営委員と開発委員で役割分担をしながら説明した。本年度の事業の進め方に続けて、完成した家計リスク点検アプリと新社会人向けのテキスト（ワークブック・参考書）を昨年度の試用テストの結果を受けて改修して完成させたこと、修正点のポイントなどを説明した。各ブロックでの地域委員の皆さんに進めていただく普及活動の普及活動に先立ち、普及活動の目的、進め方、留意点を説明し意見交換した。普及活動の参考資料も紹介した。普及活動についての検討の中で、一般用普及チラシ（A4）と一般用普及カード（名刺大）を作成することを確認した。
途中、各ブロックに分かれて、昼食交流しながら打合せを行った。
意見交換を受けて、以下の点を確認した。
・説明会の申込フォームを事務局で作成し、問い合わせ窓口を全国ネットにすることも可能。
・会場費10万円の範囲内で、運営に関わる協力部会員の交通費、説明会の運営に関わる場合、弁当代等も経費の対象となる。
・一般向けのカード（名刺大）とチラシ（A4）を作成する。
・テキスト2冊（ワークブックと参考書）と一般用普及チラシ・カードは、各地域委員会に必要部数を集約し、印刷製本したものを事務局より各地域委員会へ送付する。
・家計改善支援部会員へアプリと学習教材をメールで案内し、利用普及への協力を

呼びかけ、各ブロックの説明会の日時なども案内して、協力部会員を募る。
・各地域委員会の判断で、昨年試用テストに協力いただいた協力部会員へ地域委員会への参加を呼びかけることも可能とする。

第2回全体会（対面開催）

日時：2026年2月13日（金） 11：00～15：00

場所：ビジョンセンターグランデ東京浜松町 10F 1002 会議室（東京都）

参加：運営委員：生水裕美、行岡みち子、平川尚子、四井恵介
開発委員：小山ひなた、倉掛彩子、西村亜紀子、齊藤明子
地域委員：（北海道）佐渡洋子、五十嵐宣勝
（東北）阿部恵子
（関東・甲信越）川澄弥恵、榊原樹子、藤具圭介
（東海・北陸）塚本淑恵
（近畿）菊井千恵子
（中国・四国）今井博明、黒田明穂
（九州（福岡））村上和子、渡辺貴子、森崎薫、木村和代

（九州（福岡以外））高濱千夏、古津理恵、本多輝美、近澤和子
（沖縄）仲程愛理、松尾暢子
厚生労働省：左向祐太、菅野史佳
事務局：平本早余子、倉岡良子、鷲野奈美、高橋陽佑　参加者　計 34 名

議事：1、はじめの挨拶
2、各ブロックからの普及活動報告と質疑
3、昼食交流
4、アプリの入力データ報告
5、新たに開発中のテキスト紹介（小・中・高生用）
6、次年度の取り組み予定について
7、終わりの挨拶

内容：オブザーバーとして今回から参加した厚生労働省参加者の自己紹介の後、上記の議事について、運営委員と開発委員で役割分担をしながら進行した。各ブロックより、第1回の全体会後に取り組んできた普及活動についての報告し、参加者全員でランダムに分かれたグループで昼食交流しながら意見交換を行った。昼食交流後にアプリへ入力があったデータについて報告し、統一して使用しているキャラクターの設定について改めて参加者で共有した。新たに開発中の小・中学生向けテキスト、高校生向けのテキスト、高校生向けの参考書を紹介し、次年度以降の取り組み方針についても説明した。
各ブロックの活動報告の様子は、下記の通り。

■北海道ブロック：五十嵐委員・佐渡委員がパワーポイント資料に沿って報告した。
・四井委員に説明を担当してもらい、家計相談支援の情報交換会を兼ねて説明会を実施した。
・金銭教育や福祉教育を実践している社協さんなどから、ワークブックとテキストを使用したいという話も出ている。
・説明会後に送付希望者が16ヶ所からあった。
・説明会のアンケート結果についても資料に基づき説明し、5割以上良かったという反応だった。

■東北ブロック：阿部委員がパワーポイント資料に沿って報告した。
・事務所内で進め方を相談して、事務局でつながりのある方に案内したりして紹介した。
・説明会を ZOOM で協力員と部会員へ向けに行った。 普及活動はチラシの配布をお願いする形をメインで行ってきた。
・協力部会員がいない青森県など、東北の中で他県との繋がりができたらと思っている。

■関東・甲信越ブロック：藤具委員、川澄委員、榊原委員がパワーポイント資料に沿って報告した。
・拡大地域委員2名が加わって活動している。
・ステップアップ研修では、林委員と川澄委員で紹介した。
・神奈川県の自立相談支援に関わる支援員に向けに案内した。
・千葉県のちこねっとの学習会の中で説明会を行い、都道府県研修でも配布した。
・生活クラブの取組で、日福大のオンライン講座でも案内した。
・まつりなどで市民に配布、校内カフェでも配布し、昨年試用テストを行った高校に配布した。
・市民祭りでの配布、自治体の HP への掲載につながった例もあった。

・テキストにルビをふると外国人や知的障害の方への活用できるのではないか。
・使い方のグットプラクティスを集めて案内するとよいのではないか。

■東海・北陸ブロック：塚本委員がパワーポイント資料に沿って報告した。
・委員がいる愛知県内での取り組みになっている。名古屋市とはどう普及していくのかは調整中。
・愛知県外への働きかけは課題。
・愛知県庁、名古屋市役所は周知には前向きだが、特定の民間の活動にどう協力したらよいのかが課題となっている。

■近畿ブロック：菊井委員がパワーポイント資料に沿って報告した。
・滋賀県社協では償還支援に取り組まれており、特例貸付の支援員に紹介したら、好評だった。相談者に成り代わって入力してみると、相談に行こうという結果となり、効果があるという意見が多かった。
・家計改善支援への繋ぎとして効果があるという意見が多かった。
・外国の方へも活用するためには、ワークブックと参考書についてはルビがあるといい。

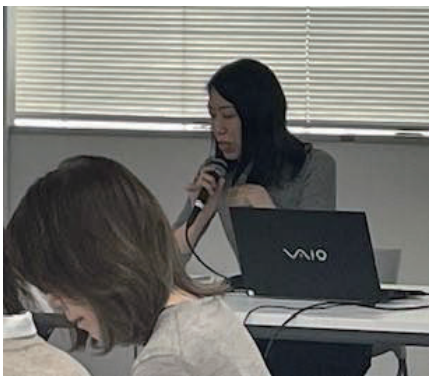
■中国・四国ブロック：黒田委員、今井委員がパワーポイント資料に沿って報告した。
・エリアの県社協と連絡を取り協力を得るようにした。
・四国には3月に徳島県に働きかけに行く。
・岡山県の取り組みとしては、県社協の説明会に参加し、県の研修などでも説明の機会を得た。
・不登校の子どもたちが通う2つの高校では、普段寝ているような生徒が積極的に研修を聞いていた。

■福岡ブロック：村上委員がパワーポイント資料に沿って報告し、渡辺委員が支援現場の工夫を紹介した。
・事業所にアプリの画面を拡大して、掲示してアプリの利用を促した。
・生保の窓口から、生保世帯の子どもの成人のタイミングで渡してもらってはどうだろうか。
・母子支援の方から、事業所のチラシを合わせて配布すると相談にもつながるのではないか。

■九州（福岡以外）ブロック：古津委員が パワーポイント資料に沿って報告した。
・分散型現場直結型で、今ある会議、例えば支援調整会議、社会福祉協議会の課内連携会議、自治体社協、地域包括への個別訪問で普及に取り組んだ。
・高校生向けの研修について、高濱委員がパワーポイント資料に沿って報告した。消費者支援機構からの紹介で高校4校に対して、説明会を、その学校の子どもの特徴に合わせて、工夫しながら実施した。対象者は 1,000 名を超えている。社協の紹介で昨年から実施している高校でも継続して実施した。

■沖縄ブロック：仲程委員からパワーポイント資料に沿って報告し、松尾委員が補足した。
・離島で支援員が少ない自治体ともできた。
・文字ばかりの人にもイラストが親しみやすいという反応があった。
・テキストの中の家計表がシンプルで親しみやすいと好評だった。
・就労支援とセットでも使いやすい。
・特に離島など小規模で家計改善支援員がいないところも家計改善支援に繋ぐきっか

けになるという声があった。



5. 資料

■8 月 20 日　第1回全体会　資料

・アプリと教材の試用テストのアンケートコメント記述内容
・R7 年度事業概要
・家計アプリと学習教材の説明会・普及活動の実施について
・説明会用チラシ（参考例）
・支援員用普及チラシ（参考例）
・地域説明会資料（参考例）
・新社会人向けテキスト（ワークブック・参考書）（確定版）
・一般用普及チラシ（※全体会後に作成・送付）
・一般用普及カード（※全体会後に作成・送付）

■2 月 13 日　第1回全体会　資料

・アプリのアクセス集計
・オリジナルキャラクターについて
・各ブロックの普及活動報告
・今後の進め方

■開発中の小中高生用のテキスト（案）

・小・中学生向けテキスト「お金の教室」とワークシート
・高校生向けテキスト「お金の教室」とワークシート
・高校生向け参考書「ひとり立ちに向けて覚えておいて欲しいお話」

アプリアンケート

⑤ 答えにくいと感じた設問があれば、何に関する設問だったか教えてください。

年齢		地域
20 歳未満	選ぶの大変だった	関東・甲信越
	お金を貯金する方法など、選択肢が少なく、自分に当てはまるものがなかった。	九州（福岡のぞく）
20～30 歳未満	普段使う支払い方法の問いで、「プリペイド型電子マネー」が分からなかったです。普段バーコード決済を使うのでどれに当てはまるか難しかったです。	九州（福岡）
	専門用語がわかりにくかった。 電子マネー（PayPay など）のように記載しているとわかりやすい。	九州（福岡）
	借金はありますかという質問はクレジットカードの分割払いを含めるのか分からず判断に迷いました。	九州（福岡のぞく）
	20 代単身のつもりで入力、特段答えにくい設問はなかった	中国・四国
	将来についての質問が漠然としていて、答えにくかった。	中国・四国
	実家に生活費を入れているかという設問が答えにくかった。理由は、実家に住んでいて、日用品の一部を購入したり、食費を一部負担しているが、それに当てはまる選択肢がなかったから。	東海・北陸
	未婚の答えを押した後に世帯人数を聞かれて実家暮らしの場合は家族を含めた人数で答えればいいのかわかりづらかった。	東海・北陸
	・詐欺についてどう思うか 家計管理とどのような関連があるのか些か疑問であった。	東海・北陸
	自己投資をしているか:それまで生活関係の設問があった中で唐突にこの質問があったことが不思議に感じた。 結果読むことに時間がかかった。	北海道
30～40 歳未満	子どもはいないと回答したのに児童手当の質問が出た	沖縄
	答えにくい質問は特になかったと思います	沖縄
	34 番の冠婚葬祭の費用について。 付き合う場合、選んでや、無理して付き合うとの欄しかないが。選んでいる感覚がない場合は？どれを押せばいいのか分からなかった。	沖縄
	実家暮らしの人がどう答えればいいのかわからない質問があった	近畿
	完済しているか、ローンはない。という答えの ▪選択肢がややこして考える時間が必要だった。「完済している」と「借家のためローンはない」というふうに別の選択肢にしてもらう方が回答するときに迷わなくてすむ。 ▪支出を減らすときになにを減らしますかという文章では、そもそもかけていない美容代を答えればいいのか、それとも実際にいつもより費用をおさえる意味で食費とこたえるのかを迷いました。	近畿
	クレジットカードの設問の中で該当するものがなかった。 また相談場所の設問が何度もあり、くどく感じた。	九州（福岡）
	2 つ当てはまたまたけど選択肢が一つしか選べない時が悩んだ	九州（福岡）

	借金について、奨学金を借金とみなすのかわからなかった。 スマホのプランについて、現状が最適な場合にどれを選んでよいか答えにくかった。	中国・四国
	運動の質問など、複数該当する質問があったので、迷った。	中国・四国
	考えていない＝ではなく、今は考えられないと言う回答が多かったです。	中国・四国
	借金があるか、の質問についてローンも含まれるのかどうか迷い答えに困った。	中国・四国
	設問 2:「無職です」を先頭に持ってきたほうがスティグマが少ない 設問 7:「借金はある。」の「。」が誤字 設問 8:「かも知れない」→「かもしれない」、「分からない」→「わからない」 設問 9:選択肢が等間隔でない(一つひとつが違う)ので答えづらい 設問 10:「借金はしない」を一番最後に持っていってもよい。「貸してくれるならどこでも」が「その他」と同じ意味合いなら、3 番目に持っていってもよい 設問 11:いきなり児童手当の設問でびっくりする 設問 12:選択肢が等間隔でないので答えづらい。「あきらめる」は最後に持っていってもよい 設問 15:選択肢が等間隔でないので答えづらい。「コンビニ」と「スーパー」は質が違うのでは？ 設問 16:選択肢が等間隔でないので答えづらい。自由記述的な選択肢がなく、どの選択肢にもあてはまらない場合が回答できない 設問 17:選択肢が等間隔でないので答えづらい 設問 18:選択肢が等間隔でないので答えづらい。自由記述的な選択肢がなく、どの選択肢にもあてはまらない場合が回答できない 設問 19:選択肢が等間隔でないので答えづらい。自由記述的な選択肢がなく、どの選択肢にもあてはまらない場合が回答できない 設問 20 以降:集中力が切れて回答が難しい　全体的に:戻るボタンがなく、訂正ができない。選択肢が等間隔でないので答えづらい。自由記述的な選択肢がなく、どの選択肢にもあてはまらない場合が回答できない。結果と自分自身の感覚が大きくズレている	東海・北陸
	公的資金で生活している。働きたいけど働けないので結果として資金内で収めるようにしているが、設問としてはモヤッとした。	東北
	36.精神的な環境について:当てはまる答えがなかった	北海道
	住宅ローンについて:既に家があるという前提での質問だったのが対象外の自分のような人間を除外しているように感じた 退職金の話があるため、高齢の方向けのものなのかと思ったら、収入の話もあり、誰を対象にしているのかよく分からなくなった	北海道
40～50 歳未満	20: 水光熱費を把握していますか 気にしたことが無いと、いくらかかっているか知らない、は同じような意味かなと思いました。毎月 明細は見てないけど、時々は見ているというのがあってもいいかなと思いました。 30: 自分の老後の生活資金はどうしますか　今から貯蓄をして老後に備えていますが、その回答 項目がありませんでした。将来の年金収入が不明でも貯蓄で生活すると考える人はいると思います。 34: 親戚や知人との冠婚葬祭のお金の付き合いをどうしていますか 無理なく付き合っている、という選択肢があってもいいかなと思いました。 選ばずとも、付き合いが特に金銭的に問題にならない人の選択肢がないかと思いました。	関東・甲信越

	◉6 番目の預貯金は?の回答選択肢「少しある」「十分ある」は金額があった方がわかりやすい。 人によって、「少し」「十分」の金額が違うため。 例として、「少し」なら生活保護申請ギリギリくらいの 5 万～10 万、「十分」なら 50 万以上など ◉	関東・甲信越
	1. 同居者について 2 人世帯の場合、子が就学年齢である前提の設問が目立った。子の年齢も回答できるようにするとよいと考える。これにより 8050 など高齢者と子の 2 人世帯にも対応できるようになる。また、同居者の年齢を回答できるようにすれば、若年齢で年配親族との多人数世帯の場合でも、同居者が子に限定されてしまうことを回避できる。 2. 支払い方法について キャッシュレス決済やオンラインゲームを利用しているかという設問が、回答者自身に限定されているように感じる。家族成員の誰かが利用し家計状況に影響を与えることを考えれば、問いの文言は修正を検討しても良いのでは無いか。 3. 収入について 選択肢が少ない。回答者が高齢者のとき、同居の子の収入（障害年金や賃金）を選択できなかった。すべての回答を用意することはできないから「その他」という回答ボタンを作ってもよいのではないか。 4. 住宅ローンについて 回答選択肢の 1 つに完済とローン無しが一緒にあるが、「既に完済している」が文頭にあるため、そもそもローンが無い場合の選択肢を見つけづらい。「ローンは無い」を文頭にしてもよいのではないか。 5. 職業について どの回答者年齢で開始しても、職業の選択肢が同一であることにやや違和感を感じる。	関東・甲信越
	回答の項目が少ない	九州（福岡）
	答えの中にあてはまる項目がないものもあった	九州（福岡）
	複数回答できないのが不便	九州（福岡）
	一画面前に戻れないのは不便	九州（福岡）
	債務の事が知らせたくないのではと思った	九州（福岡）
	17 スマホのプランについて…元々安価なプランだった場合、「安いプランに変更した」にチェックになるのか？ 25 生命保険も貯蓄もある場合は？	九州（福岡）
	クレジットカードの質問が答えにくかった	九州（福岡）
	借金をどこでするかという設問は、借金はしないのだけど住宅ローンは銀行で組んだので、銀行を選択しました。住宅ローンは借金ですが、借金に含むのか補足があるとありがたいです。 住宅ローンは組んでいますが、金融資産はあり老後に不安はありませんのでそのように回答したつもりですが、結果はもっと貯蓄、備えを増やそうというものだったので、生活困窮者対象なのでシステム上仕方ないのかなと思いました。	九州（福岡）
	24‥スマホ決済があると良い 35‥複数回答の人がいそう 40‥社保加入の人はどれを選ぶ？「入っていない」は、「国保に入っていない」人が対象だと感じ取れる。	九州（福岡）
	1 つ前の設問に戻りたいが戻れない。 問の選択肢の最初に借金など持ってこない方がいいかとおもう。 支払いに関することなど設問に応じて項目を増やした方がいいとおもう。	九州（福岡）
	借金の設問で、住宅ローンも含むのか気になった。 含まれると思いありにしたが、その後住宅ローンの設問だったので、借金の設問に住宅ローンが含まれるか書いたほうがいいと思う。 設問数が多いなと感じた。	九州（福岡のぞく）

	債務の有無等はじめにくるより設問の順番を考える。 選択がひとつしかできない、収入＋援助等選択が増えると良い。 クレジットカードはポイント付加の為に良く使う。今はポイ活している人も多い。	九州（福岡のぞく）
	してない住宅ローンを聞かれた。	中国・四国
	Q38 設問の回答で、どこあるか⇒どこにあるか になるとさらにに良いと思います。	中国・四国
	複数に該当しても単数回答のみ(保険と貯蓄等) 戻れない かなり長く 30 問以降はテキトウになってしまった	東海・北陸
	・寡婦である場合、「子どもはいますか」という設問が未成年者限定であると捉えにくいとの意見があった。 ・未成年者、若年者が回答者の場合、用語の意味(リボ払い、扶養、クーリングオフ等)がわからないので 1 人では答えられず先の設問に進めない状況があった。また読めない漢字もあった。外国人も同様でないか。 ・1 つ戻る機能がなく、途中で間違いに気づいても直せない。	東海・北陸
	どの設問か覚えていないが、選択肢の中に該当するものがないものがあり、回答につまることがあった、	東北
	6 つの大きな項目に分かれた設問というのはなんとなく理解できるが、設問でテンポ良く選択していくと急に違うテイストの設問が来て立ち止まることがあった。項目ごとに1枚画像を入れたりすると良いかも。	東北
	カードの利用について、同じような優先順位のときにどれを選んで良いか困った（手数料とポイントを計算して利用を決めている）	北海道
	選択肢から選べない質問があった 近そうなものを無理矢理選んだ	北海道
	疾病により生命保険に加入できない場合の選択肢があれば	北海道
	離別より離婚がいい。 基盤となる収入、進学の心配、質問には当てはまる解答が無かった。	北海道
	保険の意味がわからない	北海道
50～60 歳未満	・スマホのプランは高くないので変更しなくていいんですが、その項目がなかった。 ・複数項目に当てはまる場合、どちらを選んだら良いか迷った。 ・沖縄県では町内会がないところが多い気がする。	沖縄
	いくつか、選択肢がなかった設問があった	関東・甲信越
	かなり上がった質問もあるので、個人情報の 取り扱いについて、相談員には答えがわからないことを予めトップ画面で周知出来ると助かります。	関東・甲信越

	・2:ご職業を教えてください　公務員や契約社員、派遣社員などは設問に答えにくいのでは。高校生と大学生に分けているのもなぜなのか？大学院生は選べない。そもそも学生は職業？ ・4:同居中の子ども　別居中の子どもは不要？診断にどう影響するのか？ ・7:生活の基盤となる収入は何ですか　「公的支援のみ」の中に障害年金など年金も含めては ・27:万が一の事があった時のための準備をしていますか　貯蓄も生命保険に加入している人もいる場合は選択肢がない ・29, 30:頼れる人がいるか　複数の頼れるところがあるのに一つしか選べず、公的機関を選ぶと、もっと友人知人を頼ったほうが良いと出るので、選ぶのに悩ましい項目だ　全体的に「家計のみちしるべ」とあるのに、家計以外の質問があると戸惑うように思いました	関東・甲信越
	・シングルですが、子どもは巣立っている年代などに対応できる回答がありませんでした。 ・未婚で一人暮らしの設定でも児童手当の選択肢がでてきました。 ・水光熱費について、毎月明細を見るときにしたことがないの中間の選択肢がほしい。	関東・甲信越
	何かあった時に相談する人がいますか？の問いで友達の他に家族も入れたかった。	九州（福岡）
	クレジットの支払の質問 毎月の支払額は考えますがリボにはしませんので答えに困りました	九州（福岡）
	将来いつ頃までの生活を……の問題 20 年後、30 年後も欲しい	九州（福岡）
	その他の選択肢がないので、当てはまらない場合の入力に困りました。	九州（福岡）
	知らないのか、知っているが利用してないのかが選べなかった。 子どもが社会人での一人親の収入欄がもう少しあると良かった。	九州（福岡）
	どっちかな？と悩む質問には答えにくい。 質問を減らして、1 から 5 の段階で選べたりすると更に自分の現状に近くなると感じました。	九州（福岡）
	親戚、知人の冠婚葬祭の質問で、質問の意図がわからず答えにくかった	九州（福岡）
	住宅ローンが無いのに、質問に上がってきた。 介護保険料の質問。	九州（福岡）
	・欲しいものがある時どうするかの問いに、「余裕があれば買う」とあった方が良かった。 ・国民健康保険や介護保険が払えなくなった時はどうするかの問いは、社会保険の人は戸惑うと思う。	九州（福岡）
	ゲームに課金をするかの質問の答えが、 課金はしない ゲームはしない となっていたので、つい『課金はしない』を選びましたが、良く考えたら『ゲームはしない』でした。 戻るアイコンが見つからず、そのまま進みました。	九州（福岡）
	質問が多すぎて内容を忘れた。 子供はいるが、成人しているため答えづらく過去のことで入力した。	九州（福岡）
	離婚後　一人親で子どもを育てたが子どもが成人してそのまま同居している場合の状況を選択する項目がわかりにくかった。	九州（福岡）
	公的保障:第 3 号はどれを選べばよいかわからなかった	九州（福岡）
	選択肢が少なく答えようがない この程度で、自身の金銭感覚を評価されるのは心外です。	九州（福岡）

	16　クレジットカードを使うとき、何を気にしていますか→手数料がかからないに〇を付けましたが、更にポイントが高いものを使っているため、どちらにしようか迷いました。 23　家計が厳しいとき減らす支出　どれか判断が難しかったです。結果でもどれを減らすのがいいのかアドバイスがないため、なぜ聞かれたのかと嫌な気持ちで終わってしまいました。	九州（福岡）
	25 はどっちもある場合は？28 がちょっと唐突。29 の住宅ローンに特化した聞き方の意図は？	九州（福岡のぞく）
	10.お金が足りない場合の相談先に家族(私は夫に相談する)を入れてはどうか。 11.該当しない人も多い。 16.請求時に支払えるかを考えてから使う。 26.複数備える人もいる。 29.賃貸の人の選択肢。 35.複数選びたい。	九州（福岡のぞく）
	複数回答があってもいいと思う質問があった	九州（福岡のぞく）
	設問 9:家賃や自宅の費用の支払についての、「自宅の費用」とは何のことなのか？　設問 10:銀行や会社、「消費者金融」も入れてはどうか？　設問 20:毎月明細をみている。 →毎月ではない人もいるのでは？文章の前に 「ほぼ」「大体」とかを入れてはどうでしょう？	九州（福岡のぞく）
	40 番の答えがない	九州（福岡のぞく）
	6 の「預貯金等はありますか」は、「借金しかない」の後に「ほとんどない」が続くので、借金がほとんどないという意味？と少し頭が混乱しました。逆に「十分ある」から始まった方がわかりやすいと思います。	九州（福岡のぞく）
	選択肢で、自分にあてはまらない設問があったので、「その他」などで具体的に書けるといいなと思いました。	九州（福岡のぞく）
	・テレビショッピングや訪問販売を利用しますか？⇒必要かどうか考えて時々利用する。 ・病気やケガの時の費用はどうしますか⇒金融機関等に借入相談する。 ・家計が厳しい時、減らす支出はどれですか⇒その他（※項目が無い時）	中国・四国
	ギャンブル依存がある利用者の状況で記入しました。ちょっと誘惑に負けちゃう程度ではないのですが・・・	中国・四国
	国保や介護保険の滞納に関しての設問がよくわからない。	中国・四国
	38 問窓口利用　そもそも窓口知らないのでは?若い世代は。窓口知ってる?を質問へ入れる意見です。	中国・四国
	生活費が足らなくなったらどうしますか？ ⇨項目に無い場合　暮らしや仕事に困った時の相談窓口を利用しますか？ ⇨利用した事がないので分からない。	中国・四国
	⑫の設問は回答しずらい。時々利用などもあれば	中国・四国
	19)オンラインゲームだけでなく、投げ銭やサブスクなどスマホを使った課金に対しての回答項目があればいい。 34)無理のない範囲でお付き合いしている場合の回答項目があればいい 27)相談者の中には、どの保険に入っているか分からない方がいる。	中国・四国
	回答の選択肢が足りない質問があった。	中国・四国

	テレビショッピング訪問販売:テレビショッピングは電話をかけてしてしまう、というのも断れないに含まれるのか。訪問販売はあまり来ないが電気契約なども訪問販売なのか。ネット広告のタップは含まれないのか。。など考えてしまい、他の設問より反応にやや戸惑った。 ギャンブル、課金:ときどきやる、時々つぎ込んでしまうはどれだろう、と思った。 日用品の買い物:スマホ端末決済も含めた選択肢。 趣味:趣味はない、以外の選択肢の相違が、瞬時にはわかりにくい。 遺族年金:なぜ聞かれるのか、唐突感があった。	東海・北陸
	11 の設問で、以前の設問で子どもはいないと回答したのに児童う手当の使い道を聞かれて戸惑った。 17 の設問で、スマホは最初から格安プランを使っている場合の選択肢が無い。 28 の設問の「将来についていつごろまでの生活を考えていますか」の意味が分からなかった。また、34 の設問の親戚や知人との冠婚葬祭のお金の付き合いがどういったものか分からなかった。	東北
	10 児童手当がどこに入るかわかりません。 17 ギリギリでやっているので減らすものがないです。 20　当てはまる物が無かったです。	北海道
	離別で子ども 3 人と暮らしているが、既に成人した子供であり、ひとり親関係の設問は今の自分の状況と合わなかった。30 番の子どもが具合悪い時どうするか？については既に成人している子どもなので、どう答えていいかわからなかった。 子どもの年齢や、子どもに収入があるかどうかの設問があっても良いのではと思いました。	関東・甲信越
	24…スマホのコード決済、携帯合算決済(d 払いや au ペイ)などの項目もあるとよいと思いました 30…基本年金出入がベースになるけれど、年金だけではたぶん厳しいので、貯金を切り崩すと思うと回答したかったです。	関東・甲信越
	支払い方法で現金とクレジットカードの使い分けをしているので、両方選べると良い。	関東・甲信越
60～70 歳未満	設問によっては複数回答ができた方が良い。 町会などの設問では町会自体が地域にないところもあり、回答の項目を増やした方が良いと思いました。 年代はもう少し細かく、職業ももう少し選べた方が良いと思います。 相談先についてどんなところがあるのか回答者へのヒントにもなるので、もう少し相談機関を回答に入れても良いと思いました。	関東・甲信越
	・60 代後半ですが、15 年後まで考えていてます。 このような場合の選択肢はないようです。 ・介護費用の事も設問してはいかがでしょうか？	近畿
	①こどもとの同居は、扶養しているこどもを指しているのかどうか迷いました。子ども世帯と同居で孫もいるけれど、入れるか入れないかを迷いましたが、家計は別なので子ども世帯は入れませんでした。成人して収入があってもこどもなので、目的によっては、扶養しているこどもがいるか？の設問の方が良いのかもと思いました。 ②老後の生活の選択肢は、年金と貯蓄や、年金と個人年金など、備えは色々あると思いますので、選択肢を少し増やすか、選択肢の文言を、備えが充分、備えがある、備えが不十分、備えてない　というようにするのも良いかなと思いました。	九州（福岡）
	⑺ 養育費の項目がなかった	九州（福岡）

	・医療費支払いは「現金」、「ペイペイ」もあったらいい。 ・親族との付き合いは「時々」が欲しい。 ・複数回答もあるといいかな。	九州（福岡）
	支払いに今のところ困ったことが無いため、わからない。	九州（福岡）
	預貯金は少しでも預貯金なのか例えば車費用など使うであろう経費を予備費も預貯金なのかと預貯金とはと考えてしまいました 自分が倒れたとき今は家族がいるで答えましたが明日がわからないので返答に悩みました。	九州（福岡）
	設問 34 遺族年金について 制度についてはよく知っているが、金額となると遺族基礎年金についてのことなのか？ 遺族厚生年金もあるので、そのあたりが分かりにくかった。	九州（福岡）
	遺族年金についてとあったが、夫が国民年金の場合答えにくい 支払い方法はバーコード決済などチャージ決済の判断が現金で良いのか迷った 複数ある、とは2つの場合も複雑？と感じる	九州（福岡）
	自分には関係のない設問もある。 子どもは自立しているので子ども関係はいらない。スキップ機能があればよい	九州（福岡）
	選択肢にどれも当てはまらないときがありました。 一番近いところでチェックしましたが。	九州（福岡）
	先の答えにそぐわない選択肢しかない設問がある。	九州（福岡）
	25,26,35 など、選択肢が足りないと感じた。30,32 など、一つではなく複数選びたいのに、一つしかえらべなかった。	九州（福岡のぞく）
	婚姻の離別を選択すると、ひとり親としての設問になり、過去を振り返っての回答になりました。	九州（福岡のぞく）
	職業に公務員や団体職員がない、 支払いにポストペイ型電子マネーがない	九州（福岡のぞく）
	35 番とか扶養なので答えられない	九州（福岡のぞく）
	複数回答出来ないので困った	九州（福岡のぞく）
	支出が多かった時にどうするか という質問があったと思いますが答えに困ったかな	中国・四国
	高齢で入力、こちらも答えにくい設問はなかった	中国・四国
	・設問数が多くてどこまであるのかな？と思った。何問あるか、初めに分かっていたら心づもりできます。 ・相談できる人がいるかというような項目は、できる人がいても敢えてしないこともあるので、選択に困った ・ずっと低収入なので老後のことはずっと心配。答えにくかった。	中国・四国
	全体的に、ひとり親にとっては一般的な設問はとてもわかりにくい。	中国・四国
	将来についての設問は、考えたくないから、質問項目に「無関心」を加えて下さい 家計が厳しい時、削る所はどこですか？について、これ以上 節約する所がないので 回答しょうがなかった	中国・四国
	子育て中心の方が対象と感じます。 設問に当てはまる項目が無い場合も有りました。 世帯人数が多い少ないはあると思いますが、生活費ば収入がある人全員が出してる項目が無かったように思います。	東北

	年齢的に仕方ないが、現役で就労しているため、年金はもらえない。 選ぶ枠がなかったのは😅寂しいですね。 高齢者扱い🤣に差別を感じます。	東北
	⑪㉔㉕㉚の設問が子供がいることの前提だった。 ⑬カードの使い方がキャッシングなのか後払いなのかわかりにくかった	北海道
	答えに該当なしの物があった 子供が既に大きくなっているので返答出来ない	北海道
	保険について把握していますか、のしつもんが漠然としていて分かりずらい 一人暮らしと答えたたのに、遺族年金について知っていますか、と質問された	北海道
	将来について、20 年後のことも考えているが選択肢になかった。	北海道
70 歳以上	支払い方法については複数回答ができるとよい。複数の支払い方法を使っている。	関東・甲信越
	将来像が見えないとこ…があるため、答えられないところがある	関東・甲信越
	設問 27 お金に困った時は誰に相談しますか？　自治体の相談窓口とは、生活困窮者自立支援以外にはどのような窓口を想定した設問でしょうか？	関東・甲信越
	少なくない設問の回答に自分の気持ち、状況にフィットするものがなく、答えづらかった。回答の選択肢を増やす必要がある。	関東・甲信越
	お金の貸し借りについて、借りるだけ借りれるだけ借りていり場合の選択肢がない。 家計の節約する場合の選択肢で複数選びたいが、一つしか選べない。 親族との付き合い方で、普通に付き合っていり場合の選択肢がなかった。	中国・四国
	属性のところで選択に迷った。もう少し具体例があると迷わなかったと思います。	東海・北陸
	終活について	北海道
	字が小さくて見づらい	北海道
無回答	地域委員〇〇です。相談者からの意見です。よろしくお願いします。 設問：子どもの進学について心配がありますか ⇨ある、という答が無いので選びにくい 支援してくれる人はいますが⇨元夫が養育費はくれないが、時々支援してくれる。それが当てはまる項目が無く答えにくい 相談窓口を知っていますか⇨知っている、ではなく「広報を見て知っている」しか無い。ネットなど情報源は様々では無いか。 結果で日常生活支援の項目⇨カードは持っておらず、使って無いのに「カードの利用は控えて」のコメントが出た、という方が 2 人いらっしゃいました。	九州（福岡）

⑥ その他ご意見

年齢		地域
20～30 歳未満	戻る選択があると良いと思う。 最後に一覧で確認したい。 結果を自身で保存できるようになると助かる。	沖縄
	わからないっていう選択肢を真ん中にあると、よくあるアンケートとかと同じ感じになるのかなと思いました。	沖縄

	遊びや後輩におごったりすることで浪費しがちなところは自分でも何となく感じていましたがこれを機に改めて気をつけようと思いました。質問数が少なくサッとできたのでよかったです。	関東・甲信越
	結果グラフの項目(情報把握など)が、人によってはイメージしづらいかと思う。せっかくなら、リボ払いのデメリットなど簡単にでも金銭教育できるといい。	九州(福岡)
	選択肢を選んでも反応しないことがあった。　意味がわかりにくい質問があった。	九州(福岡のぞく)
	アンケートに答えるとプレゼントがあるよとかあれば回答数が増えるのかなとみんな答えると思います。 何もなかったら途中で辞める人も居そうだと感じました。	九州(福岡のぞく)
	誤って選択した際に、前の設問に戻れるようにできたら良いと感じた。	中国・四国
	質問がわかりやすくて答えやすかった。ただ設問が具体的な内容であるにもかかわらず結果の内容が曖昧な表現だったのでもう少し詳しく書かれているほうがいいのではないかと感じた。	東海・北陸
	回答とその結果から出た数値(評価)がどのような経緯なのかわからない	東北
	日本語がところどころ怪しい部分があるのと、ブラウザバック出来るとありがたいです。	北海道
	戻って回答が出来ると間違えてもやり直せるのでいいかなと思いました。	沖縄
	前の質問に戻るボタンがあるといいと思います。	関東・甲信越
	もっと家族や友人とつながって支え合える関係を作ろうと、アドバイスが出ましたが、どこどこに相談場所があるよ、など具体的なアドバイスや誘導をしてもらえるとよいと思いました	関東・甲信越
	問題数が多くて途中で飽きてしまった	関東・甲信越
	結果をみても相談に行った方が良いのか分からなかった。 パーセンテージで表してほしい。 文字では分かりにくい。	九州(福岡)
	web だからしてみたけど、この結果を得るためにアプリとして自分の携帯にダウンロードしようとは絶対にみんな思わないと思う。	九州(福岡)
	設問で日本語がへんな項目がいくつかある。	九州(福岡)
	結果で相談できる人のところが、あんまりしっくりこなかったけど、 気づいてないところや、改めて考えるきっかけになると思いました。	九州(福岡)
	スマホだとうまく動かなかったので、対応 OS 等の情報が知りたいです。	中国・四国
	診断結果で、「もっと改善が必要だよ」や「弱いところ」などの文言は受け手によっては、不愉快に感じ、モチベーションの低下につながる可能性があると感じた。	中国・四国
30～40歳未満	戻れない 回答後に回答の一覧が見たい 回答画面に結果に応じたオススメ支援機関の一覧が欲しい	北海道

	・戻るボタンが欲しい。答えを見返したい。 ・質問や結果のグラフをみて、現実を直視するのがきつい。 ・あとどれくらいで終わるのか（あと半分とか）分かるとよい ・コメントで、もう少しお金のことを考えることをお勧めすると出てきたが、そんなことわかっているという気持ちになった。 ・診断をして、次どうするのかがわからない。結果に〇〇に相談に行くと良いなど書いてあると次に繋がると思う。 ・コメントの内容をもう少し細かく書いてほしい。もっと分析を深くしてコメントしてほしい。 ・スクロールを減らしてほしい	北海道
	戻って回答をやり直したい。	北海道
	アプリに入れませんでした アンケートページも文字にイラストが重なって読めない部分がありました	沖縄
	1.「前に戻る」ボタンが欲しいと感じた。誤って意図しないボタンに触れてしまった場合、次のページに進んでしまい、訂正ができない。ページ数が多いため初めからやり直すのも億劫に感じる。 2. 診断結果の文章が口語調すぎるきらいがある。身近に感じてもらうための言葉遣いと思うので悩ましいところだが、もう少し推敲してもよいのではないか。 3. 回答中の「しんちょく」が画面の下にあり、小さめサイズのスマホでは一つの画面に表示されない。あとどれくらい回答するのか直感的に把握できないため作業にやや徒労感が残る。 4. 回答時間が計算されているようだが、何に反映しているのかわからず気になる。	関東・甲信越
	診断がだいたい合っていて面白かったです。	関東・甲信越
	押し間違えた時があったので、戻るか、最後にもう一度確認ができるようなシステムがあるといいと思いました	九州（福岡）
	この位のことをするためにわざわざアプリをダウンロードするだろうか？アプリではなく今回のような WEB 版のままにした方が多くの人が使おうとするのではないか。	九州（福岡）
	診断の後にもう少し具体的助言がないと意味がない	九州（福岡）
	よく分からなかった。 アドバイスの内容がイマイチよく分からなかった。	九州（福岡）
	質問が多すぎて途中から疲れてくる	九州（福岡）
	・複数回答でもよかった設問があったような… ・課金はゲームだけではないです。設問で何を求めているのかを考えたら、返答に迷いました。私は電子書籍に課金してしまっています。でも、ゲームではないので「していない」を選択しました。	九州（福岡）
	質問が多くて、皆さん最後まで回答して下さるかな?との不安はありますが、選択肢が分かりやすく答えやすかったです。	九州（福岡）
	設問が短くて良かった	九州（福岡）
	●パケット通信料の兼ね合いから、使用端末が気になります。 相談者本人‥まず無理だろう 支援員の個人スマホ‥違うと思う 業務スマホ、タブレット‥全て持ち出されている時がある ●診断結果が、相談者の精神状況（疾患含）を悪化させる可能性も感じます。	九州（福岡）
40～50歳未満	家計診断アプリとのこと。 よりよいものにできるようにするために頑張ってください。	九州（福岡）

	答えにくいことはなかったが、家計改善に関わっていると、正解な道筋に寄ってしまうのではないかと思っていたが、それなりの回答結果になったのではないかと思った。	九州（福岡のぞく）
	アプリ利用結果により、事業を利用した方が良いのか、案内があったほうが良いと思います。	九州（福岡のぞく）
	診断結果のところで、左下に総合評価が出てくるんですが、表か？グラフ？とかぶって下の文字が見えません。評価の部分をずらせるとか別々に表示があるといいなと思います。	九州（福岡のぞく）
	20 問目でまだあるの？と思い、30 問目でもう無理と思いました。 間違えて回答してしまったときに戻れないので、やる気がなくなりました。	中国・四国
	楽しく家計診断できました。ありがとうございます。	中国・四国
	途中から疲れてきた。	中国・四国
	URL に poor と入るのは避けたほうがよいと思う 全体の効果がよくわからなかった	東海・北陸
	ひとつの設問に対して複数回答が出来るといいなと感じました。	東海・北陸
	・上記も踏まえて、基本的には支援者とともに利用するものであると思う。それであれば適切な支援につないでいただくために有用であると思う。 ・ 相談者に対しては、用語の解説のリンクがあるのはどうか。また、サイト利用後により具体的に今後どのような行動をとればよいかわかるとよいと思う。 ・支援者に対しては、 集めたデータをどのように活かしていくかなどのビジョンを示すとより協力が得られるのではないか。 ・(このサイトでも困窮システムでも構いませんが)属性以上の統計がとれると今後の支援の指針となるのでよいと思う。障害保有率や傷病名、債務総額や公租公課滞納の詳細、債務保有のきっかけや原因など。対処的な支援だけでなく、更に予防的支援を行いたい。 名古屋市塚本	東海・北陸
	診断中は戻るボタンがほしい。	東北
	アプリ自体はすごく良い物に感じたが、この個人情報は何に使うの？と聞いてくる人がいそう。アプリの利用目的、個人情報の扱いは相談員がきちんと理解して説明できるようにしておかないといけないと思った。	東北
	戻るボタンがあると助かると思います	北海道
	面白かった	北海道
	字が小さい 戻るボタンがほしい 選択肢に当てはまるものがない時がある	北海道
	簡単な質問で自分のお金に対する考え方（傾向）がわかるので、楽しくできた。	沖縄
	全体の設問数がわからないので、回答進捗がみえない。 いつ終わるかわからない。	沖縄
	設問が的を得ていて、良いと思います。 出来れば、今のタイプと設問数の少ない簡易バージョンがあると、より現場での使い勝手が良くなると思います。	関東・甲信越
50～60歳未満	・回答し直したいときに、戻ることができると良い ・結果の根拠がよくわからない感じがするのと、なんとなく上から目線のように感じる気がします	関東・甲信越

	評価2の消費行動で賢くならなおと と誤字がありました。	関東・甲信越
	複数答えたかったが、1 番上にチェックしたら次に行ってしまった。 自分がどのように答えたか振り返りたかったが、どこがイマイチだったかもみたかったが、できなかった。	九州（福岡）
	2つくらい選べたらいいな と思いました。	九州（福岡）
	設問がちょっと多いと思いました。	九州（福岡）
	アンケート好きの私は面白かったが、一般には設問が多いかなと思った。	九州（福岡）
	設問数が多いと言う意見が多かったです。あと何問あるかわかるとやる気が出そうです。	九州（福岡）
	将来について何年先まで考えているか の質問で、漠然としすぎている感じがしました。 もう少し、絞り込むのは難しいでしょうか。 例えば、将来のお金についてとか、将来の生活計画についてなど。	九州（福岡）
	コピーの意味がわかりません。 回答をみんなにシェアする。とはどこにシェアするのですか。 カード利用していないのに、使っているような診断があった。おかしい	九州（福岡）
	携帯ですがアプリを読み込めなかった。他の携帯電話で対応した	九州（福岡）
	正直遊び程度の診断にしか思えないので、評価については慎重にしたほうが信憑性があると思います。	九州（福岡）
	前回、1 月 21 日、アプリの評価で良くないにしました。占いの結果のように感じ、当てにならないかな、と思ったのです。 翌日、結果がよみがえり、自分の弱いところを確かにそうだったと感じ、買い物の仕方を考え直さなくてはと反省しました。 時間が経ってから、効果が出る道しるべ診断かもしれませんね。良いアプリだと思いましたので、感想を書き変えます。よろしくお願い致します。	九州（福岡）
	やはり少し質問が多いように感じました。	九州（福岡のぞく）
	アプリの画面に「しんちょく」と記載があったが、生活困窮者の方で「進捗」の意味はわからないと思うので、右側に「スタート」左側に「ゴール」などにした方が良いと思った。	九州（福岡のぞく）
	全体的に字が小さく、老眼なので見づらく感じました。 最初、質問がわかりづらかったです。文字の色や大きさを変えると印象が変わると思います。	九州（福岡のぞく）
	設問の答えが複数の時もあった。 前の設問に戻れなかった。	九州（福岡のぞく）
	少し、とか多い少ないの表現が曖昧だと感じた	九州（福岡のぞく）
	結果の文章に、「でも」と書かれていることが多く、否定されているように感じた。	九州（福岡のぞく）
	最後の評価のところで、注意した方が良いことなどなどアドバイスが表示される。 相談者がいないまたは相談窓口を知らないを選択した人に地域の最寄りの窓口の案内が出ると良いと思います。	九州（福岡のぞく）
	勢いで間違って選んだとき、前に戻れるといいと思いました。一度間違えてしまうと、気持ちが萎えてそのまま続ける気持ちにならないかもです。	九州（福岡のぞく）

	設問に答えた後、違ったなと思って戻るボタンを押したのですが、戻れませんでした(グーグルが閉じてしまう)。戻れるといいなと思いました。	九州（福岡のぞく）
	・戻るボタンがあっても良いかもしれません。	中国・四国
	一般公開、一般利用されるアプリ。設問結果が、よくない人は、各自治体、生活困窮者支援、家計改善支援に、つながるようにできないかな？と考えます。	中国・四国
	自分の家庭における立場として、お金についてタッチしている部分が少ないので、家庭内で使用した方が良いかなという印象を持ちました。	中国・四国
	家計と言うととかく難しいイメージがありますが、気軽にやってみようという気になるのが良いと思いました。	中国・四国
	設問回答後に戻る機能があればなおよいと思う。	中国・四国
	キャラクターと共に楽しみながら、回答出来ました。 質問の内容に世帯に対してか個人に対してかを具体的に記載があればいいと思いました。 診断結果から「家計の見直し参考書」へのリンク貼りや、各回答に関する具体的アドバイスがあるといいと思います。 診断結果の内容に誤字が見られました。 回答後、前の質問に戻れないため、誤ってボタンを押した場合、最初からやり直りになるため、戻れたら時間の短縮が出来ると思います。	中国・四国
	質問数はちょっと多いと感じました	中国・四国
	回答に『該当なし』があるといいと思います	東北
	22 の食事についての設問に、「もらいもの、食べない」などの選択肢も必要だと思った。 23 の家計が厳しい時に減らす支出について、病院や介護サービスなどを挙げる方もいるので選択肢にあっても良いかなと思った。 35 の健康維持のためにしていることの選択肢にスポーツジムやヨガなどもあったら良いと思った。 このアン―ケートの最初の問い、「あなたの地域を選んでください」は「あなたのお住いの地域は？」などとして、解答欄のブロックの表記は無い方が自然だなと思います。	東北
	前の質問に戻りたいとき用に戻るボタンがあるといいと思いました。	北海道
	クレジットカードは使わない！と選んだつもりだが、最後の結果でクレジットカードを使い過ぎている。と出てきた	北海道
	質問の内容と答えた内容が診断結果と違うように感じた。	北海道
	楽しくできました。	北海道
60～70歳未満	全体的に、「その他」という自由回答欄があってもいいかと思いました。	関東・甲信越
	内容がとても分かりやすく 難しい用語もないのが良かったです。	関東・甲信越
	自分のデータの URL をコピーするところまではわかりましたが、どうやって見るんだろう？と戸惑いました。回答結果をどうやって保存するのかについて、もう少し指示があってもよいかと思います。例えばメールで飛ばしてくださいとか、URL を保存してくださいなど。自分のスマホで操作するか、窓口の端末で操作するか？によっても違ってくると思いますが。。	関東・甲信越
	年齢に合わせた質問やそれに対する結果が出てきて、なかなか興味深かった。	近畿

	イラストが可愛くて楽しく対応できました。	近畿
	スムーズに使えて、若い方から高齢者にも使いやすいアプリだと思いました。	九州（福岡）
	診断結果があまり納得いかなかった	九州（福岡）
	診断後の対処法が、具体的に分かれば活用する気持ちになると思いますが、診断で終わると、「それは、分かってるし!」となりそうです。	九州（福岡）
	貯金など残高を数字として入力した方が良いのでは。回答者はまああるとしても、一般的にはあるとは言えないのではないか。	九州（福岡）
	答えづらさはあるものの、客観的に自分の状況を知ることができた、概ねちゃんと評価されてると感じました	九州（福岡）
	前に戻る機能がほしい	九州（福岡）
	子どもがいない世帯でも児童手当の設問がスキップ出来ないし、ゲームでも無理の場合をどうするかがあると思います。	九州（福岡のぞく）
	はじめに年齢区分を回答して婚姻を回答するならば、子どもが成人しているので設問内容が現実にそぐわない印象でした。	九州（福岡のぞく）
	あなきちくんが上からの評価で嫌な気持ちになった 頑張ってるのにこれ以上なにができるか？と思う。	中国・四国
	アプリ利用者の対象が不明。	中国・四国
	アプリを使える年齢層向けの文言だと感じました 親しみやすさを狙ったと思いますが、ある程度の年齢層にこの言い回しが受け入れられるか？と思ったので、年齢区切りで展開するのも良いかもです	東海・北陸
	とても参考になりました、ありがとうございました。	東北
	字が小さくてスマートフォンでは見にくい	北海道
	戻るのボタンがンなかった。	北海道
	文字が小さい 配色が見にくい 設問が字が見にくい色など 設問がと答えの欄の大きさバランスが悪い	北海道
	ここまでの作成、お疲れ様でございました。 問題数が多いと感じましたので、この情報に強い関心がないと、最後まで行きつかないのではないかと気になります。	北海道
70 歳以上	とても面白く回答することができました。	関東・甲信越
	選択肢の並びが、肯定的からと否定的からがそれぞれまちまちであった。	中国・四国
	とても良いと思いますが、評価から如何したらよりよくなるのか考えたいと思いました。	東海・北陸
	戻るボタンがほしい。 文字が小さい。 設問が多い。	北海道
不明	回答時、『借金』に住宅ローンが含まれるか迷った	関東・甲信越

アンケート記述内容

⑤ 答えにくいと感じた設問があれば、何に関する設問だったか教えてください。

36番の質問で、クレジットカードを利用しない場合答えにくいと感じた。
9問目くらいの主語がわからない。
NISA,idecoの認識の有無を問う問題の選択肢にあった複数の「知っている」の基準が曖昧だった。「名称だけ知っている」という選択肢をつけても良いのではないかと思った。一方他の金融制度を問う問題に関しては「名称だけ知っている」という問いがあったので良いと思う。 また預貯金の量に関しても基準が曖昧だったので具体的に何万円かという選択肢にした方がいいと思った。調べず気軽にできるという目的であえて基準を曖昧にしているのかと思ったが、人によって預貯金の量を多く感じるか少なく感じるかの基準は異なるので何らかのデータを参考に具体的な基準を定めるべきではないかと個人的に思った。
お金の貸し借りの設問と、信頼出来る人の設問が自分に当てはまる回答がなかったです。
クレジットカードの支払い方法に一番多い選択肢を聞かれたが、クレジットカード自体を作っていないので「どれもおなじ」を選んだが、解答に迷った。
ニーサやイデコを知っているかを問う設問で、名前だけ知っている場合何に当てはまるのか疑問で少し答えづらかった。
家賃についてなど、親が管理しているのであまり分からない
携帯料金の選択肢が、大雑把で選べる項目がない。
最初の質問の主語が自分なのか家庭の状況なのかわからなかった
事前に知識がないと設問に答えることができないような難しい言葉が多いと感じた。
質問が端的すぎると感じる部分があった 例えば、何年後の将来を考えているかという設問では、何年先のライフプランまで考えているか、という質問の方が分かりやすいと感じた
質問をそれぞれの年齢別に用意した方がわかりやすいと感じました。
収入や貯蓄について、家族と同居している場合やアルバイトをしていない場合の選択肢がなかったため、答えにくかった。
世帯の意味がよく分からなかった。
世帯や扶養など言葉の意味が分からなくて答えにくい問題があった。
生活費の支払い方法について、「QRコード決済」が選択肢になく、わかりにくい。［QRコード決済（残高払い）/（クレカ払い）の選択肢を分ける等］ 困ったときに相談できる窓口の「困ったとき」が抽象的すぎてわかりにくい。［資金繰りに困ったとき、衣食住に困ったとき等］ 「貯蓄する余裕がないのに投資するべきか」について、投資の内容によって回答も変わるため答えにくい。［グロース/バリュー、積立/一括等］
選択肢に当てはまらないものがあった
貸さないが借りる、と借りるが貸さないという同じ選択肢があった
大学生などの実家住みの人の場合、収入とかをどのように答えればいいか分からなかった。
貯金がある、衝動買いをすらなどの設問。どの程度の金額なのかが曖昧で答えにくかった。
投資のやつ
日本語がおかしいと感じる箇所があった
日用品の購入は、家族で住んでいた場合家族全体としてなのか、私個人としてなのかが分かりづらかった。
片親が単身赴任でも世帯人数には含めるのか一瞬悩みました。何かしら注意書きがあるとなお丁寧なように思います。
夢とかありますかってどの次元の話してるのか分からなくて戸惑う
戻るボタンがない。高校生用の設問は良かったが、大人対象の設問については自分の状況とマッチする選択肢がないものも多かったため、結果にいまいち納得できない部分もあった。
友人とのお金の貸し借りについての質問で、貸さないけど借りる。と借りるけど貸さないがあり、同じ意味の答えがふたつあった
友達の貸し借りのところで頻繁に程でもない(数ヶ月に１回飲み物など必要費用を借りるなどする)が全くしていないわけでもないので中間の回答が欲しいと思いました。

⑥ その他ご意見

(一つ前の質問に戻る)のボタンが欲しい。一度戻って振り出しに戻されたらやる気が削がれてしまう
1問前の回答に戻って、やり直せるようなボタンがあるとより良いと思いました。
アプリキャラクターや色合いが可愛いのもあって、圧を感じずにできました。
クマが可愛い。
クレジットカードを使っていないと回答したはずが、カードで買い物をしすぎと言われた。
ひとつ戻るボタンが欲しいと思った
もう少し設問の分岐を丁寧にしていただけると、より答えやすくなると感じた。UIはとてもわかりやすく良いと思った。進捗バーが1/2しか見えないのは、設問数からして少し不足していると感じた（終了までが長く感じた）。
回答したあとに、やっぱり回答を変えたいと思っても戻れないのが少し不便だった。 私はカードを使っていない、衝動買いはあまりしない、ネットで買いすぎることはあまりないと回答したのに、結果でカードの使い方が不安だと言われてしまった。 生活環境も少し摩擦が生じていると言われたが、実際にはそう感じたことがないので、少し信用性が低いように感じてしまった。
間違えたとき戻れないのが残念
間違えて回答してしまった時に、一つ前の質問に戻るボタンがあれば良いと思った。
結果が出てもどうしたらいいか分からない。 勝手に推奨されたりして信じられない。 貯蓄の方法は人それぞれだと思う。
結果の「日常生活支出」について、カードを利用していないのに「カードを使うのは少し控えて」と出てきた。
結果の部分が「もう少しだね」という曖昧な返答が気になりました。どういう部分でもう少しなのか、また私は消費行動の部分が他の分野に比べて減っていましたが、この数値は消費行動がうまくできているかどうかの数値ということでしょうか。誰にでも簡単にわかりやすい設問ですし、時間もちょうど良いのですがその分、結果も少し浅めな内容に感じました。もう少し支援につながるような具体的な結果があるといいと思います。
結果を示してくれるだけだと、そっか。で終わってしまう気がした。 課題が多い結果になった人には、実際に支援機関の紹介URLを個別で送るなどの対応があると良いのではないかと感じた。
高校生には理解しにくい設問が多く見られました。
最後の結果で割と「でも、～だよね。」と否定ばかりされるので少し不愉快だった。もう少し違う言い方があると嬉しい。 カードを使ってないと回答したのにカードの使いすぎに注意しようと書かれていた。また、最後の結果の文に助詞の誤字があった。 回答を間違えた時のために戻るボタンがあるとなお良いと思った。
最後の結果に関して、データの収集が出来てきたら同年代の平均値等なにか比較できるものがあるとなお結果を面白く見ることができると思います。またある程度六角形の形ごとに名称をつけて、その形の人の特徴などが書いてあると、昨今大流行のMBTI診断のような感覚で行うことができ、なおとっかかりやすいかと思います。またMBTI情報も収集して、あなたと同じMBTIの人はこんな形！と言った比較対象があるとより面白いと思ってもらえそうな気がします。
最後の評価のところで、例えば金融知識が少なかった場合「知識が少ないからもっと勉強しよう」のような曖昧なメッセージのみなのがよくないと思った。結果の所に足りない金融の基本的な知識が補えるサイトのリンクなどをつけていいのではと感じた。もしくは独自に作った知識のまとめを載せてもいいと思った。
将来への展望について専門家に相談しよう、情報収集に足りない部分がある、とのアドバイスがあったが、具体的にどこのどのような専門家に相談すればいいか、情報は何の情報をどう調べればいいのかまで外部サイトのリンクや紹介があれば親切だと感じた。
選択肢は複数選べるようにすれば良いと思った。ありがとう御座いました。
全体的に使いやすいと感じた 最後の結果の画面で、質問と回答を一覧で見直せたらより自己理解しやすいかもしれない
内容とは関係ないですが、1つ前に戻るボタンなどがあればやりやすいと思います。誤って押したあと、戻れない点が若干不便だと感じました。それ以外は良かったと思います。
評価を伝えられても、改善するためにはどうすればよいか、が明確でないなと感じた(案内所でない他のところにあるのかもしれないですが)。評価のすぐ下にリンクなどで改善方法を示してもらえたらもっと良いなと感じた。
複数選択できる項目なのに，一つしか選べないものがいくつかあった。
戻るというボタンがないため間違えて押してしまったら戻れず謝った情報になってしまう。1つ前に戻るなどの機能があればよりよいとおもった
戻るボタンをつけて欲しい

アンケート記述内容

⑤参考書・ワークブックそれぞれについて、ご意見・改善点があれば教えてください

年齢		地域
20～30 歳未満	家計のアナグマ物語の表示の仕方が毎回異なるので、少し混乱するところがありました。	関東・甲信越
	ワークブックの「嗜好品」が何のことか分かりませんでした。教養娯楽費に推し活は含まれますか？	九州（福岡）
	ワークブックの方は１ページ目の収入の欄にアルバイトと記載されており、大学生が新社会人に向けて貯金を促す内容なのか新社会人がどのようにして家計をやりくりするのか分かりづらい。１ページ目に誰に向けた本なのか記載してほしい。　参考書には書かれていることは新たな発見があり勉強になったのですが、１ページから小さい文字がたくさん並んでいたりどんどん新たな情報が書かれていたりしたので最初のページにこの参考書を読むことによってどのようなことができるようになるのかを記載してほしい。参考書はインターネットでも書かれていることが多く正直飽きてしまった。しかし奨学金は期間の猶予があることなど大学生が知らないような内容があったため、強調してほしい。	九州（福岡）
	キャラクターの家計管理が適当だと感じました。私は家計管理ができている方なのかと思いました。	関東・甲信越
	マンガなどで書かれていたのでわかりやすかったです。	東海・北陸
	とても分かりやすく、相談者への家計管理の説明の際に活用したいと感じた。	中国・四国
20 歳未満	参考書:最近の話題まで及んでいるのがよかった。勉強になる。 ワークブック:家賃など住んでいるところやこれから住もうとしているところの価格を調べるような作業があれば社会教育にもなると思う	北海道
	参考書に〇×クイズがあるのがよかった。解説の後にこうなったらこうすればいいよっていう解決策？が書いてあるのも良かった。（奨学金がどうしても返せない場合…の話等）ワークブックは実際の金額例が書いてあるのが良かった。全部高くてびっくりした。手取りとかも名前は聞き覚えあってもよく分からなかったから、所得税は大体いくらとか書いてあるのもよかった。	関東・甲信越
	優先するお金を見直す機会ができた	関東・甲信越
	重要な所などが太字で線が引いてあって見やすかった。絵もあって分かりやすかった。漫画風な絵があって記憶に残りやすかった。	関東・甲信越
	字読むの苦手だからマンガみたいな感じにして欲しい	関東・甲信越
	イラストや図でとてもわかりやすい資料でした。	関東・甲信越
	まだまだ分からなかった所を分かりやすくまとめられていて見やすかった。 番号などがきちんとふってあって分かりやすいと思った	関東・甲信越

	フルカラーでとっても見やすい 話の例が理解しやすく、図も見やすいので全体を見ても飽きることがない。最後まで見る気になれる。	関東・甲信越
30～40 歳未満	ワークブックについて。・新社会人は交通費が公共交通機関や車で必ずかかると思うが、0p には書かれていない。・p2、(除く外食費)→(外食費を除いた金額)の方がわかりやすい。・携帯→スマホ・タブレット、ネット回線の表記の方が身近。・趣向品→伝わらない。・消耗品はどこ？雑貨に含まれる？ ・健康保険料(社会保険証)、年金保険料(厚生年金)、雇用保険料(労災、失業手当)など、何に使われるものか分かると良さそう。	九州(福岡)
	携帯合算払いは、借金であること。	沖縄
	・ワークブックの 2 ページが福岡の場合になっているので、別データでもいいので該当地域の標準額が入力できるとより想像しやすいなと感じました。・参考書へ法テラスのことも記載すると誇大広告被害も減るかなと思いました。	沖縄
	文字が多い。言葉が難しい。専門職がアセスメント用に使うかもしれないレベルで、本人が読んでもわからないと思う。福岡が例に出されているが、地方では参考にならないのでは？	東海・北陸
40～50 歳未満	①「家計の見直し参考書(社会人編)」のデザインは、表紙に社会人編と記載がありますか? どれなのか不明でした	東海・北陸
	収入を計算する必要な支出(税、保険)を記載する際に税金などの金額を計算する目安が欲しいとおもいました。	九州(福岡以外)
	内容がシンプルでいいと思います。 今後バージョンが増えて、相談者に合った選択肢が増えるといいかなと思いました。	東海・北陸
	今すぐ相談者さんにお渡ししたいくらい、わかりやすかったです！ 利用できるようになるのを待ってます。 それと、一人暮らしの支出の例が、「こんなに低いんだ!」と思いました。食費や通信費など、普段の聞き取りではもっと皆さん高額なので…	九州(福岡)
	「困窮」と記載があるので、消費者庁や FP 協会、岩手県などから発行されているものとの違いが明確であるとよいと思う。	東海・北陸
	レイアウトについて 余白の活用: ページ全体の余白がやや少なく、窮屈な印象を受けました。特に、本文と図表の間隔が狭いため、視覚的に情報が整理しづらいかと思いました。 このテキストの良いと思うところ 新社会人向けに特化: 新社会人が抱える家計管理の不安や疑問に寄り添い、分かりやすく解説している。特に、収入や支出の管理、貯蓄の重要性など、基本的な知識を丁寧に説明している点。	東北
50～60 歳未満	字が小さい	九州(福岡)
	よくまとめられている	中国・四国

	参考書：若い世代に響きやすい見せ方（説明の仕方）だと思う。デザインも可愛くて、読んでみようかなと思えるのでは？ゆっくり、これから一緒に勉強してみましょうというのが良い感じ。 ワークブック：初めて家計全体を知る（理解する）ツールになると思う。 参考書＆ワークブック共に字体が読みやすい。	中国・四国
	参考書もワークブックもどちらもわかりやすいと思いました。	沖縄
	やりくりは子どもにうまく伝えられなかったので、とてもよいと思います。こういった教育を受ける機会もないので、ぜひ広めてほしいです。	九州（福岡以外）
	・リボ払いが高額な手数料が必要である内容は良かった。しかし、もう少しわかりやすい（支援者が簡単に説明できる）ものにならないかと思った。	中国・四国
	分かりやすい言葉で良かった	九州（福岡）
	社会人として自立する前の学生に向けて、講習会などで利用するには良いかなぁと思いました。	九州（福岡）
	親しみやすいキャラクターの会話のやりとりを通して、一緒に勉強が出来るので、わかりやすく入りやすいと感じました。 相談支援の現場でも使っていきたいと思います。	中国・四国
	参考書は字が細かい	近畿
	参考書 No.3 貯金のところで、「貯金用口座を作る」など具体的な貯金方法の明記があればいいかなと思いました。　ワークブック 必要な支出の費目に「奨学金返済」も必要ではないかと思いました。 また、5 ページ目の税社会保険の金額は自分で入れるのは難しいと思いました。収入に対して約何％かなどの補足が必要と思います。	九州（福岡以外）
	◆ワークブック 表紙の文章は、これから一人暮らしを考えている人に向けているのか、すでに自立して働いている人に向けているのか、文章が混在しているので、混乱します。 ・P4：一人暮らし（社会人）の費用はどのくらいかかるの？　福岡のデータが唐突に感じます。全国平均だと良くないのでしょうが、都市部とほかの場所など 2 つの情報があれば比較してイメージしやすいかも。 ・P6～7：一人暮らし（社会人）の費用はどのくらいかかるの？　前のページを参考に、自分の費用を計算するのは難しそうです。特に P7 の税金や社会保険は計算できないので、「給与明細を確認してみて」などのコメントがあると良いかもしれません。	関東・甲信越
	ワークブック素晴らしいと思いました。 参考書も素晴らしいですが、字が小さすぎて見るのが大変でした。	関東・甲信越
60～70 歳未満	白抜きの字が、自分には見づらさが少しあるのが気になりました。	近畿
	最近の若い方はあまり字を読まないと聞きますので、字を減らして直感的に見えるようにしていけたら、答えやすいのではないかと思います。	北海道

	ワークブック　収入から税保険を引いただけでは手取りにならない　互助会費等の想定できる項目の振り分けの説明がいるのでは？　参考書　事例がわかりやすくて良いと思いました	東海・北陸
70 歳以上	生活困窮者自立支援による家計改善事業では家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じるとされております。ターゲットの設定はそれとは相違していませんか。既存の相談窓口たとえば J-FLEC などと何が差別化されるのでしょうか。	関東・甲信越
無回答	参考書は文字情報が多く、よく読まないとわからない。空きスペースがもったいないので、もう少しマンガを大きくできないか？	関東・甲信越

⑥今後、どういった内容のテキスト・ワークブックがあればよいと思いますか

年齢		地域
20 歳未満	学校を卒業した後すぐ必要になるお金とか、今後ここら辺でお金使う機会あるかも、みたいな話をまとめたものがあれば嬉しい。	関東・甲信越
	自分が今まで使ってきたお金をあの時貯めておけば良かったって思いました。	関東・甲信越
	税金について	関東・甲信越
	絵は可愛い	関東・甲信越
	今回はリボ払いのことが書かれていたが、別の払い方や、どの払い方が 1 番いいのかも載せて欲しい。散々リボ払いはダメ！今しかお金のことは聞けないよ！って言う割には、それだけ言うならもっと金銭面についての説明を詳しく話す場を設ければいいのに、その機会を大人たちが作らないので、せめてもの学びとして載せてくれたら嬉しいです。	関東・甲信越
20～30 歳未満	銀行、保険、税について	関東・甲信越
	貯蓄の仕方などに関するワークブックがあるとありがたいなと感じました。	関東・甲信越
	実際に計算をしたり、自分の生活に置き換えたりしながら考えることができるもの。	関東・甲信越
	1 ページ当たりの文字が多いと思います。もう少し少ないと読みやすくなるのではないかと思いました。	九州（福岡）
	学生は一人暮らしでも親が家賃や携帯代を払う人もいると思うので、そういったことも反映された学生用のものがあればいいと思いました	関東・甲信越
	投資についてわかりやすいワークブックがあればいいと思う。	東海・北陸
30～40 歳未満	子育て世代向けのワークブックなど	中国・四国
	今回は新社会人向けの家計管理についてですが、色んなテーマがあったらいいなと思いました。 たとえば、債務やゲーム課金など。	沖縄
	文字が少なく、シンプルなフロー	東海・北陸

40～50 歳未満	働く前のものなのか、働き出してからのものなのか、ごちゃまぜで、整理したほうよいとおもいました	東海・北陸
	子育て世帯用のワークブックがあれば良い。 学費や手当の考え方が載っていると、見通が立てやすい。 地域性があるとよい	東北
	外国籍の方向けがあるといいなと思います。 外国語で同じ内容というよりは、日本で暮らしていくうえで知っておいた方がいい日本的な考え方（節約や貯蓄をする具体的な工夫など）が分かる内容だといいかなと思います。	東海・北陸
	紙媒体のものも、支援者とともに利用が前提であれば、支援者側にも使い方の指針が示されるとよいと思う。 名古屋市塚本	東海・北陸
50～60 歳未満	ワークブックで預金が先取りではなく余り物貯金なのが残念 先取り（手取りの10~20%)の考え方の方が効果的ではないか	九州（福岡）
	実生活に沿った内容	中国・四国
	新社会人のためとありますが、新生活を始める方、例えば結婚した方とか、子どもが生まれたいう方のワークブックがあれば良いかと思いました。	中国・四国
	夢や目標を叶えるライフプランブックがあると楽しいかも。	中国・四国
	高齢者向けのワークブック	沖縄
	学生編や、高齢者編があったらいいなと思いました。	九州（福岡以外）
	・ワークブックで「高齢者編」、急な出費として香典、住宅改修などに備える。悪徳業者（高価な品物をローンで買わせる）などの注意喚起や携帯電話見直し（使用していないアプリ料金、必要ない高額なプラン）も盛り込めればいいのではと思う。	中国・四国
	いろいろな年代別に内容を変えていけば、広く使えると思います。	九州（福岡）
	・学生に対して ・8050 問題(引きこもり)に該当する相談者に対して わかりやすいテキストを用いながら、相談支援や金銭学習に繋げたい。	中国・四国
	もう少し大きな字が嬉しい	近畿
	・新 NISA が始まったこともあり、資産運用に関心を持っている人が増えているので、その点に触れるものがあると良いのでは。 ・銀行の窓口も減り、現金を使うことは減っていき、キャシュレスが増えていくため、キャッシュレスやクレジットカードなどの使い方。 ・新社会人編のほか、新婚編や老齢年金受給編など、生活に変化があったときのものもあると関心が高いと思います。	関東・甲信越
	高齢者向けや生活保護向けなどもほしいです。	関東・甲信越
60～70 歳未満	高齢の年金生活者及び、年金と生活保護受給者用のテキスト・ワークブックがあれば良いと思います。 年金は 2 ヶ月に 1 度の振込であり、生活保護は毎月の振込になるため混乱する人を多くみます。	関東・甲信越
	家計を知るためのワークブックでは、年金生活者のがあれば良いかと思いました。	近畿
	あと払いやツケ払いについても あったら良いと思いました。	関東・甲信越

	年金生活者用が欲しいです	東北
	テキストは至ってシンプルなものがいいのではないかと思います。 窓口にいらっしゃる方とは、お話しできるので、文字は少なくていいなどはないかと考えます。	北海道
	QR で読み込めて、動画で説明するもの	東海・北陸
70 歳以上	障害者、高齢者をターゲットとしたテキストがあれば良いと思います	関東・甲信越

2025.08.20

令和7年度 社会福祉振興助成事業（通常助成事業）
「家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業」について

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク
家計改善支援部会

1. 応募に至った背景

これまで当団体では、各地の支援機関への講師派遣や研修会の開催等に取り組んできた。しかし、これらの取組だけでは限界があり、以下の課題認識から、令和 6 年度から相談者自身が早期に課題に気づき、必要な支援に繋がることができ、問題の深刻化を未然に防ぐためのアプリと学習教材の開発に取り組み、全国 26 都道府県で試用テストを行った。

①物価高騰、災害等の影響を受けて、生活困窮者の相談窓口には深刻な状態の相談者が多い中、支援員の負担が増し全国的に一人や少人数体制の支援機関が多いにも関わらず、気軽に相談できる環境にないために支援員自身も孤立している場合が多い。

② 近年の闇バイトや投資詐欺等の原因に、借金苦や困った時に相談相手がいない場合などが多く、生活困窮者の相談窓口も知らないので相談に繋がっていない。

③相談者には、家計の収支バランスを意識せずに増収で解決しようとして失敗したり、安易に借金をして返済に追われてしまう等、リスクを先送して深みに嵌る傾向があり、家計相談への忌避感も強い。特に若い世代は学ぶ機会が少なく、困窮する人が増えるものと思われる。

2. 応募事業の概要

(1) 助成テーマ

安心して暮らせるための地域共生社会の実現に向けた包括的な支援に資する事業

(2) 応募事業名

家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

(3) 事業概要

誰もが経済的な困窮に陥いらず希望を持って暮らすことができ、家計管理の支援が必要な相談者を早期に支援に繋ぐことができるようにすることを目的に、自分の暮らしかたや無自覚な消費行動がどのようなリスクを生むのか、どうすべきかをゲーム感覚で手軽に自分自身で点検できるアプリと、自分で家計を把握して収支のバランスを取りながら家計を管理していくことの重要性や困窮を予防するための知識を学ぶことができる教材を開発し、活用を全国に広げていく事業。事業を通して、支援員の負担軽減や支援員同士の連携や交流を深めることにも寄与する事業。

(4) 助成区分

全国的・広域的ネットワーク活動支援事業

(5) 主な事業実施地域

令和 6 年度に開発し、その後改善したアプリと学習教材の試用は 26 県（北海道・青森、岩手・東京・埼玉・千葉・神奈川・愛知・三重・大阪・京都・滋賀・岡山・広島・鳥取・島根・香川・愛媛・福岡・長崎・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄）の家計改善支援部会員 102 名と連携団体、学校等の教育機関にも協力を得て実施する。さらに完成版の普及は全国の支援窓口等を対象に行う。

(6) 応募事業の主な対象者

・生活困窮者

・こども・子育て家庭、高齢者・介護者、若者、支援者、ひきこもり状態にある者他

3. 事業計画（2年目としての取組み）

(1) 令和 6 年度開発したアプリや学習教材を、試用テストの結果を反映したものに改善し、完成させる。

(2) 全国に普及する

①全国 9 ブロック毎のネットワークを活用し、アプリや教材の活用のための説明会を行い、普及につなげる。

②全国の福祉事務所設置自治体の担当者や自立相談支援事業所・家計改善支援事業所で活用してもらえるよう周知し、多くの相談者の活用に繋げる。

③全国の連携団体や学校・居場所等で活用してもらえるように周知に努める。

(3) 多くの人のアプリ使用への入力データを蓄積・分析し、今後の支援に役立てていく。

(4) 小・中・高校生用教材開発に着手する。

以上

2025.08.22修正

令和７年度 社会福祉振興助成事業（通常助成事業）
家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

地域委員会による 家計アプリと学習教材の説明会・普及活動の実施について

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク　家計改善支援部会

令和６年度「家計管理アプリと学習教材を全国に普及し、早期支援を実現する事業 」では、地域委員をはじめ、全国の協力家計部会員、連携団体の皆様に試用テストとアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

試用テストのアンケート結果をもとに、アプリと学習教材の改良を行いましたので、改良したアプリと学習教材の各地域での普及活動について、以下ご検討をお願いしたいと考えております。

1. 地域説明会・普及活動の目的

① 開発したアプリと学習教材を全国に普及することが目的です。

② そのために、全国ネットワークでは全国の会員や支援機関等への普及を行い、地域では、地域委員が一番やりやすい方法で、出来る範囲で普及活動を行います。

2. 地域説明会・普及活動の実施について

地域での説明会・普及活動の実施方法は以下の３通りから選べます。

1）説明会の開催

① ブロック単位で、会場に人を集めて説明会を開催する。

② ブロック内で分割して、小規模の説明会を複数回開催する。（地域委員が所属する団体や連携団体等）

2）普及活動のみを実施

③ 地域委員が、関係する機関や学校等へ出向き、普及活動を行う。

3. 開催までの段取りについて

（１）地域委員会の開催

① 各ブロックの地域委員会では、地域委員会を開催し、どのように普及活動を行うのかを検討します。その際、各地域員会の判断で、昨年試用テストに協力いただいた協力部会員へ参加を呼びかけることも可能とします。

② 地域委員会は ２ 回まで・オンラインで行うことを基本として開催しますが、１回まではリアル開催も可能とします。

③ 地域での方針や地域説明会の日時や会場が決まりましたら、事務局までご連絡く

ださい。　　事務局⇒info@minna-tunagaru.jp

（2）説明会を開催する場合

① 日時・会場・スケジュール・役割分担を決めます。当日の運営・進行は、地域委員メンバーで行います。開発委員メンバーや事務局は、可能な範囲でサポートに入ります。説明会日時と会場が決まりましたら、事務局にご連絡ください。

② 地域説明会の実施期間は、2025年9月～12月までとします。

③ 会場費の予算は10万円を目安としています。小規模説明会を複数回開催する場合は、会場費予算の範囲であれば可能です。会場規模は参加人数の見込みでご判断ください。地域委員で会場を手配し、会場費は事務局より直接支払います。

④ 地域説明会はリアルのみ、オンラインも併用のどちらでも構いませんが、基本地域委員で対応可能な範囲でお願いします。オンライン併用を希望し、地域委員で対応が難しい場合は、事務局までご相談ください。

⑤ 各ブロックでは、説明会の案内用のチラシを作成します。作成したチラシは事務局に送付していただき、事務局にて、全国ネットワークのHPに掲載します。Wordで作成したチラシの作成例（資料④）もありますので、こちらを加工しても構いません。チラシや資料には以下に掲載のWAMの助成マークを入れるようにしてください。

WAM助成

⑥ 説明会で資料を準備する場合は、地域委員で作成をお願いします。こちらも参考例をデータにてお届けしますので加工も可能です。（資料⑤、資料⑥））地域で印刷可能な場合は費用をご請求ください。印刷が難しい場合は、事務局で印刷し、郵送いたします。

⑦ 学習教材（ワークブック・参考書）と一般の方に配布するカード（名刺サイズ）・チラシ（A4サイズ）は、事前に必要部数を集約し、印刷製本したものを郵送いたします。

⑧ 説明会会場までの地域委員の旅費や当日の弁当・お茶代等は経費対象ですので請求してください。参加者の旅費や弁当代等は対象外です。但し、運営に協力いただく協力部会員の旅費・弁当代等は、各ブロック会場費予算（１０万円）の枠内であれば経費申請することができます。

⑨ 地域委員の当日参加者の記載に基づき、謝金をお支払いいたします。謝金は複数回で説明会を開催した場合でも一人1回分とします。

⑩ 当日の写真撮影をお願いします。報告書と一緒に送付をお願いします。

⑪ 説明会の参加申込フォームの作成を事務局で担うこと、問い合わせ先を全国ネット事務局にすることも可能です。事務局までご相談ください。

（3）関係する機関や学校等へ出向き、普及活動を行う場合

① 地域委員が関係する機関や連携団体・学校等へ、アプリと学習教材の普及活動に出向きます。

② その際には普及用チラシや説明用の資料等をご活用ください。

③ 普及活動の移動のための交通費は経費で申請してください。昼食時間を挟む場合はお弁当・お茶代も可能ですが、お店での飲食は経費対象外となります。

④ 報告書には、出向いた機関や参加者名を記入してください。謝金は複数回で参加した場合でも一人１回分とします。

3. 事務的な約束事

（１）地域委員への謝金

・地域委員会（2 回まで）、地域説明会・普及活動（1 回分）、全体会（2 回分）の謝金を WAM の基準にてお支払いします。

・支払いは年度末にまとめて行います。

・申請に必要な書類は、「書式①　謝金・旅費に関する申請書」、「書式③　地域委員会の開催記録」「書式④　地域説明会の開催記録」「書式⑤　地域普及活動の記録」となります。「書式①　謝金・旅費に関する申請書」は昨年度から変更が無ければ、提出不要です。

（2）旅費

・対面の地域委員会（1 回まで）、地域説明会、普及活動、全体会への移動のための旅費が対象です。

・旅費は通常の経路および方法により移動したものを、その都度実費にてお支払いします。

・申請に必要な書類は、「書式②　旅費申請書」、「領収書」となります。公共の交通機関の場合でも、新幹線については、必ず領収書の提出が必要です。バス・電車については区間と金額の記載があれば領収書は不要ですが、1,000 円以上の場合はできるだけ、領収書の提出をお願いいたします。グリーン車は利用できません。

・航空券は普通席のみ利用可能です。

・地域説明会の運営などに関わっていただく協力部会員も旅費の申請ができます。支払い対象となる協力部会員は、「書式①　謝金・旅費に関する申請書」、「書式②　旅費申請書」、「領収書」の提出が必要です。事務局より書類をお送りしますので、お名前とメールアドレスを事務局までお知らせください。

（3）会場費

・対面の地域委員会（1 回）の会場費をお支払いします。

・地域説明会の会場費予算は、各ブロック 10 万円を目安としています。小規模

説明会を複数回開催する場合は、会場費予算の範囲であれば可能です。
・請求書の宛名は「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」としてください。
・会場費の請求書はいずれもメールでお届けください。事務局より、直接支払います。お弁当やお茶等の代金が会場費の請求書に含まれている場合は、一緒に全国ネットから直接支払います。

（４）上記以外の諸費

１）地域委員会

・弁当や飲み物（お茶・コーヒー）が会場で手配できず別に購入される場合や、コピー代、文具代等の経費は、一旦立て替え払いをしていただき、請求をお願いします。
・弁当・お茶代・コーヒー代は、１回１人当たり 1,500 円までとします。飲食店での飲食は認められていません。
・申請に必要な書類は「書式④　地域委員会の諸費申請書」と「領収書」となります。

２）地域説明会・地域普及活動での諸費について

・地域説明会の当日運営を担う地域委員は、事前の準備や片付け等がありますので、弁当とお茶は経費対象となります。地域普及活動でお昼を挟む場合も対象となります。地域説明会の運営などに関わっていただく協力部会員も経費対象となります。
・１人当たり 1,500 円までとしますが、飲食店での飲食は認められていません。地域委員以外（協力部会員や参加者）は対象外です。
・また、その他の経費（コピー代等）がありましたら、一旦立て替え払いをしていただき、「書式⑥　地域委員会・地域説明会・普及活動の諸費申請書」と「領収書」を提出して、請求をお願いします。

（５）経費関係の書類

・書式①　謝金・旅費に関する申請書
・書式②　旅費申請書
・書式③　地域委員会の開催記録
・書式④　地域説明会の開催記録
・書式⑤　地域での普及活動記録
・書式⑥　地域委員会・地域説明会・普及活動諸費申請書

※会場費・旅費・その他の諸費の請求書・領収書を添付する。

上記は２０２６年１月３０日までに、事務局までメールにてお送りください。
（２月開催の全体会旅費申請書は開催後１週間以内に送付をお願いします。）
領収書はスキャンしたものを PDF にてお送りいただき、報告会の際に原本をご提出ください。

以上

令和７年度 社会福祉振興助成事業（通常助成事業）
家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

家計リスク点検アプリと学習教材の説明会のご案内

一社）生活困窮者自立支援全国ネットワークでは、誰でも気軽に自分自身の家計管理におけるリスクを自己点検できるアプリ（家計の道しるべ）と新社会人向けの学習教材（ワークブック・参考書）を開発しました。

今後、より多くの皆様にこのアプリと教材を使っていただけるよう、説明会を開催いたします。より、多くの皆様のご参加をお待ちしています！

日時：●●●

会場：●●●

参加費：無料

参加対象：困窮者支援等に携わる方、学校関係者など

申込方法：参加フォームより、●月●日までにお申込みください。

＜当日のスケジュール予定＞

①本事業の目的の説明
②令和６年度からこれまでの取組み
③家計リスク点検アプリの説明
④新社会人向けの学習教材の説明
⑤今後の活用と普及活動について

＜地域説明会に関するお問い合わせ＞
一般社団法人生活困窮者自立支援全国　ネットワーク 家計改善支援部会
●●ブロック地域委員　　●●
＜アプリ・教材に関するお問合せ＞
一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 家計改善支援部会　事務局
info@minna-tunagaru.jp　　TEL：03-3232-6131

令和７年度 社会福祉振興助成事業（通常助成事業）
家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

WAM助成

家計リスク点検アプリと学習教材を使ってみよう！

一社）生活困窮者自立支援全国ネットワークでは、誰でも気軽に自分自身の家計管理におけるリスクを自己点検できるアプリ（家計の道しるべ）と新社会人向けの学習教材（ワークブック・参考書）を開発しました。

是非、多くの皆様にこのアプリと教材を活用いただき、ご自身の生活のあり方や将来の計画を考える機会にしていただきたいと願っています。また、困っている方々が必要な支援に繋がる一助となれば幸いです。

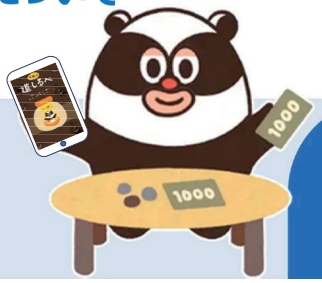
URL：https://life-poor-support-japan.net/kakeiapp/

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク 家計改善支援部会
●●ブロック地域委員会
事務局 info@minna-tunagaru.jp TEL：03-3232-6131

令和7年度 社会福祉振興助成事業（通常助成事業）
家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

地域説明会資料

家計リスク点検アプリと学習教材について



1、本事業の目的

①コロナ禍やその後の物価高騰の影響が続く中で、支援現場や相談者に向けてこれまでと異なるアプローチも必要となっている。

②親世代の家計管理能力の低下や生活の破綻等の様々な要因で、従来家庭の中で自然に身に付けられた家計管理のノウハウを習得できないままに社会に出てしまい、困窮する人が増えている傾向が見受けられる。

③誰もが気軽に使える家計管理のアプリや教材の活用が全国に広がれば、困窮する前に自ら課題に気づき、必要な支援に繋がることができる等、問題の深刻化を未然に防ぐことができる。

2

2　令和6年度　　取組

①誰もが親しみをもって活用してもらえるよう、キャラクターやイラストを駆使して、楽しく、分かりやすく学ぶことができるようなアプリと教材を開発した。

②その後、全国の家計改善支援部会員や連携団体、学校等の協力を得て、延べ490名による試用テストを行った。

③試用テストの結果は概ね高い評価を得られ、いただいたご意見を一つずつ精査し、多岐に亘る改良を行った。

3

3、家計リスク点検アプリについて

＜目的＞
家計改善支援が必要な人を見つける
早い段階で課題にきづいてもらう
自立相談支援から家計改善支援へ

＜利用シーン＞
・相談支援の入口として（待ち時間にやってもらう）
・ネット上での自己診断として

4

①キャラクターについて

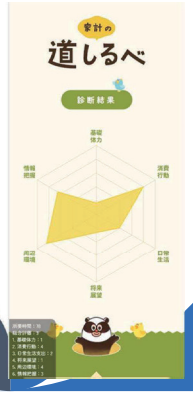
アナキチ

ニホンアナグマのアナキチ。
森のやさしい建築家。みんなが集まれる巣穴をコツコツつくり、動物たちと仲良くシェアしています。
そして…家計という迷路に迷い込んだ人を案内するのも、アナキチの大切な役目です。

5

②家計リスク点検 「家計の道しるべ」

36問前後の設問に答えてもらうと結果が表示される



6

③ターゲット設定のための設問

年齢	18歳未満
	18～29歳
	30歳～39歳
	40歳～55歳
	56歳～64歳
	65歳以上
属性	高校生
	大学生
	会社員・公務員など
	自営業
	パート・アルバイト・派遣など
	無職

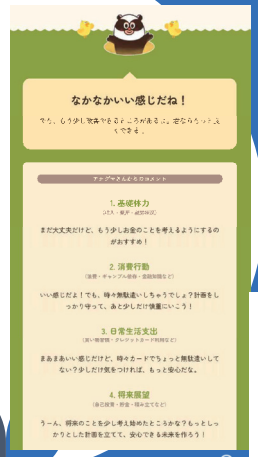
婚姻状態	未婚
	既婚
	離別
	死別
同居の子ども（18歳以下）	なし
	1人
	2人
	3人以上
世帯人数	1人
	2人
	3人
	4人
	5人以上

7

④６つの分析軸

6つの分析軸を設定
1. 基礎体力（収入・資産・就労状況）
2. 消費行動（浪費・ギャンブル依存・金融知識など）
3. 日常生活支出（買い物習慣・クレジットカード利用など）
4. 将来展望（自己投資・貯金・積み立てなど）
5. 周辺環境（家族・友人関係・社会的支援など）
6. 情報把握（消費者知識・金融リテラシーなど）

各分析軸毎に点数を合計
最大値、最小値をもとに、
10点満点に平準化



8

⑤データ共有・収集

・希望される方は、回答内容を他の人と共有するこもできます。

・利用データの収集に同意をいただいた方のデータは、個人を特定できない形で厳重に保管され、今後の改良等にも役立てていきます。

9

①ワークブック

8ページだて
・まず1人暮らしをする時に必要なお金を考えてみよう！

・そもそも一人暮らし（社会人）の費用はどのくらいかかるの？

・計算してみよう　一人暮らし（社会人）の費用はどのくらいかかるの？

11

4、新社会人向けの学習教材について

・新社会人を想定して、一人で生計を営み始めるにあたって、収入の中でやりくりしていくために必要な知識やコツ、お金に関するリスクなどを、キャラクターやイラストを駆使して分かりやすく、親しみやすく学ぶことができるような教材を開発した。

・実際に自分の家計状況を記入して点検するワークブックで自分の家計を見える化し、家計管理をしていくために必要な情報を盛り込んだ参考書で学ぶことができるようにしている。

10

②参考書

12ページだて
・家計管理って何
　上手く家計管理をする３つのコツ
　①支出の優先順位
　　・毎月必ず払わないといけないお金
　　・毎月やりくりするお金
　　・貯金
　　・楽しみの支出
　②支出を記録する
　③欲しいものがある時どうする

12

5、今後の活用と普及活動について

①まずは自分の周りで使ってみる
②チラシ等を活用しながら、
いろんな場所で情宣する

13

家計リスク点検アプリと教材を、皆さんと一緒に普及　　Kしよう！

14

実践できる！ 新社会人編

家計を知るための ワークブック

家計リスク診断アプリ
オリジナルキャラクター
アナキチ

しっかり働いて自立して生活しているのに、お金が不足がちで不安になること、ありませんか？

一体どこにお金を使い、いくら不足を出しているのか、一度確かめてみましょう。
このワークブックに挑戦すると、家計ってどんな項目で成り立ち、自分の家計がどうなっているのか不安のもとを把握することができます。まずは自分の家計を知った上で、アナグマさんの「家計の見直し参考書」にすすみましょう。

一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク 行岡 みち子

まず

【1人暮らしをする時に必要なお金を考えてみよう】

手取り収入などのお金は必要な支出として、3つのカテゴリーに分けることができます。

手取り収入（振込額）・アルバイト代

- 必要なお金（生活費）
- 楽しみのお金
- 貯金

必要なお金（生活費）

必ず支払わないといけないお金

- 家賃
- 電気代
- ガス代
- 上下水道代
- 通信費（携帯、アプリ代）
- カードの口座引き落とし
- 保険（医療・生命）
- 奨学金の返済 など

やりくりするお金

- 食費
- 外食費
- 洋服代
- 理美容費 など

楽しみのお金

- 飲み会
- サブスク代
- ゲームソフト購入
- ゲーム課金
- 推し活 など

貯金

自分で決めた額を
毎月貯めていくようにする

POINT

いつかやりたい事や
買いたいものができた時、
急にお金が必要になった時
のために…

**毎月1000円でも
いいから貯金する**

急な出費

- 医療費
- 家電の故障
- 携帯の故障
- 結婚のご祝儀
- 帰省費用 など

やりたい事・欲しいモノ

- 旅行
- 引越し
- 家具
- 自転車
- ゲーム機 など

そもそも

一人暮らし（社会人）の費用はどのくらいかかるの？

	項目	金額（月）全国平均*1
必要なお金（生活費）	家賃	51,000円
	水道光熱費（電気・ガス・水道）	10,120円
	食費（除く外食費）	21,780円
	外食費	16,890円
	通信費（携帯・Wi-Fi接続）	7,340円
	衣服費	6,560円
	保健医療費（医療費、サプリ代 等）	5,020円
	その他（理美容、嗜好品、雑費 等）	13,920円
楽しみのお金	交際費（プレゼント・飲み会 等）	10,080円
	教養娯楽費（本・レジャー・ゲーム 等）	22,340円
	交通費（通勤時以外）	7,730円
合計		172,780円

*1<家賃>全国賃貸管理ビジネス協会　全国家賃動向23年6月　単身者アパート賃料全国平均額
*2<収入>総務省「和5年賃金構造基本統計調査」新規学卒者所定内賃金全国平均額
<家賃以外の金額>総務省「家計調査2023年（34歳以下単身勤労世帯全国平均）」より抜粋 1円以下は四捨五入

※収入を23万円とした時の税・社会保険 *2

必要なお金（税・保険）

税・社会保険	金額（月）目安
所得税	4,500円
住民税	8,700円
健康保険料	12,000円
年金保険料	22,000円
雇用保険料	1,400円
合計	48,600円

||

手取り　約181,400円

貯金の計算例

手取り【181,400円】－支出【172,780円】=【8,620円】

【8,620円】⇒ 貯蓄【5,000円】予備費【3,620円】

計算してみよう

一人暮らし（社会人）の費用はどのくらいかかるの？

～あなたが一人暮らしをした場合～

必要なお金（生活費）

項目	金額（月）
家賃	,　円
水道光熱費（電気・ガス・水道）	,　円
食費（除く外食費）	,　円
外食費	,　円
通信費（携帯・Wi-Fi接続）	,　円
衣服費	,　円
保健医療費（医療費、サプリ代 等）	,　円
その他（理美容、嗜好品、雑費 等）	,　円

楽しみのお金

交際費（プレゼント・飲み会 等）	,　円
教養娯楽費（本・化粧品・ゲーム 等）	,　円
交通費（通勤時以外）	,　円
合計	,　円

自分が一人暮らしをしたとして…
どのくらいのお金がかかるのか、前のページを参考に記入してみよう。

※収入を　万円とした時の税・社会保険

必要なお金（税・保険）

税・社会保険	金額（月）
所得税	,　円
住民税	,　円
健康保険料	,　円
年金保険料	,　円
雇用保険料	,　円
合計	,　円

||

手取り　,　円

貯金の計算欄

手取り【　　円】－支出【　　円】=【　　円】

【　　円】⇒ 貯蓄【　　円】予備費【　　円】

就職、住まい、借金、お金のことなど
暮らしの悩みの相談窓口はこちら

困窮者支援情報共有サイト
～みんなつながるネットワーク～
一般社団法人生活困窮者
自立支援全国ネットワーク

家計のことについて
お困りの方へ
アナグマ案内所

このサイトでは、
あなたの家計を診断し、
状況に合わせた制度を
ご案内しています。

■ 一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク
〒169-0072 東京都新宿区大久保2－4－15 サンライズ新宿3階
https://life-poor-support-japan.net/

【教材制作】グリーンコープFP円縁（原案作成）/ 認定NPO法人コミュニティケア街ねっと/（有）CR-ASSIST/小山ひなた（デザイン）

WAM助成 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

発行日：2025年9月1日

ゆっくり説明します

家計の見直し参考書

知らなくても、
だいじょうぶ。
分からなくても、
だいじょうぶ。
これから一緒に
勉強をしてみましょう。

家計リスク診断アプリ オリジナルキャラクター アナ

家計リスク診断アプリ オリジナルキャラクター マグ

独り立ちして暮らし始めたものの…
先行きに不安を感じている新社会人のあなたに。

安心して生きていくためには収入を増やすことよりむしろ、家計支出の優先順位や生活の工夫について考えてみることが大事です。「家計を知るためのワークブック」に挑戦したら、アナグマさんの「家計の見直し参考書」でちょっと立ち止まって考えてみましょう。幸せな未来がイメージできるかもしれませんよ。

一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク 行岡 みち子

家計管理って何？

収入と支出のバランスを考えて、生活を維持していくことをいいます。

支出には「必ず支払わないといけないお金」「やりくりするお金」「楽しみのお金」があり、急な出費ややりたい事・欲しいモノのために「貯金」もしていかなければなりません。収入と支出を把握して、収入の範囲内で暮らしていけるようにすることを家計管理と言います。

上手く家計管理をする3つのコツ

コツ01 支出の優先順位

毎月の収入から次の順番で必要な金額を考えてお金を仕分けする

- No.1 毎月必ず支払わないといけないお金
- No.2 毎月やりくりするお金
- No.3 貯金
- No.4 楽しみのお金

コツ02 支出を記録する

「いつ」「どこで」「何に」「いくら」使ったかを記録し、
一カ月いくらで生活しているかを知る

コツ03 「欲しいモノ」がある時どうする

「欲しいモノ」はすぐに買わない

クレジットカードを使って買うのは借金をして買うのと同じこと
本当に欲しいのかよく考えて、必要な金額を貯めてから買う

コツ01 支出の優先順位

No.1 毎月必ず支払わないといけないお金

生活費のうち「必ず支払わないといけないお金」（家賃・上下水道代・電気代・ガス代・通信費・奨学金の返済など）がいくらなのかを確認して、その額は使わないように確保しておく必要があります。このお金は口座引落になっていることが多いので、口座の残高や引き落としの確認も必要になります。

家計のアナグマ物語<家賃編>

解説▼

家賃や水道光熱費は支払いが滞ると追い出されたり、とめられたりします。
生活に絶対必要な支出は、**収入が入ったら必ずその金額は確保して他の事には使わない**ようにしましょう。SNSなどで「数ヵ月払わなくても大丈夫」等の情報がありますが、それは間違いです。**これらの支出は払わないままでいることはできないお金**だという事を覚えておきましょう。

家計のアナグマ物語<携帯代とブラックリスト編>

アナ：今月も携帯代が払えないかも・・・

アナ：先月も支払いが遅れて通信が止まったけど、慌てて払ったらすぐに復活したんだ。今月も遅れても大丈夫だよね

マグ：携帯代が払えないのはやばいよ。スマホ本体の機種代も携帯代で払っているから何回も払わないと借金を返さないのと同じ扱いになってブラックリストに載せられてしまうよ

アナ：ブラックリストってなに？

マグ：「この人はお金を借りても期日までに支払わない人です」っていうリストのこと

マグ：これに名前が載ると、一定期間新しいクレジットカードも作れないし、ローンを組むこともできなくなってしまうよ

解説▼

携帯代と軽く見ている人もいますが、滞納すると**信用情報機関に金融事故情報として登録される（ブラックリストにのる）**ことになります。ここに登録されると「お金に関して信用ができない人」という事になってしまいます。携帯代を支払わないと**携帯を使えなくなるだけではない**事を知っておきましょう。奨学金の返済も滞納が一定期間続くとブラックリストにのることになります。奨学金がどうしても返せない時は「**学生支援機構**」に相談しましょう。

家計のアナグマ物語
<銀行口座の管理編>

解説▼

口座引落の場合、毎月の引落日は決まっていて、その金額も事前にわかっています。収入が入ったら、その月に必要な分を口座に入金しておきましょう。通帳に記帳しなくても**銀行のアプリで口座の入出金が確認できます**。残高不足で口座引落ができないと未払いとなり、滞納扱いになります。滞納すると**遅延損害金を加算して払わないといけない**場合もあります。

OXクイズ 「求人情報に月収 20万円と書いてあった。その会社で働いた時、振り込まれる給料は20万円である」

答えは次のページへ▶

正解は ✕ 実際に振り込まれるのは収入から税金や社会保険料を引いた額（手取り額）

No.2 毎月やりくりするお金

月単位・週単位で使える金額をきめて、その範囲内でやりくりをします。
この「やりくり」が上手くできるようになると、家計は安定してきます。

家計のアナグマ物語<食費・外食費>

マグ：食費をやりくりするために自炊することにしたんだ。お料理は楽しいよ～

アナ：自炊してるの？すごい！ついめんどくさくて外食したり、お惣菜を買ってきたりしちゃう

アナ：でも、一人暮らしの自炊って大変じゃない？

マグ：ぜんぜん大変じゃないよ。炊いたご飯は美味しいし、食材も冷凍や冷蔵で無駄にしないよ。自炊するようになって食費がかからなくなったんだ。お昼もお弁当作ってるよ

アナ：そっか。そうやってお金に余裕ができたら好きなお店に外食に行くようにすればいいんだね。やってみよう！

解説▼

生活費のうちやりくりするお金は月・週単位で予算を決めて使うと、無駄がなくなります。洋服代や理美容費も**予算を決めて「いつ」「いくら」使うのか**を考えておくと、その月の支出の計画の中で考えられるようになります。

家計のアナグマ物語<節約編>

解説▼

ちょっとコンビニで・・・そういった積み重ねが無駄遣いに繋がります。ちょっとした買い物でも、**やりくりの意識**を持つことでお金の使い方は変わってきます。ちょこちょこ買いをするお金を使ったつもりで貯金したら、いくら使っていたか実感できます。水筒を持ち歩いたり、コンビニに行く回数を減らすなど、**自分でできる工夫をして上手なやりくり**に繋げていきましょう。

No.3 貯金

欲しいモノややりたい事のために、毎月自分で決めた額を貯金するようにしましょう。
少額でも構いません。また、急な出費があっても貯金から出すことができます。

家計のアナグマ物語<急な出費編>

マグ：先週急に歯が痛くなって歯医者さんに行ったら、治療費が5,000円もかかって大変だったんだ。まだ治療に行かないといけないんだって

アナ：痛そうだね

アナ：治療費はどうするの？結構かかるんじゃない？

マグ：毎月コツコツ貯金をしていたから、大丈夫だよ

アナ：貯金しておくことが大事なんだね。毎月ちゃんと貯めていくようにするよ

解説▼

生活していると急な出費があります。病院に行った、携帯が壊れた、帰省しないといけなくなったなど、いろいろな場面が考えられます。そういった時の為にも**毎月コツコツと貯金をしていくことで、急な出費があっても慌てずに対応できます。**

解説▼

貯金は**月にいくら貯めていくかを決め**て、毎月確実に貯めていくことで積み上げていくことができます。やりたい事をするためや欲しいモノを買うために、**「いくら」「いつまで」**と目標を決めてもいいし、特に目標が無い時には毎月無理のない額を決めて**コツコツ貯めていくこと**も大切です。

家計のアナグマ物語<貯金編>

アナ：貯金したらいいよってマグが言ってたから、お金が余ったら貯金しようと思ったんだけど、できないんだ。どうすればいい？

マグ：毎月の収入から自分で決めた額を貯金するといいよ。大きな金額でなくてもいいから、毎月決めた額を貯めていくのが大事なんだよ

アナ：そうか。自分で決めた額でいいんだね。まずは2,000円からやってみるよ

マグ：今、毎月2,000円貯金をしてるんだ。やりくりもできるようになってきたし、来月からは3,000円にするつもり。アナも頑張って

OXクイズ　収入があって、まず買うのは「欲しいモノ」にした方が家計管理が上手くいく

答えは次のページへ▶

正解は ✕　家計管理は、まず「必ず払わないといけないお金（家賃や水光熱費など）」を収入から確保して、やりくりするお金（食費など）を考えるようにする。毎月の収入の範囲で暮らしていけるようにすることが大事。「欲しいモノ」は余裕があったら買うようにする

No.4 楽しみのお金

生活の中のちょっとした楽しみは暮らしを豊かにしてくれますが、
楽しみにお金を使いすぎると家計管理に影響が出てしまいます。
毎月の収入から必要なお金（生活費）を確保して貯金をしてから、
余裕があったら「楽しみのお金」を使うようにしましょう。

家計のアナグマ物語<家賃編>

解説▼

毎月の**楽しみのお金は余裕がある時に金額を決めて使います**。楽しみにばかりお金を使っていると必要な生活費が足りなくなってしまいます。**節約ややりくりをして楽しみの支出**ができるように工夫しましょう。

コツ02 支出を記録する

買い物を記録することで「いつ」「いくら」使ったかが分かります。
1か月の生活費を把握し、キャッシュレスの使い方も考えることができます。

家計のアナグマ物語<支出の記録編>

解説▼

「いつ」「どこで」「なにに」「いくら」使ったかを記録することで、自分の買い物の癖や習慣を知ることができます。

限られた収入の中で生活するためには**支出の把握**が必要です。
スマホの家計簿アプリを使ったり、手帳やカレンダーにその日使ったお金の合計額を書くだけでも十分です。
また、キャッシュレスでの買い物は現金の買い物よりも2割増しで使っていると言われています。
キャッシュレスはクレジットカードで決済するのではなく、1カ月や1週間単位で**決まった金額の現金をチャージして使う**ようにすれば支出の管理ができます。

OXクイズ　『手元に現金が無くてもクレジットカードを使うから、とりあえず大丈夫だ！』

答えは次のページへ▶

正解は ✕　クレジットカードの買物は借金と同じ。毎月の収入と支出を把握して、収入の範囲で暮らせるようにする

家計のアナグマ物語<リボ払い編01>

アナ：昨日新しい洋服を買ったんだ

今年流行のコートで、3万円もしたんだけどね

マグ：えっ？

今月は遊びに行ってお金が足りなくなったって言ってなかった？

家計のアナグマ物語<リボ払い編02>

アナ：クレジットカードのリボ払いで買ったんだ

先月もリボ払いで買い物したけど、どれだけ使っても毎月払う金額は同じだから便利なんだよ～

マグ：アナは毎月リボ払いで買い物してるよね

ちょっと心配になったから、リボ払いで買い物し続けていたらどうなるか計算してみたんだ

これを見て

マグから届いた資料A

リボ払いの返済例

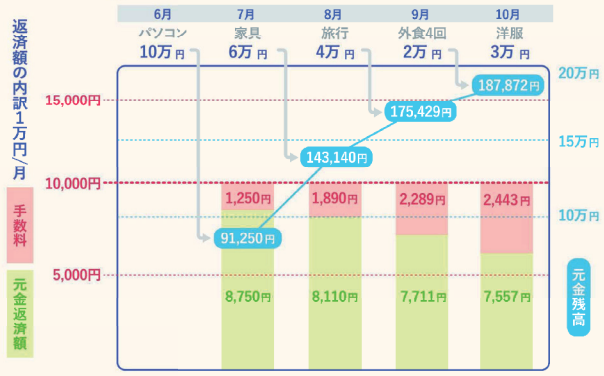
		6月	7月	8月	9月	10月
買ったモノ		パソコン	家具	旅行	外食4回	洋服
買ったモノの金額		10万円	6万円	4万円	2万円	3万円
返済額の内訳1万円/月	手数料		1,250円	1,890円	2,289円	2,443円
	元金返済額		8,750円	8,110円	7,711円	7,557円
元金残高			91,250円	143,140円	175,429円	187,872円

（年利15%・定額1万円コース：非スライド型）

え！こんなに手数料がかかってたなんて…

マグから届いた資料B

毎月のリボでの買い物金額（支払いは次月）



家計のアナグマ物語<リボ払い編03>

マグ：カードで買い物をすることは借金しているのと同じなんだよ

リボ払いだと7月は1万円の返済のうち手数料は1,250円だから、借金は8,750円返したことになってるけど、10月は1万円の返済のうち手数料が2,443円でほぼ倍になってるんだ。だから10月では借金を7,557円しか返していない事になるんだよ

10月になるとリボ払いでの買い物の元金残高は187,872円でこの金額も7月の倍になってる

アナ：毎月1万円返してるから1万円借りてる分を返してると思ってた…手数料が取られてるなんて思ってもみなかったよ

どれだけ使っても返済額は1万円だから楽だなって思ってたけど、ちゃんと考えないといけないんだね

解説▼

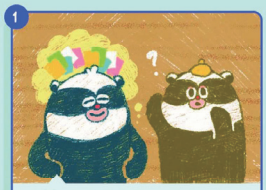
リボ払いは毎月決まった額の返済で一見便利なクレジットカードの利用方法のように思いますが、**手数料が高く、繰り返し使っていると返済金の中の手数料部分の占める割合が多くなり、長期にわたって返済をしなければならなくなります**。また、定額で返済しているので、残高が分かりにくく気づいたら大きな金額になってしまう事があります。（図表参照）クレジットカードでの買い物は、どのような返済方法を選んでも「借金して買い物している」事に変わりはありません。支出を記録する時、クレジットカードで払ったものは、どのような返済方法で**「いつまで」「いくらずつ払うのか」も合わせて確認する**必要があります。

コツ03 「欲しいモノ」がある時どうする

「欲しいモノ」をすぐ買ってしまうと、お金はいくらあっても足りません。
「必要なモノ」と「欲しいモノ」をよく考えて、「欲しいモノ」をいつ、どうやって買うのかを考えることが家計管理には大切なことになります。

家計のアナグマ物語<「欲しいモノ」はいつ買う編>

1



今月のお給料が入ったから、ずっと欲しかったゲーム機とソフトを10本も買ったんだ！

2

給料が入ったからってそんなにお金使って大丈夫？

3

欲しかったモノ買ったらだめ？だってお給料もらったんだから、欲しいモノ買いたいよ

4

欲しいモノを最初に買ったら、お金が足りなくなって家賃とか電気代とか、必ず払わなければならないお金が払えないし、食費とか生活費にも困ることになるよ

解説▼

欲しいモノがある時は「**なぜ欲しいのか**」「**他のものでは代わりにならないのか**」「**今いるのか**」を考えて、いつ買うのかを決めましょう。まず、「**必要なモノ**」に使うお金を考えてから「**欲しいモノ**」を買うかを決めるようにします。欲しいモノが高額な時は「**いつまで**」「**いくら**」**貯めるかを決めて毎月やりくり**をしながら貯金をして買うようにしましょう。クレジットカードで買うとすぐ手に入りますが、**借金をして買っているのと同じ**ことになります。

家計のアナグマ物語<まさか私がサギ被害に!!>

アナ：お気に入りのお菓子が割安で買えるサイトを見つけて申し込んだんだ。コンビニで1万円の電子マネーを買ってコードを教えたけど、商品が送られてこなくて・・・

サイトに連絡したら、「品切れだから返金するので、LINEの友だち登録するように」とメールがあったけど、どうしよう

マグ：それおかしいよ。そうやってLINE登録させてLINEを乗っ取ったり、追加の金額を請求する詐欺があるって聞いたことあるよ

アナ：そうなんだ。怖いなあ・・。じゃあ、同じような被害が増えないように、消費生活センターや警察に相談してくるね

「188」消費者ホットライン（消費生活センター）
「#9110」警察相談専用電話

◀ こうやって通報しないと、また違う人がだまされることになるよ。
じぶんも詐欺にあうかもしれないと思ってきをつけよう！

就職、住まい、借金、お金のことなど暮らしの悩みの相談窓口はこちら

困窮者支援情報共有サイト
～みんなつながるネットワーク～
一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク

家計のことについてお困りの方へ
アナグマ案内所

このサイトでは、あなたの家計を診断し、状況に合わせた制度をご案内しています。

■ 一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-15 サンライズ新宿3階
https://life-poor-support-japan.net/

【教材制作】グリーンコープFP円縁（原案作成）/ 認定NPO法人コミュニティケア街ねっと/（有）CR-ASSIST/小山ひなた（デザイン）

WAM助成 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

発行日：2025年9月1日

第1回 全体会後作成

頑張っているのに、
気がついたら貯金がない…

家の近くに、家計相談
できるところがあるなら
行ってみたいかも！

知らない人に
お金のこと話すのって
勇気がいる…

ちゃんと学んだことないけど
これであってるのかな…？

-家計のことについてお困りの方へ-

アナグマ案内所

「アナグマ案内所」では、あなたの家計を診断し、
状況に合わせた制度をご案内しています。
難しそうなお金の話も、ひとつずつ説明。
無理なく、一緒に暮らしを整えていきましょう。

サイトはこちら▲

印刷して気軽に学べる
テキストも配布中

家計の道しるべ
あなたの家計大丈夫？
簡単にチェックできます

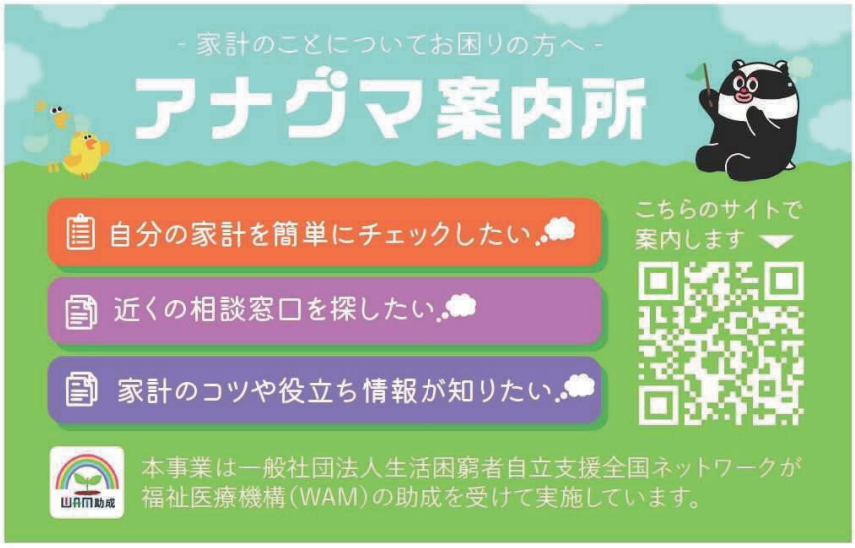
相談窓口
お近くの相談窓口が
検索できます

学習教材
家計のコツや役立つ情報を
分かりやすく案内しています

■ 一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク
〒169-0072 東京都新宿区大久保2−4−15 サンライズ新宿3階
困窮者支援情報共有サイト ～みんなつながるネットワーク～▶
https://life-poor-support-japan.net/

本事業は一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワークが福祉医療機構（WAM）の助成を受けて実施しています。

WAM助成 独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業


- 家計のことについてお困りの方へ -
アナグマ案内所
自分の家計を簡単にチェックしたい
近くの相談窓口を探したい
家計のコツや役立ち情報が知りたい
こちらのサイトで
案内します
WAM助成
本事業は一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワークが
福祉医療機構（WAM）の助成を受けて実施しています。

アナグマ案内所
家計の
道しるべ
スタート
ゆっくり説明します
家計の見直し
参考書
実践できる！
新社会人編
家計を知るための
ワークブック
アナグマ案内所では家計診断だけでなく
自分のペースで学べるテキストも配布中です

令和7年度 社会福祉振興助成事業（通常助成事業）「家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業 」第2回全体会

北海道地区　実施報告

北海道地区　地区委員
一般社団法人北海道ねっとわーく(どうねっと)　佐渡　洋子
(社福)後志報恩会　つなぐしりべし　五十嵐宣勝

2026年2月13日

① 北海道地区におけるアプリ説明会の概要

開催日時	2025年10月29日(水) ①13:30～14:20 家計リスク点検アプリ説明会 ②14:30～16:30 家計支援の情報交換会
開催方法	会場参集（@市民活動プラザ星園） ＋オンライン（ハイブリッド形式）
参加人数	①60名（会場11名＋オンライン49名） ②40名（会場11名、オンライン29名）
内容	四井恵介氏(運営委員・CR-ASSIST) 「家計アプリについて」
運営	地域委員2名、協力部会委員4名、 どうねっと家計改善部会員1名

2026年2月13日

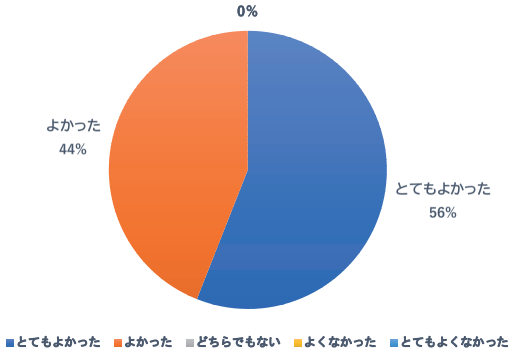
② 実施についての報告

- アプリに対する製作者の意図や想いを語っていただいた
- 実際に操作体験－具体的な使用イメージに
- どうねっと家計支援部会で実施した情報交換会と共同開催とした
- 終了後の情報交換会(どうねっと家計支援部会主催)でも話題に－理解の深まりに
- 地域内でのつながりが広がり、主体的な取り組みが広がる機会となった

2026年2月13日

③ アンケートから

- 説明会に参加してみていかがでしたか。



2026年2月13日

③ アンケートから

- 自由記述より→「使えそう」「入口で有効」「補助ツールとして有望」が多かった

【キーワード抽出】

A) 導入のしやすさ・手軽さ(最頻出)→［低負担・低ハードル設定］

「簡単に取り組める」「特別な前知識が不要」「分かりやすい」「身近な存在になった」

B) 支援の入口としての有効性(本質的評価)→［初期アセスメント補助］

「相談の入り口で活用できる」「会話のきっかけになる」「気づきを促す」「詳細に出すぎないのが良い」

C) 支援プロセスへの適合→［相談現場との親和性］

「面談で使えそう」「補助的に使える」「支援アイテムが増える」「伴走しながら取り組める」

D) クライエント特性との相性→［対象者依存性］

「若年層には使いやすい」「スマホ世代には導入しやすい」「高齢者・障がい者には配慮が必要」

E) 情緒・関係性への影響→［心理的安全性の補助］

「キャラクターが癒し」「抵抗感を下げる」「深刻な相談内容を和らげる」

2026年2月13日

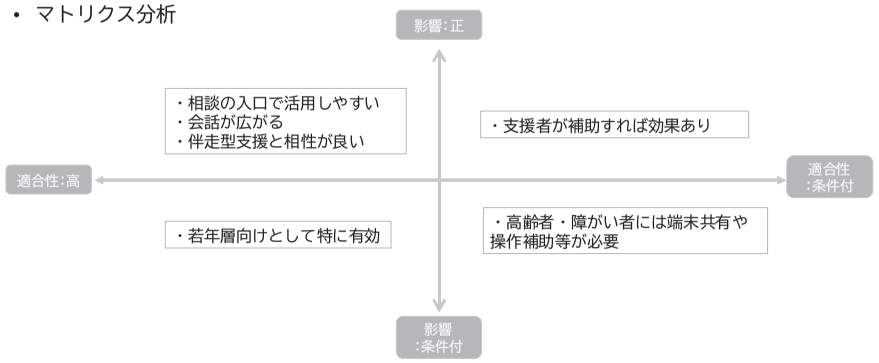
家計アプリ チラシ・テキスト配布状況

エリア	事業所名	アプリ情宣A4チラシ	名刺サイズ案内カード	テキスト（ワークブック）	テキスト（参考書）	支援員向け普及チラシ
札幌市	どうねっと事務局	400	1000	210	210	100
札幌市	NPO法人ひとり親とこどもふぉーらむ北海道	30		30	30	5
札幌市	札幌市生活就労支援センター　ステップ	10		110	110	
石狩市	石狩市社会福祉協議会	50	50	50	50	10
後志	つなぐ　しりべし	100	100	60	60	
江別市	江別市社会福祉協議会	20	50	15	15	
旭川市	旭川市自立サポートセンター	20	50	20	20	
旭川市	かみかわ生活あんしんセンター	10	50	10	10	
中富良野町	中富良野町社会福祉協議会	20	20	20	20	20
留萌振興局	るもい生活あんしんセンター	10	50	10	10	10
函館市	函館市地域包括支援センターあさひ	10		15	15	
函館市	函館市地域包括支援センターこん中央	10	50	10	10	10
函館市	函館市地域包括支援センターときとう	10	10	10	10	3
北見市	北見市自立支援センター	10	50	10	10	
根室	ねむろ日常生活サポートセンター	20	50	20	20	20
オホーツク振興局	オホーツク相談センターふくろう	10	50	10	10	10
紋別市	紋別市社会福祉協議会	0	0	20	20	
	配布協力(16事業所)　合計	**740**	**1580**	**630**	**630**	**188**

2026年2月13日

③ アンケートから

- マトリクス分析



2026年2月13日

家計リスク点検アプリの普及活動についての報告

― 東北ブロックの取り組み ―

東北ブロック地域委員
特定非営利化活動法人　インクルいわて　阿部恵子

地域説明会での報告内容

- 日程：2025年10月30日(木)　15：00～16：00
- 参加者：協力部会員3名
- 　　部会員　3名
- アプリの使用方法、配布物の再確認
- 各県下、自治体単位、各事業所内での広め方の共有　(参考例：岩手県内での進め方)

事務局より協力部会員だけでなく部会員も含めた説明会の募集を実施。

●参加してみての感想。

- アプリ自体は使いやすいなどの好印象。
- 実際に相談に取り入れる際の仕様などの質問あり。

東北人は恥ずかしがり、我慢強さが特徴。

最初は控えめだったが、徐々に話しやすい雰囲気があったように思う。回数を重ねると結束力も強くなりそう。

地域委員会内での実施計画検討

- 日程：2025年9月2日(火)　10：00～10：30
- 参加者：インクルいわて事務局長
- 　　前職の東北ブロック地域委員　2名

- 【岩手県外部会員への普及】

・事務局からの一斉メールを足掛かりに協力部会員及び部会員への周知。

・協力部会員及び部会員に地域委員(阿部より)から直接架電。

- 【岩手県内の普及】

・支援調整会議での出席者、繋がりのある県担当者へのチラシ配布の実施

・定期開催している盛岡市や岩手県央地域の支援調整会議に参加しアプリ紹介。

(東北ブロック内での課題)

・他県とのつながりが薄い。どうやってネットワークを広げるか。

普及活動の実施内容

〈普及活動〉

- **チラシ配布、相談ブース内での掲示**
- **盛岡市支援調整会議(2回)**
- **岩手県内各福祉事務所へ周知の文書をメール送付(24自治体)**
- **岩手県庁地域福祉課のつながりでのアプリ紹介**
  (弁護士、消費センター、県民生活センター、キャリアバンク)

- **協力部会員、部会員による普及活動**

各事務所に持ち帰り、事業所内での周知説明

・西和賀町、住田町など7市町で紹介(岩手県内で約200部)

・福島県いわき市

・宮城県岩沼市、（東松島市）

・秋田県湯沢市、横手市

・岩手県花巻市

★青森県が空白地帯...

〈成果〉

- **ダウンロード数が増加**
- **認知度向上**
- **関係機関との連携強化**

まとめ・今後

- 課題
- デジタル操作への不安

若者世代は取り入れやすい。

高齢世代はどうか？(東北は高齢者が多い)

- 継続利用の難しさ

アプリ利用後、支援員と相談者が共有できているか

もっと対面での説明機会を増加すべきだった

- 対応策
- 対面サポートの強化
- フォローアップ体制の整備

•地域特性に応じた普及を継続
　東北人は恥ずかしがり…
　一旦打ち解けると繋がりやすい ？
→もっと対面での機会を増加

•関係機関との連携強化
→岩手県内の周知方法は確立できた
　ノウハウを他県でも展開できるか

•東北全体での横展開を推進
　青森県が空白…

•引き続き普及活動を
　　進めていきましょう！

わたしたち関東甲信越チーム　-Who We Are－

We are 関東甲信越地域委員

座間市福祉部参事
地域福祉課長
林星一
チームの精神的支柱

座間市社会福祉協議会
加藤あずさ
チームいちのバランサー

生活クラブ生活協同組合神奈川
たすけあいネットワーク事業部
川澄弥恵
チームの安心感

生活クラブ生活協同組合千葉
くらしと家計の相談室
榊原樹子
チームきっての行動派

生活クラブ生活協同組合千葉
くらしと家計の相談室
平川尚子
チームメンバー事務局
の二刀流

FP協会/あしなが育英会
藤具圭介
関東の
高方＆事務局担当

拡大地域委員(2025年度)

中森さん

國峯さん

ご協力ありがとうございます！

わたしたちの取り組み　-What We Do－

委員会の開催(3回)

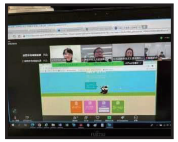
業務の合間を縫って地域委員会を開催しました

※地域委員会・1回拡大委員会・2回

林さん＆川澄さん
テキスト＆アプリプレゼンテーション

◎生活金融ネット・関東のステップアップ研修

國峯さん(拡大委員)
アプリ広報@西東京市民祭り



加藤さん＆川澄さん
テキスト＆アプリプレゼンテーション

横浜市内にて就労準備支援事業を実施している法人？
事業での活用を情宣 および 資料配布

中森さん(拡大委員)
国府支援への周知
市ホームページへのUP
の検討(次年度以降検討)

榊原さん＆平川さん
テキスト＆アプリ広報活動
@支援調整会議/区民祭り/校内場所カフェ/
社会的養護施設/高校生(高３生)and more

藤具
テキストの広報for
社会的養護のこどもたち/放のこどもたちや職員
@鳥取県米子市
@高知県高知市

わたしたちの成果/提言　-What We Propose－

(知的)障害者/社会的養護
のニーズ大

困窮窓口に来る相談者には少し使いづらい/相談の現場で活用しにくい
⇒関東甲信越メンバーで共通していたのが
「(知的)障がい者支援現場のニーズ」
「社会的養護/若者支援者のニーズ」
自立支援の中で「家計」に関しては大きなニーズがある
⇒テキスト等はルビ入りのほうがいいかも

グッドプラクティス
があるとより使いやすい

広報先から**テキスト/アプリの使い方や事例を知りたいという声多数**
⇒**グッドプラクティスがあると専門職は使いやすい！**

地域委員内の
情報共有/役割分担が課題

地域委員として情報共有や普及活動の協力体制が脆弱だった
⇒普及活動の状況やアプリ/テキストのアップデート情報など情報の非対称性が大きい
⇒情報共有の方法や委員同士の協力体制をより強化したい！

家計リスク点検アプリと学習教材普及活動報告

東海・北陸ブロック

作成：名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山　塚本

実施期間：2025年9月から2026年1月
対　　象：東海・北陸地方(主に愛知県内)

・愛知県庁地域福祉課→生活困窮者支援グループ内にデータを周知

・知多地域権利擁護支援センターが開催する「権利擁護サポーター講座」の会場にて、知多半島圏域内の日常生活自立支援事業担当者に周知。後日、知多地域権利擁護支援センターから、知多半島圏域内の市役所担当課、福祉関係機関にデータを周知。問い合わせのあった知多南部基幹相談支援センターゆめじろうへ10部・美浜町社協へ50部、全国ネットより送付

・愛知県名古屋市役所健康福祉局地域共生推進部地域共生推進課→名古屋市内生活困窮者自立支援機関3センター→名古屋市内での周知活動について、意見聴取中(2026年1月時点)

・地域協力委員会へ周知

結果・課題

・愛知県庁地域福祉課の担当者は周知に前向きだったものの、「特定の民間団体の独自の活動に対する行政の関与の在り方は問われる。公文書等で周知について触れてあると協力しやすい」という声があった。
　県庁の協力があれば、県社協等の協力も得られやすくなると思われるため、県庁との連携の好事例があれば、他の地域の地域委員に横展開してほしい。

・名古屋市内については、自治体の大きさと、草の根的活動との齟齬から周知の限界が感じられた

・愛知県外については、連携不足が感じられた(愛知県以外はほとんど周知できなかった)

令和7年度 社会福祉振興助成事業（通常助成事業）
家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

地域での普及活動について
近畿ブロック

近畿ブロック
地域委員　覺前　典文

①神戸市での普及活動について

・１０月の神戸市内の各区役所の支援調整会議にて、地域普及活動として説明を行ないました。
・東灘区、灘区、中央区、兵庫区、長田区、須磨区、北須磨支所、垂水区、西区、計９箇所で説明を行ないました。
・その他、長田区、兵庫区でのケースワーカー向けの家計改善支援事業の研修会の際に、地域普及活動として説明を行ないました。
・使用した資料は、一般向け情宣用A4チラシ、一般向け名刺サイズ案内カード、テキスト２種（ワークブック・参考書）、普及用チラシを使用しました。

②各箇所での反応について

・テキスト２種（ワークブック・参考書）は、インパクトが強く非常に興味を持っていただきました。
・現時点では、一旦支援者側で使用してほしいとお伝えしていますが、相談者に使用してよいか、との問い合わせが多数届いております。
・神戸市では、非常に好評いただいている様子が見受けられました。

③滋賀での普及活動について

・9月～１０月には野洲市社会福祉協議会をはじめとして関係機関に地域普及活動として５か所で説明を行ないました。

・２月には、つながり若者センター・滋賀県地域擁護推進協議会での定例会議の中で　普及活動として参考書・ワークブックの紹介、家計相談の窓口の紹介、を行ないました。

④滋賀での説明会について

・滋賀県社会福協議会の特例貸付相談支援室・相談支援チームの相談員さんに向けて、アプリと参考書・ワークブックの紹介をしました。

・アプリの体験を通して市町への相談に繋げるきっかけ作りや、社協の相談会の待ち時間にアプリをしてもらうという案も出てとても好評をいただきました。

家計アプリ テキストブック 普及活動
中国・四国ブロック

地域委員　今井博明　黒田明穂

中国・四国ブロック報告

- 説明会案内を家計部会員の方へ発信
- 説明会開催はハイブリット形式
- 説明会後　チラシ・テキストブック資料提供希望で　拡がる
- 中国・四国ブロック　全県に拡がる

中国・四国ブロック協力部員１１名

中国・四国ブロック報告

愛媛県みきゃん

島根県しまねっこ

鳥取県トリピー

香川県うどん脳

説明会2025.8.29

岡山県国際交流センター

参加者44人（会場７名　オンライン３７名）

岡山県

高知県くろしおくん

徳島県すだちくん

山口県ちょるる

広島県ひろしま清盛

中国・四国ブロック報告

- 地域委員２名で　連絡取り合いながらすすめた
- 鳥取県社協　徳島県社協　高知県社協　島根県社協

普及活動を通しても つながる大切さを感じた

- 岡山市の一例ですが、岡山市自立支援課へ要請し

　→子ども福祉課へつながり　→各区の代表会議での紹介　家計改善支援事業の紹介時間をもらう

　→そのつながりで　問い合わせあり　こども家庭センターへ出向き　相談者とつながる

■岡山県社協への発信で　関係会議・研修での情宣時間確保頂き　3つの会で紹介

　→その会参加の　岡山県職員より声がかかり　県人材育成研修で紹介

　→その会参加の事業所より　説明要請入り　出向き紹介

■岡山市関係会議での情宣でも　問い合わせが入り　こども学習支援の方からの反響が大きかった

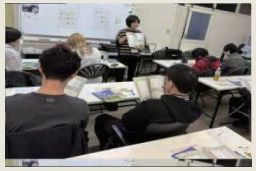
　会議でつながった高校からも依頼がはいり　紹介できた

多くの方からの問い合わせが入り反響の良さを感じた

中国・四国ブロック報告

現場からの希望の声

- テキストではなく　アプリ上で　自身で記入したい
- 自分のデーターが残り　家計改善後のデーターと比較が自身でもしたい
- 新生活への高校だけでなく　低学年（小学校・中学校への教材もほしい）

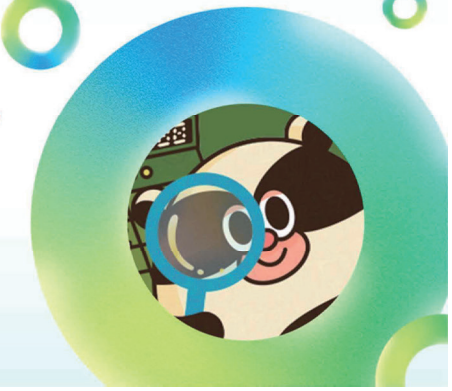


社会福祉振興助成事業（通常助成事業）

家計リスク点検アプリと学習教材の全国普及と早期支援に繋げる事業

活動報告

福岡ブロック



配り方の検討

印象や配りやすさに配慮して
ビニールパックに封入

地域委員会

福岡ブロック

木村　和代（社会福祉法人グリーンコープ）
森崎　　薫（社会福祉法人グリーンコープ）
渡辺　貴子（社会福祉法人グリーンコープ）
村上　和子(社会福祉法人共生の里)

1. 支援連携先へ

●市役所・町役場へ
大牟田市（保護課、福祉課）八女市（福祉課）朝倉市（保護課、子ども未来課）筑紫野市（保護課、子ども家庭課、学校教育課、高齢者支援課、生活支援課、生活福祉課）柳川市（生活支援課）みやま市（保護課）大川市（障がい福祉係、保護係、地域福祉係）田川市（生活支援課）久留米市（生活支援課）糸島市（福祉相談係、保護係、収税課、水道課）行橋市（生活支援課、子ども支援課、介護保険課、障がい者支援室、人権政策課、収納課）遠賀町（福祉課、都市計画課、市民課）鞍手町（福祉課）みやこ町（介護保険係、福祉係、高齢者支援係、子育て支援係）芦屋町（福祉課、税務課）岡垣町（福祉課）水巻町（福祉課）小竹町（福祉課）大木町（福祉課）大刀洗町（福祉課）筑前町（福祉課）広川町（福祉課）東峰村（住民福祉課）

●社会福祉協議会へ
福岡県、太宰府市、大牟田市、小郡市、八女市、朝倉市、柳川市、田川市、行橋市、香春町、福智町、大任町、添田町、川崎町、桂川町、小竹町、鞍手町、遠賀町、芦屋町、岡垣町、広川町、筑前町、太刀洗町、島根県

●支援調整会議で
春日市、古賀市、大牟田市、八女市、柳川市、若宮市、田川市、行橋市

●その他（各自治体複数拠点）
女性サポートホットライン、ひきこもりサテライト、母子寡婦福祉会、子ども家庭支援センター、要保護児童対策地域協議会、成年後見センター、保健福祉事務所、保健福祉事務所、障がい者等幹相談支援センター、療育センター、福岡抱樸館、子育て支援センター、重層的支援体制整備事業地域包括支援センター、民生委員会、一時生活支援事業、他自治体の生活困窮者自立支援事業

2. 学校へ

新社会人への配布を提案
困窮予防としての普及

筑紫女学園大学

筑紫女学園大学前田佳宏准教授を訪問しました。児童養護施設出身の方の事例で、用いることができそうだとのご意見をいただきました。

行橋高校では既に高校3年生198名全員に配布を完了しています。

行橋高等学校

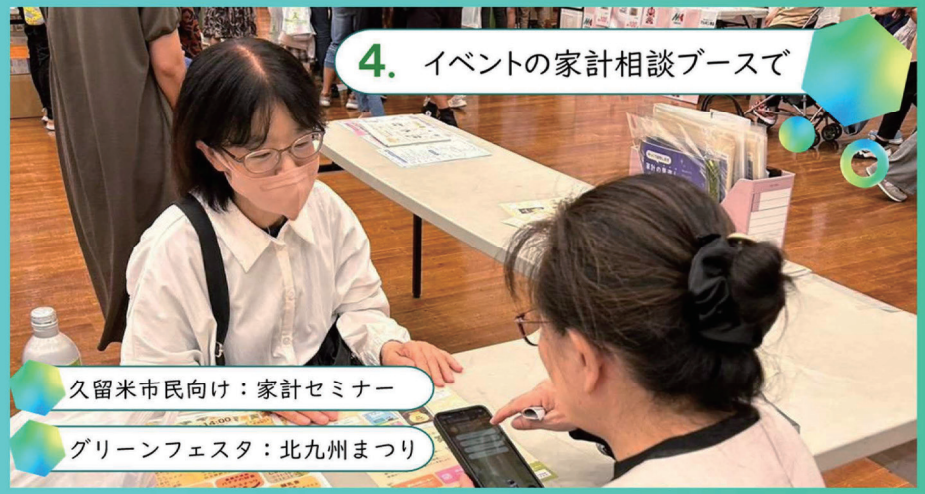
3. 成人式対象者へ

新社会人への普及

複数の自治体の成人式担当者に向け、普及の働きかけをしました。

紙面の配布をしないという自治体が多い中、大牟田市には二次元コードやアドレスの配布をお願いすることができました。

4. イベントの家計相談ブースで



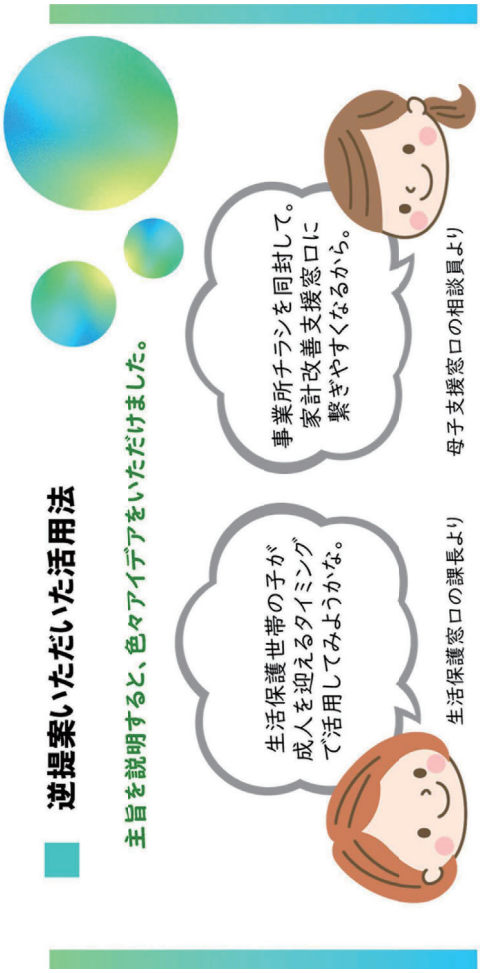
- 久留米市民向け：家計セミナー
- グリーンフェスタ：北九州まつり

5. 自法人の各支援部署で

身近な自法人でしっかり活用

自法人の各福祉部署へもアプリと教材の活用の普及活動を行いました。

- 社会福祉法人 グリーンコープ
- 社会福祉法人 抱樸
- 社会福祉法人 共生の里


逆提案いただいた活用法
主旨を説明すると、色々アイデアをいただけました。
生活保護世帯の子が成人を迎えるタイミングで活用してみようかな。
生活保護窓口の課長より
事業所チラシを同封して。家計改善支援窓口に繋ぎやすくなるから。
母子支援窓口の相談員より

福岡ブロック
普及先 121カ所
配布資料 1,501部

地域委員会開催報告
ー広域地域における分散型普及の工夫ー

九州（福岡以外）エリア

分散型・現場直結型での普及

•各県・各地域で

既存の会議・訪問機会を活用

・支援調整会議
・社会福祉協議会の課内連絡会議
・自治体・社協・地域包括への個別訪問

新しく完成した

・家計リスク点検アプリ
・学習教材（参考書・ワークブック）

を **その場で見せて説明**

•九州（福岡以外）は

・地理的に広域
・支援員同士が一堂に会しにくい

•そのため

集合研修型の普及は現実的ではなかった

•一方で

現場からは
「新しいアプリ・教材をどう使うか知りたい」
というニーズがあった

県名	開催回数	参加人数	ポイント
佐賀	１４	２８７	地域包括支援センターや従事者研修など
長崎	１５	６４	行政の保護課にもアプローチ
大分	１１	１８１	各市の支援調整会議を活用。
熊本	9	１１２	このほかに高校生千名へ金銭教育講座開催
鹿児島	3	6	地域委員がいない中、自立や福祉課を訪問
宮崎	2	6	熊本から説明のため宮崎へ。歓迎いただく
合計	**５４**	**６５６**	

家計リスク点検アプリと学習教材の
全国普及と早期支援に繋げる事業
高校生への金銭教育の報告

九州（福岡以外ブロック）
社会福祉法人グリーンコープ（熊本）　高濱　千夏

社会福祉法人グリーンコープ

- チラシ・名刺サイズカードを配布し
  QRコードを一緒に確認
- 「最後に送信ボタンを押す」など
  つまずきやすい点を事前に共有
- 「どの場面で使うか」を
  - 相談初期
  - 家計相談への導入

  に絞って説明

- **広域エリアほど分散型が有効**
- 既存の会議・訪問機会を使うと
  負担なく普及できる
- 説明は
  「どの相談場面で使うか」に絞ると
  伝わりやすい

多くの地域で共通した反応

- 「家計の話を切り出しやすい」
- 「相談初期の入口として使える」
- 「結果が見えるので説明が楽」
- 「教材があることで支援の共通認識ができる」

特に効果的だった点

- その場でQRを読み取り、
  “自分が使うイメージ”を持ってもらえた
- 小学生、中学生に向けた教材の要望が上がった。

家計の見直し参考書をベースに授業を構成

①熊本県消費生活講座

（消費者支援ネット熊本より依頼）

11月4日　県立熊本北高等学校　3年生　350名

11月10日　私立有明高等学校　3年生　150名

1月19日　県立人吉高等学校五木分校　3年生　2名

2月19日（予定）県立熊本農業高校　3年生　360名

北高は進学校のため、進学した場合に特化した話。仕送りの金額を相談していない世帯が多かった。

有明高校は進学、就職、看護科へ内部進学と多様な進学先だったため、講師３名で分担してワークショップを対応。
先生の感想「１時間ではもったいない。来年は２コマ以上で」

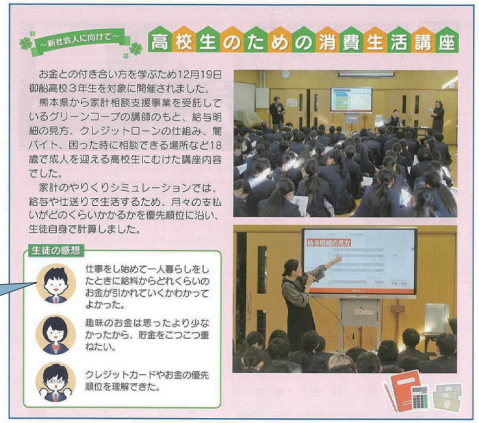
五木分校は、生徒二人とも就職。自宅から通勤の予定だった。どうしても車が必須な土地柄。車の維持費や将来一人暮らしをするために計画的に貯金する方法など、実践的な講座となった。

②御船町社会福祉協議会からの依頼

１２月１９日　　県立御船高等学校３年生　１６０名

御船町社会福祉協議会の地域貢献活動の一環として、地元の県立御船高等学校３年生を対象に、「新社会人に向けたお金の使い方」講座を毎年開催されており、今回で３回目。
進路は進学と就職が半々。先生からは「分かりやすく、簡潔に。
給与明細の見方、奨学金が返せない時の対処法など、実用的な話をお願いしたい」

１月発行の
「みふね社協だより」にて
紹介いただきました。



～新社会人に向けて～

高校生のための消費生活講座

お金との付き合い方を学ぶため12月19日御船高校３年生を対象に開催されました。
熊本県から家計相談支援事業を受託しているグリーンコープの講師のもと、給与明細の見方、クレジットローンの仕組み、闇バイト、困った時に相談できる場所など18歳で成人を迎える高校生にむけた講座内容でした。
家計のやりくりシミュレーションでは、給与や仕送りで生活するため、月々のお払いがどのくらいかかるかを優先順位に沿い、生徒自身で計算しました。

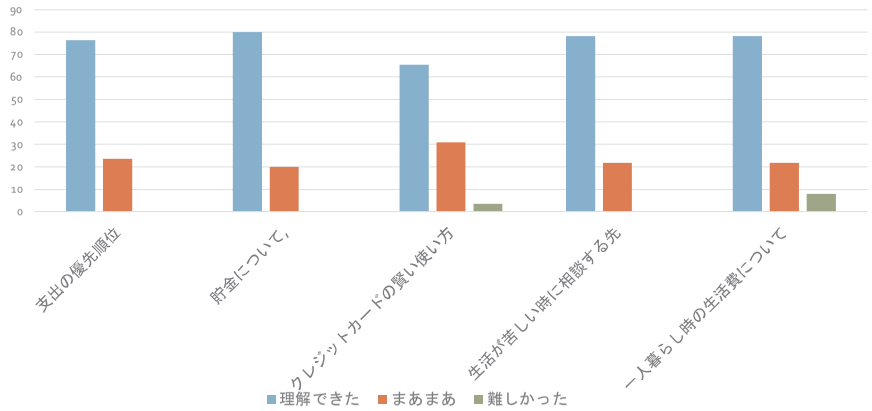
生徒の感想

仕事をし始めて一人暮らしをしたときに給料からどれくらいのお金が引かれていくかわかってよかった。

趣味のお金は思ったより少なかったから、貯金をこつこつ重ねたい。

クレジットカードやお金の優先順位を理解できた。

講座の理解度について　アンケート結果



アンケートに寄せられた感想

・思ったより、自由に使えるお金が無くて驚いた　効率的にやっていこうと思う。この講座を受けてためになることをたくさん知ることができたので良かったと感じた。

・実際に自分の行く会社の求人票に書いてある手取り額と必要な金額を引いてみると手に残るお金っていうのはほんとに少ないし様々なものが多く生活するのも結構苦労するんだなと思いました。

・仕事をし始めて一人暮らしをしたときに給料からどれくらいのお金が引かれていくかを計算して実際に自分が自由に使えるお金の金額がだいたいわかってよかった。

・趣味などに使える分のお金は思っていたより少なかったので将来は貯金をコツコツ重ねて、旅行に行ったり好きなものを買いたいと思いました。

・親にもお金のことを心配されていたから講話を受講してお金の使う優先順位が分かった

・仕事をしだしたらいきなり大金が入るからつい浮かれて散財してしまうかもしれないからそうならないようにしっかり計画を立ててお金を使うことの大切さを学ぶことができた。

沖縄ブロック報告

地域説明会の様子

2025/9/17　現地会場の様子

2025/9/17　ZOOM参加者の様子

地域説明会

沖縄県では、年に数回、各地区の家計改善支援員が集まって地域の情報共有や困難事例についての検討会を行っています。その参加者を中心に説明会を行いました。

日　　時：2025年　9月　17日　（約1時間）

開催方法：集合＆ZOOM

参　　加：16名（県内の家計改善支援員、自立相談支援員など）

内　　容：資料⑤を活用して活動内容を説明。実際にアプリを試用してもらったあとにワークブックと参考書について解説し、意見交換を行った。

普及活動

地域の社会福祉協議会と生活保護課を訪問し、関心を持ってくれた方に対して説明を行い、ツールを配布しました。

日　　時：2025年10月～12月

方　　法：各事務所を訪問

参　　加：計64名（社協職員、生活保護課職員）

内　　容：資料⑤を活用して活動内容を説明。実際にアプリを試用してもらったあとにワークブックと参考書について解説し、意見交換を行った。

感想等

【参加者より】

・大学進学や就職自立を目指す子どもたちへの支援に活用したい
・キャラクターがかわいいので、家計に課題がある人も興味を持ってもらえそう
・テキストの家計表がシンプルで使いやすそう
・就労支援セミナーで活用したい
・家計改善支援事業に繋ぎやすくなりそう

【地域委員として】

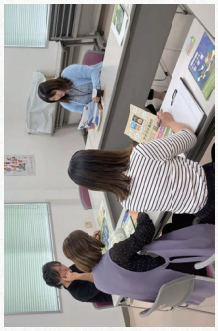
・貸付担当以外の社協職員も話を聞いてくれて、家計改善支援事業の広報活動につながった。
・生活保護課で特定被保護の家計改善支援事業の案内をしても反応が少なかったが、アプリの案内を同時に行うことで、対象者のイメージ共有をすることができた。
・家計改善支援員がいない離島等での活用を積極的に進められたらと感じた。

【普及活動の実施機関リスト】

八重瀬町社会福祉協議会
南風原町社会福祉協議会
与那原町社会福祉協議会
北谷町社会福祉協議会
嘉手納町社会福祉協議会
西原町社会福祉協議会
沖縄県中部福祉事務所　生活保護班

※今後も活動継続予定です！
地区の社会福祉協議会
県内離島の社協職員
役所の子育て支援部署職員など

普及活動の様子



2025/12/2　北谷町社協での様子

2025/12/2　嘉手納町社協での様子

家計改善支援アプリ「家計の道しるべ」アクセス集計　報告

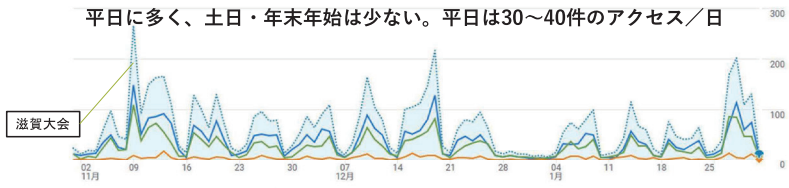
2026.2.13

CR-ASSIST

アクセス数推移（11月～1月）

3ヶ月で2403回の表示（利用者数は1340件）

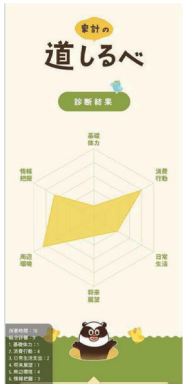
平日に多く、土日・年末年始は少ない。平日は30～40件のアクセス／日



グラフに表示　検索...　1 ページあたりの行数: 10　1～3/3

	ページ タイトルとスクリーン クラス	表示回数	アクティブ ユーザー	アクティブ ユーザーあたりのビュー	アクティブ ユーザーあたりの平均エンゲージメント時間	イベント数
	合計	6,057 全体の 100%	1,945 全体の 100%	3.11 平均との差 0%	3 分 02 秒 平均との差 0%	すべての
1	アナグマ案内所	3,340 (55.14%)	1,798 (92.44%)	1.86	28 秒	13
2	家計の道しるべ	2,403 (39.67%)	1,340 (68.89%)	1.79	3 分 42 秒	7
3	当サイトについて - アナグマ案内所	314 (5.18%)	228 (11.72%)	1.38	20 秒	

家計リスク点検アプリ　家計の道しるべ



アクセス数推移（11月～1月）

1人あたり、3回ほどページを開いている。

アクセスした方のうち、40～45％が最後まで回答

結果表示した方のうち、22～35％がデータ送信

	ページ表示（回数）	ページ表示（人数）	結果表示（回数）	データ送信
11月	2,241	727	332（45.7%）	117（35.2%）
12月	2,101	755	303（40.1%）	73（24.1%）
1月	1,715	574	253（44.1%）	56（22.1%）

回答者数および内訳

- 461件の回答（8月～2月7日まで）

あなたの年齢

	N	%
18歳未満	5	1.1%
18～29歳	48	10.4%
30歳～39歳	63	13.7%
40歳～55歳	205	44.5%
56歳～64歳	104	22.6%
65歳以上	36	7.8%
合計	461	100.0%

同居中の子ども（18歳以下）

	N	%
いない	279	60.5%
1人	79	17.1%
2人	73	15.8%
3人以上	30	6.5%
合計	461	100.0%

婚姻状況

	N	%
未婚	116	25.2%
既婚	264	57.3%
離別	70	15.2%
死別	11	2.4%
合計	461	100.0%

ご職業

	N	%
高校生	5	1.1%
大学生	4	0.9%
会社員	340	73.8%
自営業	15	3.3%
パート・アルバイト	73	15.8%
無職	24	5.2%
合計	461	100.0%

世帯人数

	N	%
1人	95	20.6%
2人	144	31.2%
3人	90	19.5%
4人	97	21.0%
5人以上	35	7.6%
合計	461	100.0%

年齢別集計

	ターゲット小分類												合計
	高校生	高齢者	単身高齢者	その他	大学生（実家）	大学生（独立）	新社会人（実家）	新社会人（独立）	子育て世帯	ひとり親	氷河期世代（ひとり親）	氷河期世代	
18歳未満	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
18～29歳	2	0	0	15	2	0	10	15	3	1	0	0	48
30歳～39歳	0	0	0	31	0	0	0	0	30	2	0	0	63
40歳～55歳	**0**	**0**	**0**	**177**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**8**	**20**	**205**
56歳～64歳	0	83	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104
65歳以上	0	26	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
	5	109	31	223	2	2	10	15	33	3	8	20	461

	ご職業を教えてください						合計
	高校生	大学生	会社員	自営業	パート・アルバイト	無職	
18歳未満	3	2	0	0	0	0	5
18～29歳	2	2	32	1	6	5	48
30歳～39歳	0	0	55	2	3	3	63
40歳～55歳	0	0	158	6	36	5	205
56歳～64歳	0	0	78	4	15	7	104
65歳以上	0	0	17	2	13	4	36
	5	4	340	15	73	24	461

回答者数および内訳

- 461件の回答（8月～2月7日まで）

	N	%
高校生	5	1.1%
高齢者	109	23.6%
単身高齢者	31	6.7%
その他	223	48.4%
大学生（実家）	2	0.4%
大学生（独立）	2	0.4%
新社会人（実家）	10	2.2%
新社会人（独立）	15	3.3%
子育て世帯	33	7.2%
ひとり親	3	0.7%
氷河期世代（ひとり親）	8	1.7%
氷河期世代	20	4.3%
合計	461	100.0%

	N	%
高校生	5	1.1%
大学生・新社会人（一人暮らし）	17	3.7%
大学生・新社会人（実家）	12	2.6%
ひとり親	11	2.4%
氷河期世代	20	4.3%
その他	256	55.5%
高齢者	140	30.4%

年齢別集計

	婚姻状況				合計
	未婚	既婚	離別	死別	
18歳未満	3	0	2	0	5
18～29歳	35	13	0	0	48
30歳～39歳	19	42	2	0	63
40歳～55歳	40	126	37	2	205
56歳～64歳	14	60	25	5	104
65歳以上	5	23	4	4	36
	116	264	70	11	461

	同居中の子ども（18歳以下）				合計
	いない	1人	2人	3人以上	
18歳未満	3	0	0	2	5
18～29歳	44	3	1	0	48
30歳～39歳	31	9	13	10	63
40歳～55歳	87	50	54	14	205
56歳～64歳	84	14	5	1	104
65歳以上	30	3	0	3	36
	279	79	73	30	461

	世帯人数を教えてください					合計
	1人	2人	3人	4人	5人以上	
18歳未満	3	0	0	1	1	5
18～29歳	20	13	4	8	3	48
30歳～39歳	14	10	12	18	9	63
40歳～55歳	27	53	46	63	16	205
56歳～64歳	21	53	21	6	3	104
65歳以上	10	15	7	1	3	36
	95	144	90	97	35	461

氷河期世代対応

- ＜定義・概要＞
- 就職氷河期世代とは、バブル経済崩壊後の就職環境が極端に厳しかった時期（おおむね1993年～2005年頃）に、新卒として社会に出た世代を指します。企業の採用抑制やリストラが相次いだため、正社員として就職できず、非正規雇用やフリーターにとどまる人が増加した世代。2022年制定の「就職氷河期世代活躍支援法」では、1970年4月2日～1985年4月1日生まれを対象に定義。

- ターゲットとしての特徴
- １）非正規・フリーター、２）キャリア形成の遅れ、
  ３）リスキリングのハードル、４）精神的不安
- 単身中高年の不安定就労層とイコールとはせず、**子どもの有無は問わず、正社員ははずす形**。対象は、（＝2025年4月～2026年3月時点での年齢、40～55歳）
  ひとり親についても除外
- ⇒ 次のような点に関する設問を用意
  ・不安定就労かどうか
  ・スキルアップへの課題を抱えているか
  ・精神的不安をもっているか

⇒回答者
氷河期世代は年齢だけで区切ると
205名（44.5%）となるが、
正社員を除くと、28名のみとなった。
そこから、ひとり親を別ターゲットに分類すると20名のみ。

オリジナルキャラクターについて

モチーフ『アナグマ』

アナグマをメインキャラクターに設定する理由

アナグマは毎年巣を拡張し、沢山の出入り口を作ります。
何世帯かの家族で巣を共同使用する仲間思いな仲良し上手でもあり、アナグマの作った巣穴は
狸や狐をはじめとした色々な動物も同じ巣穴を使用するため、森の建築家とも言われています。
このアナグマキャラクターたちが家計支援の出入り口をもっと広げていってくれますようにと願いを込めて。

メインキャラクター

アナキチ

チュンキチ

その他サブキャラクター

アナ

マグ

NEEDSさん

WANTSさん

令和8年度の活動予定

1、家計リスク点検アプリと新社会人向けテキストの継続した全国での普及活動

①昨年度完成したアプリと教材の普及活動の継続
②一般市民も含め、広く活用を促す

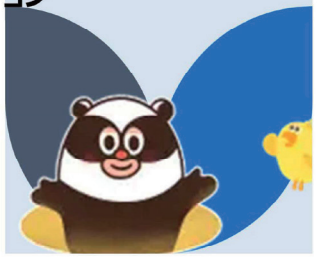
1、家計リスク点検アプリと新社会人向けテキストの普及活動

2、小・中・高生用のテキストの完成と普及活動

3、ひとり暮らしを想定した生活費のシミュレーションアプリの開発

4、ひとり親世帯支援ツール開発に向けた調査

5、地域委員体制の見直し



2、令和７年度に開発した子ども向け教材（小・中学生用、高校生用２種）の完成と普及活動

①本日紹介したテキストを完成させ、全体会で説明する

②学校現場や居場所等での活用を呼びかける

3、ひとり暮らしを想定した生活費のシミュレーションアプリ開発

①ひとり暮らしをする際に手軽に１ヶ月の生活費をシミュレーションできるアプリを開発する

②アナグマ案内書に追加機能で入れる

4、ひとり親世帯向けの支援ツール開発に向けた調査

①ひとり親世帯の支援団体とともに、ひとり親世帯向けの支援ツールの開発にむけた家計管理の現状調査に取り組む。

5、地域委員体制の見直し

①各ブロック内での横の繋がり深まるよう、地域委員の体制を見直します。

②協力部会員も含め、地域委員の皆様にもご相談いたします。

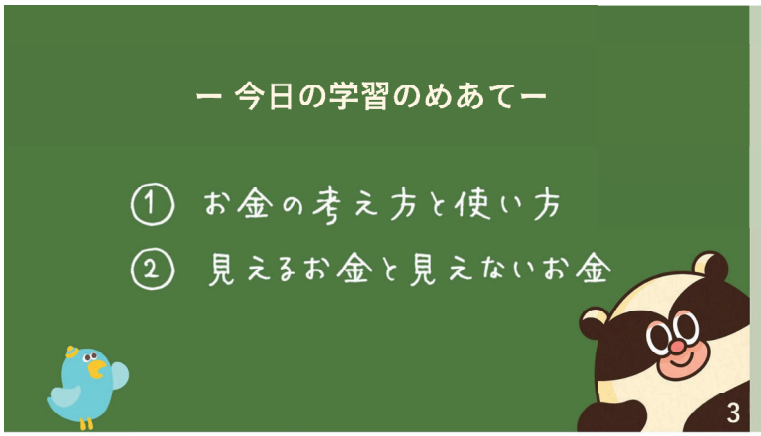
WAMの事業継続決定後に全体会を開催します

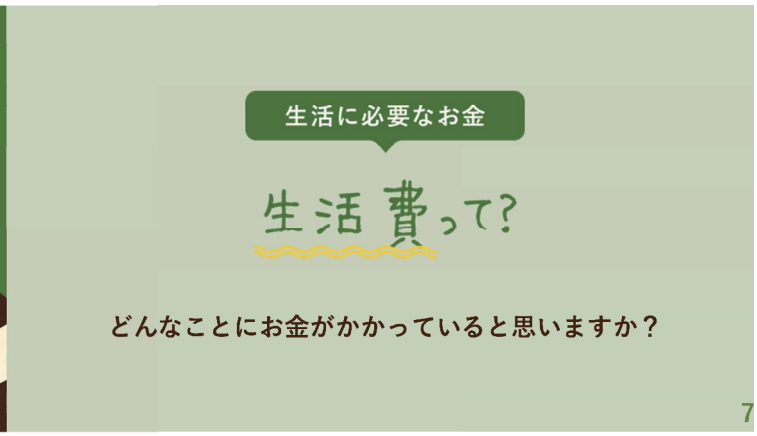
お金の教室
小・中学生

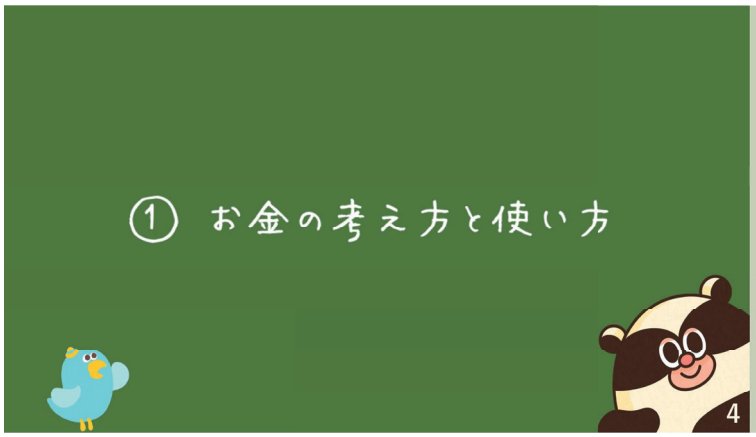
わたしたちの身の回りのモノやサービスは
誰かが作っています。
お金はそのモノやサービスに
「ありがとう」を伝える道具です
5

もしお金を自由に使えるとしたら
何を買いたいですか？
2

でも…
お金がないとモノやサービスを買うことができません。
そこでお金をもらうために仕事をしています。
誰かの役に立つことで
「ありがとう」のしるしとしてお給料をもらっています。
6


ー今日の学習のめあてー
① お金の考え方と使い方
② 見えるお金と見えないお金
3


生活に必要なお金
生活費って?
どんなことにお金がかかっていると思いますか？
7


① お金の考え方と使い方
4

生活に必要なお金
生活費って?
8

つなわたり家は4人家族（母・わたし・弟・父）です

次の給料日まで<u>あと7日</u>あります。
10,000円で給料日まで生活しないといけないとしたら
皆さんはどうお金を使いますか？

お給料日まで残り７日。
わたしたち家族の今の状況を
ご説明しますと・・

9

① 母「食べ物がないから、買いに行かないと」
② 父「子どもが熱を出した！病院に連れて行かないと」
③ 弟「今週発売のゲーム、絶対欲しい！」
④ わたし「学校から帰ってきて食べるおかしがない」
⑤ 父「スマホの調子が悪くて修理に出さないと」
⑥ 父「ガソリンがほとんど入っていなくて会社に行けない」
⑦ 母「シャンプーやトイレットペーパーがなくなりそう」

10

まずは自分で考えてみましょう

１万円以内で優先順位を考えて、番号を入れましょう

項目	必要なお金	わたしの考え	グループの考え
食費	5,000円		
医りょう費	1,300円		
ゲームソフト代	4,000円		
おかし代	700円		
修理費	4,000円		
ガソリン代	2,000円		
日用品費	1,000円		
合　計	18,000円		

自分で考えたあとは、グループでの話し合いをしてみましょう

11

どんな意見が出ましたか？
各グループの結果を発表してもらいましょう

		1 グループ	2 グループ	3 グループ	4 グループ	5 グループ	6 グループ	7 グループ	8 グループ	9 グループ	10 グループ
食費	5,000円										
医りょう費	1,300円										
ゲームソフト	4,000円										
おかし	700円										
スマホ修理	4,000円										
ガソリン代	2,000円										
日用品	1,000円										

12

ニーズ(NEEDS)とウォンツ(WANTS)

NEEDSさん

ニーズ

ないと困るもの

食事
住居
水道・電気・ガス
電話
必要最小限の洋服やくつ
仕事や生活に必要な車
など

ウォンツ

なくても困らないもの

外食
レジャー
ぜいたく品
必要以上に高価な服や靴
高級な車
など

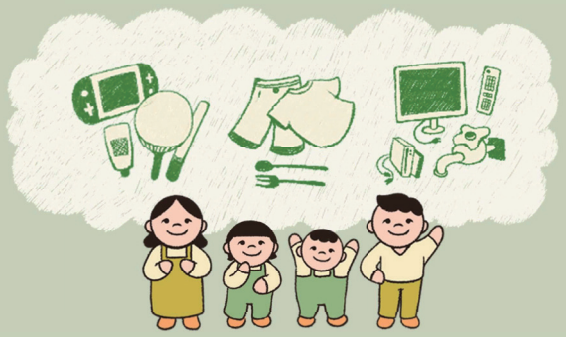
WANTSさん

13

ニーズだけで
人は幸せに暮らせるでしょうか

14

自分らしく生きるためのお金



15

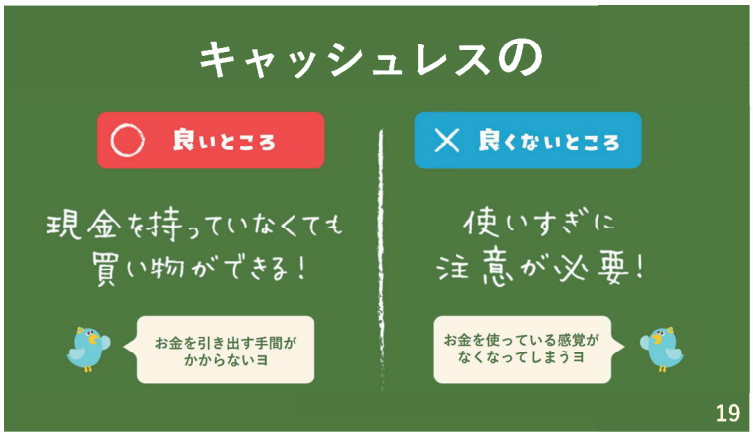
② 見えるお金と見えないお金

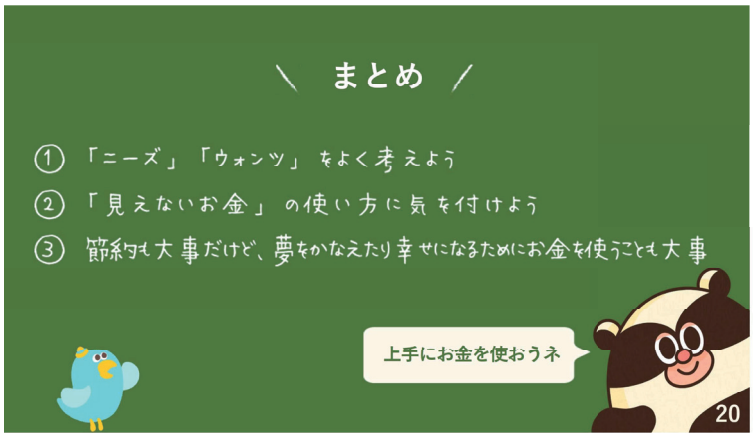
16

② 見えるお金
17

2025年7月
こんな感じで…
おこづかい帳をつくって
何にいくら使ったのかを
書くようにするといいよ!
18

② 見えないお金
見えないお金ってなんだろう？
クレジットカード、ネットショッピング、
スマホアプリなど…ゲーム課金もあるよ
18


キャッシュレスの
良いところ
現金を持っていなくても
買い物ができる！
お金を引き出す手間が
かからないヨ
良くないところ
使いすぎに
注意が必要！
お金を使っている感覚が
なくなってしまうヨ
19


まとめ
① 「ニーズ」「ウォンツ」をよく考えよう
② 「見えないお金」の使い方に気を付けよう
③ 節約も大事だけど、夢をかなえたり幸せになるためにお金を使うことも大事
上手にお金を使おうネ
20

まずは自分で考えてみよう

1万円以内 で優先順位を考えて、番号を入れましょう

次にグループのみんなで話し合いもしてみよう

項目	必要なお金	わたしの考え	グループの考え
食費	5,000円		
医りょう費	1,300円		
ゲームソフト代	4,000円		
おかし代	700円		
修理費	4,000円		
ガソリン代	2,000円		
日用品費	1,000円		
合　計	18,000円		

― メモ ―

他のグループと比較してみよう

項目	必要なお金	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7	グループ8	グループ9	グループ10
食費	5,000円										
医りょう費	1,300円										
ゲームソフト代	4,000円										
おかし代	700円										
修理費	4,000円										
ガソリン代	2,000円										
日用品費	1,000円										
合　計	18,000円										

― メモ ―

お金の教室

高校生

生活に必要なお金について考えよう

5

お金ってなんだろう？

2

ひとり暮らしに必要な生活費を考えよう

ひとり暮らし生活費シュミレーター ▶

必要な支出（生活費）

1. 家賃～どんなところに住みたい？～
- A：駅が近くきれいなところ → 70,000円
- B：少し不便だけど、ほどほどにきれい → 50,000円
- C：駅から遠くて古くてもいい → 40,000円

2. 電気、ガス、水道代
- A：あまり気にせず、使いたい →15,000円
- B：頑張って節約します → 10,000円

3. 食費（外食費は除く）
- A：ほぼお惣菜やテイクアウト（1日 1700円位）→ 50,000円
- B：お惣菜、自炊が半々（1日1200円位）→ 35,000円
- C：工夫してほとんど自炊（1日 800円位）→ 25,000円

4. 外食費
- A：週に2～3回は外食したい（1回1000円位）→15,000円
- B：週1回くらいは外食したい（1回 1500円位）→6,000円
- C：外食はほとんどしない、月2回くらい → 3,000円

5. 通信費
- A：スマホは大手キャリア→ 7,000円
- B：格安携帯でもOK →3,000円

6. ネット環境
- A：ネット回線あり→ 5,000円
- B：ネット回線なし→0円

7. 衣服費
- A：洋服や靴などにはお金をかけたい → 10,000円
- B：上手に着回して工夫して節約 →5,000円

8. 保健医療費
- A：ちょこちょこ病院にいくかも → 5,000円
- B：歯医者などにたまに行くくらい → 3,000円
- C：ほとんど行かない→1,000円

9. その他(生活雑貨、理美容、嗜好品など)
- A：あまり気にせず使いたい → 15,000円
- B：ほどほど使いたい → 5,000円
- C：しっかり節約したい→1,000円

6

みなさんが買おうと思っているモノやサービスは
誰かが作っています。

お金はそのモノやサービスに
「ありがとう」を伝える道具です

3

ひとり暮らしに必要な生活費を考えよう

ひとり暮らし生活費シュミレーター ▶

楽しみの支出

10. 交際費
- A：飲み会などには積極的に参加したい → 10,000円
- B：おつきあいは、ほどほどで→ 3,000円

11. ペット
- A：猫か犬を飼う → 10,000円
- B：小動物を飼う → 5.000円
- C：飼わない → 0円

12. 教養娯楽費（ゲームや推し活、趣味のもの）
- A：欲しいものにはどんどん使う → 15,000円
- B：欲しいものを選んで使う → 8,000円
- C：あまりお金はかけないと思う → 2,000円

13. 交通費（電車・バスの移動(通勤費以外)）
- A：お出かけによく使う → 8,000円
- B：たまには使う → 3,000円
- C：ほとんど使わない → 0円

その他の支出

14. 車
- A：持ちたい（軽自動車想定の維持費）→ 27,000円
- B：持たなくてもいい→ 0円

※維持費…ガソリン代、任意保険、駐車場代、車税など

15. 貯蓄
- A：貯金しておいた方がいいかな → 5,000円
- B：余裕はないけど少しだけでも → 2,000円
- C：貯金はないけどなんとかなるかな → 0円

16. 奨学金の返済
- A：進学のため奨学金を利用すると思う → 15,000円
- B：奨学金は借りないつもり → 0円

※Aは月5万円を4年間、総額240万円で、15年返済の場合
※奨学金の返済は学校を卒業してから半年後から始まります

17. ローンの返済（クレジットのキャッシングやカードローンなど）
- A：お金がない時は借りるかもしれない →10,000円
- B：欲しいものは貯金して買うつもり → 0円

7

でも…
お金がないとモノやサービスを買うことができません。
そこでお金をもらうために仕事をしています。
誰かの役に立つことで
「ありがとう」のしるしとしてお給料をもらっています。

4

ー 20代前半の男女の平均月収 ー

（厚労省2020年3月）

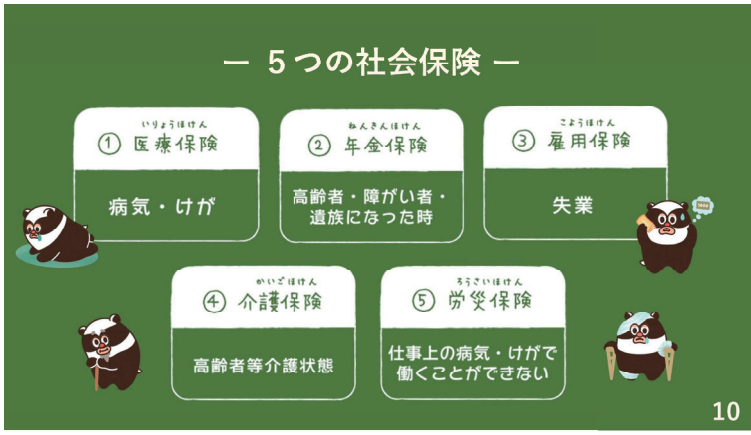
男性	女性
23万4200円	23万600円
▼	▼
18万4200円	18万600円

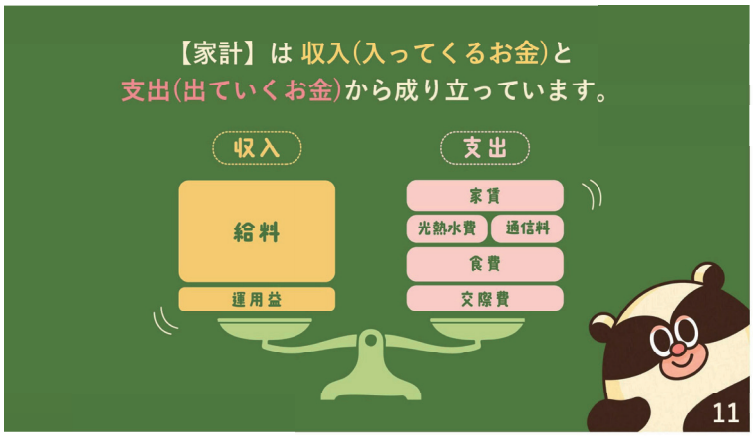
税金や社会保険が引かれて手取り

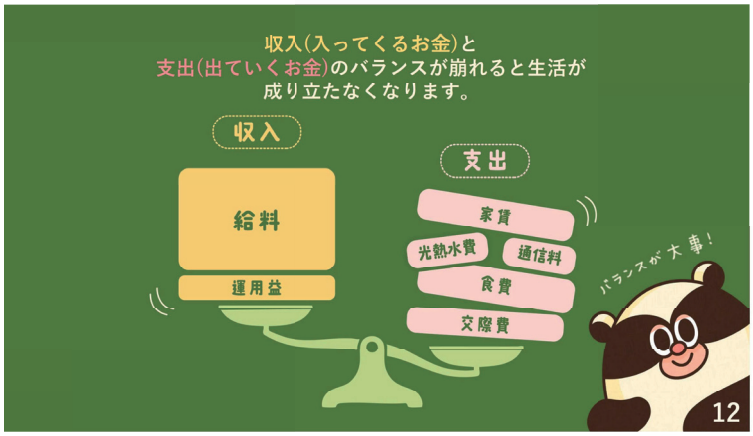
8

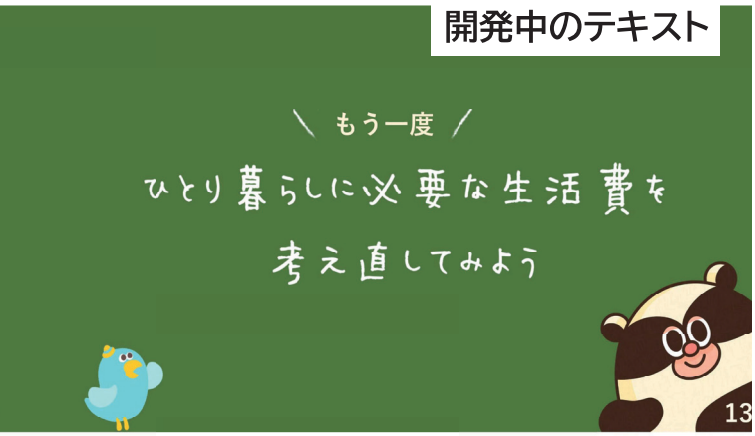
開発中のテキスト

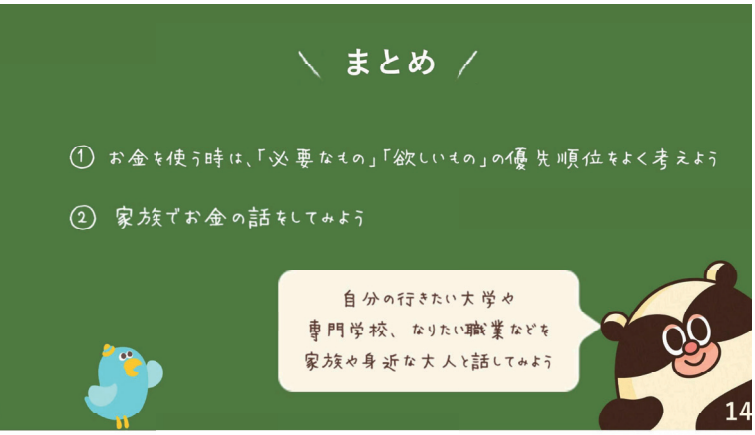
【所得税（国税）】
今年1年間の給料(年収)に対して税金がかかります
【住民税（地方税）】
前年1年間の給料(年収)に対して税金がかかります
みんなが安全で快適な
生活を送るためのお金
税金の使い道
9


― 5つの社会保険 ―
① 医療保険
病気・けが
② 年金保険
高齢者・障がい者・
遺族になった時
③ 雇用保険
失業
④ 介護保険
高齢者等介護状態
⑤ 労災保険
仕事上の病気・けがで
働くことができない
10


【家計】は 収入(入ってくるお金)と
支出(出ていくお金)から成り立っています。
収入
給料
運用益
支出
家賃
光熱水費
通信料
食費
交際費
11


収入(入ってくるお金)と
支出(出ていくお金)のバランスが崩れると生活が
成り立たなくなります。
収入
給料
運用益
支出
家賃
光熱水費
通信料
食費
交際費
バランスが大事！
12


＼ もう一度 ／
ひとり暮らしに必要な生活費を
考え直してみよう
13


＼ まとめ ／
① お金を使う時は、「必要なもの」「欲しいもの」の優先順位をよく考えよう
② 家族でお金の話をしてみよう
自分の行きたい大学や
専門学校、なりたい職業などを
家族や身近な大人と話してみよう
14

ワークシート①

年　組　番

名前

生活に必要なお金について考えよう

1. ひとり暮らしは、1ヶ月いくらくらいお金がかかるか予想しよう ▶ 　　万円

2. 必要な生活費を考えよう！

【 一回目の金額 】　　【 二回目の金額 】

円 ▶ 円

大事にしたところは？

☆ 一回目の金額から…
（ 変わった・変わらなかった ）

☆ その理由は？

3. 20代前半の平均月収

税金や社会保険料を引かれ、実際に入ってくるお金は…

予想…（　　）万円 ▶ 実際の手取りは…（　　）万円

4. 税金や社会保険料

・生活費の他にも、社会人は支払わなければならないものがあります。それは税金（所得税、住民税など）や社会保険料（健康保険、年金など）で、会社員の場合は給与から引かれます（天引き）。
・月給23万円の場合は、およそ5万円が引かれます。実際に入ってくる手取りは18万円ということです。

給与 － 社会保険料や税金 ＝ 手取り

※フリーランスや自営業、フリーターなどの場合…会社が天引きしてくれるわけではないので、自分で税金や保険料を払う必要があります

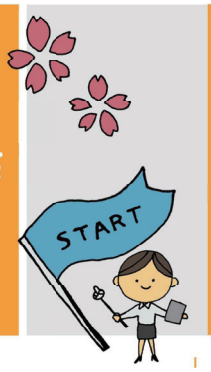
ワークシート③ 自分が一人暮らしをするなら…

①～⑰を合計してみよう。

項　目	選択肢（1回目）	金額（1回目）	選択肢（2回目）	金額（2回目）
① 家賃		円		円
② 電気・ガス・水道代		円		円
③ 食費（外食費は除く）		円		円
④ 外食費		円		円
⑤ 通信費		円		円
⑥ ネット環境		円		円
⑦ 衣服費		円		円
⑧ 保健医療費		円		円
⑨ その他（生活雑貨・理美容・嗜好品など）		円		円
⑩ 交際費		円		円
⑪ ペット		円		円
⑫ 教養娯楽費（ゲームや推し活、趣味のもの）		円		円
⑬ 交通費（電車・バスの移動（通勤費以外））		円		円
⑭ 車		円		円
⑮ 貯蓄		円		円
⑯ 奨学金の返済		円		円
⑰ ローンの返済		円		円
合　計		円		円

開発中のテキスト

ひとり立ちに向けて覚えておいて欲しいお話



1

クイズ①

18歳でできること

高校3年生の間に満18歳

成人年齢は18歳

↓

法定代理人（親権者などの保護者）の同意がなくても契約ができる

携帯電話の契約	○
銀行ローン	○
大型・中型自動車免許取得	×
賃貸契約	○
競馬・競輪	×

※銀行ローンについては、各銀行のルールによる

2

クイズ②

契約①

売買が成立するのはいつ？

お店で買い物をするときに契約が成立するのは？

5

契約②

契約って？

■契約とは、「法的な責任が生じる約束」

■契約の成立（2人以上の当時者）

一方が契約の内容を示してその締結を申し入れる意思表示（申込）を行い、それに対して相手方が承諾をしたときに成立

■方式の自由

どのような形（方式）で契約するかについては、契約当事者が自由に判断できる

6

18歳になるとできること

条件や審査等があり必ずできるとは限らない

親の同意なしでの契約行為
携帯電話・クレジットカード・各種ローン・賃貸・生命保険や損害保険契約
選挙投票
普通自動車運転免許取得
男女共に18歳から結婚が可能（女性は16歳→18歳）
性同一性障害の人が性別取り扱いの変更審判
裁判員に選ばれる
投資

3

クイズ③

契約③

取り消しできる？

17歳の高校生が親に内緒で欲しかった10万円のカメラを購入した。

↓

未成年者取り消しができる ○

7

20歳でできること

飲酒・喫煙
公営競技（競馬・競輪・オートレースなど）
大型・中型自動車運転免許取得 ※免許取得の資格要件有
国民年金の加入義務
養子を迎える

4

契約④

未成年者取消しとは

未成年者が法定代理人（親権者などの保護者）の同意を得ずに契約した場合「契約を取り消すことができる権利」

成人と比べて知識や社会経験が不足している未成年者が不利益を被らないように保護する制度

※ただし、少額な契約、成人してから代金を支払った場合、親の了解を取ってあると嘘をついていた場合など、取り消しができない場合もあります。

8

クイズ④

契約⑤

取り消しできる？

23歳の会社員が街を歩いていたら

「無料でエステの体験ができる」と声をかけられた。

興味があったのでついていったら、体験したものより高額なエステコースを勧められ契約した。

↓

クーリング・オフができる ○

9

契約⑥

クーリング・オフ

クーリング・オフとは・・

一定の取引について、いったん契約の申し込みや契約した後に契約を再考できるようにし、一定の期間であれば、無条件で契約の申し込みを撤回したり、契約を解除したりできる制度。

クーリング・オフできる取引は法律や約款などに定めがある場合に限る。

※その他に消費者契約法による「消費者取消権」があります

10

契約⑦

クーリング・オフ

特定商取引法におけるクーリング・オフができる取引と期間

8日間	**訪問販売** （キャッチセールス、アポイントメントセールス等を含む） **電話勧誘販売** **特定継続的役務提供** （エステティック、美容医療、語学教室、家庭教師、学習塾、パソコン教室、結婚相手紹介サービス） **訪問購入** （業者が消費者の自宅等を訪ねて、商品の買い取りを行うもの）
20日間	**連鎖販売取引** **業務提供誘引販売取引** （内職商法、モニター商法等）

※上記販売方法・取引でも条件によってはクーリング・オフできない場合があります。

※訪問購入の場合、クーリング・オフ期間内は、消費者（売主）は買取業者に対して売却商品の引き渡しを拒むことができます。

※金融商品や宅地建物の契約等でもクーリング・オフができる取引があります。

国民生活センターHPより抜粋

11

クイズ⑤

契約⑧

クーリング・オフ

ネットショッピングで気に入った洋服を購入したけれど、実際の商品が届いてみたら気に入らなかった。

契約してから5日目・・・

↓

クーリング・オフ できません ✕

12

契約⑨

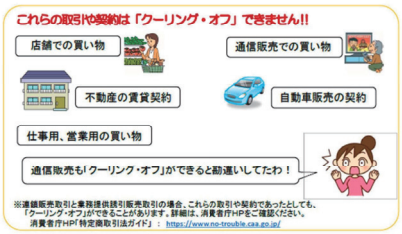
クーリング・オフ

ネットショッピングの場合は・・

雑誌やTVショッピング等の場合も含まれる

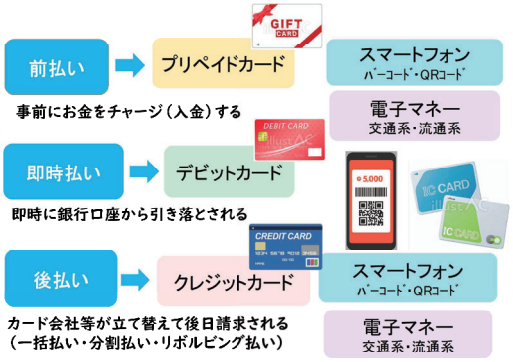
返品の可否や条件についての特約がある場合には特約に従う。⇒特約を注文前に必ず確認

※特約の記載がない場合には、商品を受け取った日を含めて8日以内であれば返品することができるが、商品の返品費用は消費者が負担。



13

キャッシュレスとは・・・現金（キャッシュ）を使わずにお金を払うこと

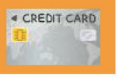


14

クレジットカード①

↓

後払い



消費者がお買い物をした時の支払いをカード会社がお店に立替払いをする

（お金を借りている状態）

↓

消費者は先に商品を手に入れて

翌月もしくは翌々月にカード会社へ返済する

（後払い）

決められた期日に支払う責任が発生する

15

クレジットカード②

支払い方法とメリット デメリット

一括	メリット	・手数料がかからない ・支払い管理がしやすい(手資料が毎月の利用金額を把握しやすい)
	デメリット	・使いすぎると引落日の負担が大きくなる
分割	メリット	・指定した回数で等分割して支払う ・引落日の負担を軽減できる
	デメリット	・カードを利用した月以降も数回に渡り支払いが続く ・手数料がかかる（一般的に3回目から） ・使いすぎる場合がある
リボルビング	メリット	・月々の支払い金額が一定額 ・返済金額を自分で設定できる（最低金額が決まっている場合もある） ・支払回数は決まっていない
	デメリット	・カードを利用した月以降も数回に渡り支払いが続く ・一定の利率とリボ残高から算出される手数料が上乗せされる ・支払総額が増える ・残高がいくらなのかわかりづらい ・使いすぎる場合がある
ボーナス	メリット	・ボーナス月の支払いのため、毎月の支出に影響がでない ・夏または冬のどちらかのボーナス1回払い ・夏と冬のボーナス2回払い
	デメリット	・支払いが数ヶ月後 ・使いすぎてボーナスの楽しみがなくなる

16

クレジットカード③

分割払いとリボルビング払いの違い

分割払いは2回までは手数料無料なのに、リボ払いは手数料がこんなに・・・!!

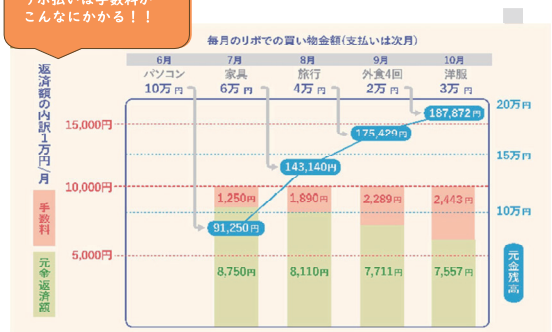
リボ払いの返済例		6月	7月	8月	9月	10月
買ったモノ		パソコン	家具	旅行	外食4回	洋服
買ったモノの金額		10万円	6万円	4万円	2万円	3万円
返済額の内訳 1万円/月	手数料		1,250円	1,890円	2,289円	2,443円
	元金返済額		8,750円	8,110円	7,711円	7,557円
元金残高			91,250円	143,140円	175,429円	187,872円

(年利15%・定額1万円コース:非スライド型)

クレジットカード④

リボルビング払いの手数料

リボ払いは手数料がこんなにかかる！！



クレジットカード⑤

注意すること

「クレジットカードは、現金を出さずにものが手に入ってしまう

- ■毎月いくらまで使えるのか決める
- ■毎月いくら使ったかを確認する
- ■利息、手数料などを確認する
- ■使いすぎないように利用限度額を設定する
- ■カードの利用明細・預金残高を常に把握する
- ■ポイントに惑わされない
- ■最初からリボ払いが設定されているカードがあるので必ず確認する

気をつけよう！詐欺と高リスク投資

気をつけよう！
詐欺と高リスク投資

- ■元本が保証されるものと保証されないものがある
- ■一般的に高収益のものほどリスクが高い
- ■「楽して儲けよう」は、やらない
- ■必ず儲かるは詐欺

20

自分で自分を守るために

身につけて欲しいこと

21

卒業後、それぞれの道に進む君たちへ…

22

仕事を始めたら、支払うもの

給料から「引かれる」もの→「控除」

■社会保険料　健康保険料・・・医療費が3割で済みます

※病気等により仕事を長期間休職した時にお給料の一部を受け取ることができます

厚生年金・・・老齢年金・障害年金・遺族年金が使えます

一定の年齢に達したら支払い期間・金額により計算された収入を生涯に渡って得ることができます

■雇用保険　会社を辞めて無職になったら一定期間保障されます

■所得税（国税）今年1年間の給料（年収）に対して税金がかかります

年末調整で1年分を精算します

※「年末調整」とは…給料から天引きされた税金が本来支払うべき額であるか、扶養や個人で払っている保険料の控除額などを計算して調整することです。
書類を会社に提出して行うことが多いです

■住民税（地方税）前年1年間の給料　対して

19　23

税金の納め方は働き方で違う

勤務先の会社が、あらかじめ本人の給料から所得税を差し引いて、本人に代わってまとめて納税することを源泉徴収といいます。

1年間の所得と税額を自分で計算し、税務署に申告することを確定申告といいます。

給与（本業）以外に兼業・副業の収入がある人は、確定申告が必要になることがあります。

24

税金の使い道

みんなが快適で安全な生活を送るためのお金

25

奨学金のこと

進学したいけど学費が心配・・

奨学金には給付（返済不用）と貸与（返済が必要）の２種類があります

		返済有無	利子の有無	申請する人	
日本学生支援機構	・給付奨学金	×	×	本人	
	・第一種貸与奨学金	○	無利子	本人	
	・第二種貸与奨学金	○	有利子	本人	
社会福祉協議会	・教育支援費 ・就学支度費（入学時）	○ ○	無利子 無利子	本人	相談は早めに
日本政策金融公庫	・国の教育ローン ・入学資金	○ ○	有利子 有利子	保護者	・必要時期の2～3ヶ月前 ・入学する月の翌月末までの融資
その他	・学校独自の給付奨学金 ・企業など				学校による 企業等による

※高校や進学先の学校での説明会等でよくお話を聞きましょう

26

貸与奨学金は借金

借りたお金は返すのが原則・・・
返済は高等教育機関※卒業後

※高等教育機関とは・・専門学校・高等専門学校・短大・大学・大学院

必要以上に借りない

借りた理由以外に利用しない

27

もしも、奨学金の返済が難しくなったら

困ったときには救済制度を利用しよう

学生支援機構の奨学金の返還（返済）は卒業後の10月から始まります　（※貸与終了の翌月から数えて7ヵ月目から
例）3月まで貸与→10月から）

【救済制度】払えなくなった時、困った時は
救済制度を利用しよう

■月々の返還額を少なくする「減額返還制度」

■返還を待ってもらう「返還期限猶予」

■死亡または精神もしくは身体の障害による「返還免除」

救済制度は必ず申請が必要です
自分が借りたところに相談しよう

28

今からできること

■高校卒業後の進路を考える（親や信頼できる大人とよく話合う）

■希望する学校の選択
- 入学金や学費がいくらくらいかかるのか
  ⇒お金事情
- 通学費用はどれくらいかかるのか

■受験料、入学金は支払えるようにしておく

■学費の借入を少しでも少なくするためにできることは？

29

事例①

Aさん
21歳
大学生
1人暮らし

Aさんが困っていること	具体的な支援内容
立地の良い場所に住まいを借りたけれど家賃が高くて支払いが大変 奨学金を生活費に使ってしまったら学費が支払えなくなった アルバイトを増やしたいけど、勉強する時間がなくなって成績が落ちたら、給付奨学金を取り消されてしまう 親には心配かけたくないから何も知らせていない	毎月の収入と支出はどうなっているのか いくらあれば学業と生活が成り立つのか 無駄な支出はないか 家賃を下げるために引越はできるか 親からの仕送りの増額は可能か などを一緒に考えて卒業までの計画を立てる

お住まいの生活困窮者自立支援相談窓口に相談

30

事例②

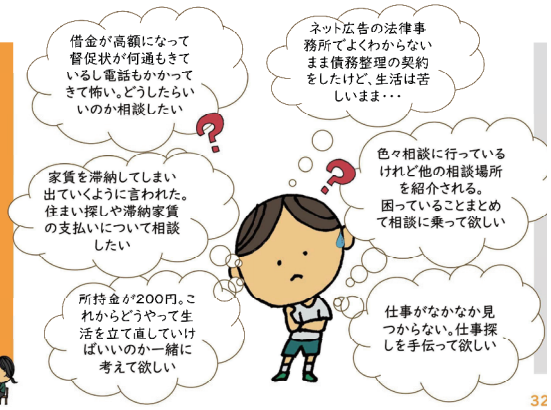
Bさん
２３歳
体調を崩し無職
1人暮らし

Bさんが困っていること	具体的な支援内容
仕事が長く続かない。自分に合った仕事を見つけたい 奨学金の返済ができなくなって保証人の叔父に迷惑をかけてしまう 仕事をしていない間の税金や健康保険料、年金の督促がきていているけど支払えなくて怖い 貯金も少なくなって、この先どうしたらよいのかわからない	得意、不得意を考慮しながら仕事探しのサポート 奨学金の救済制度申請のサポート 市役所の担当窓口に支払いについての同行支援 今の収支状況を確認しながらお金の使い方を一緒に考え、今後の生活の見通しを立てるサポート

お住まいの生活困窮者自立支援相談窓口に相談

31

暮らしの中で困りごとが起こったら



32

全国に、困ったら相談できる窓口があります。

https://minna-tunagaru.jp/ichiran/

1人で悩まずに相談ください・・・

33